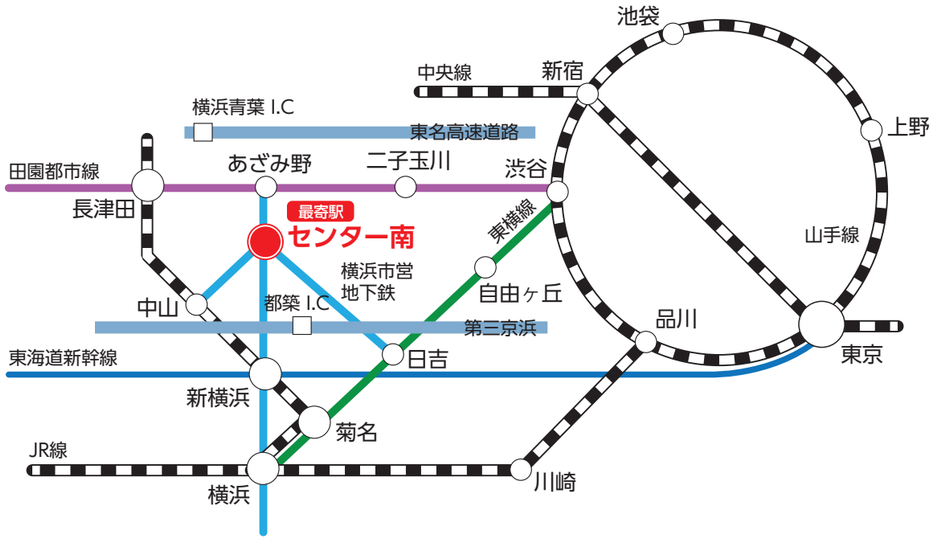
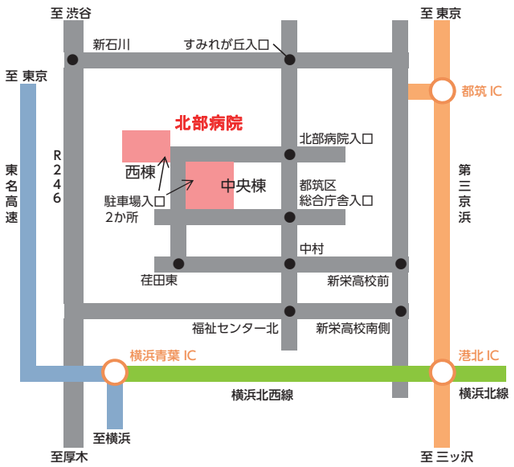
交通アクセス

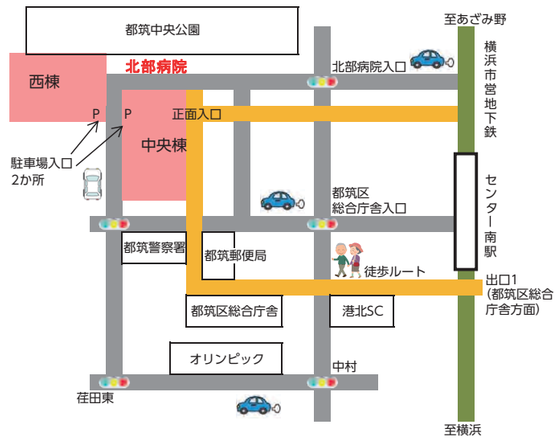
電車でお越しの方



車でお越しの方



病院周辺地図



■ 都筑ICから約10分　■ 港北ICから約13分　■ 横浜青葉ICから約15分

■ 徒歩：センター南駅 出口1を出て右方向へ進むと右手奥に見えてきます

昭和大学
横浜市北部病院

〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

TEL 045-949-7000（代表）　FAX 045-949-7117

http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html

2023年 診療科ガイド

診療科 2023 ガイド

昭和大学
横浜市北部病院

昭和大学横浜市北部病院

目　次

理念・基本方針 …… 2
病院長からのご挨拶 …… 3
病院概要 …… 4

診療科紹介

呼吸器センター …… 6
消化器センター …… 9
循環器センター
【心臓血管外科】 …… 16
【循環器内科】 …… 18
甲状腺センター …… 22
こどもセンター
【小児科・小児外科・新生児科】 …… 25
脳血管センター
【脳卒中科】 …… 29
女性骨盤底センター …… 31
メンタルケアセンター …… 33
救急センター(ER) …… 38
緩和ケアセンター
【緩和医療科】 …… 39
臨床遺伝・ゲノム医療センター …… 41
内科 …… 44
皮膚科 …… 48
放射線科・放射線治療科 …… 50
臨床病理診断科 …… 53
外科 …… 55
乳腺外科 …… 58
脳神経外科 …… 60
整形外科 …… 62
産婦人科 …… 66
泌尿器科 …… 69
眼科 …… 72
耳鼻咽喉科 …… 75
麻酔科 …… 77
歯科麻酔科 …… 79
リハビリテーション科 …… 81
病院歯科 …… 83

診療・検査の予約

紹介患者の外来予約 …… 86
〈医療機関のみ〉緊急診療・入院治療等のご依頼／検査予約 … 87
診療情報提供書
CT検査依頼書
MRI検査依頼書
PET／CT検査依頼書
骨塩定量検査依頼書
シンチ検査依頼書

交通アクセス(裏表紙)

理　念

かけがえのない心身をゆだねられることは、
本院への深い信頼と期待のあらわれである。
本院はこの信頼や期待に応えることをもって目標とし、
患者さんの権利や尊厳を守り、
患者さんとともにチーム医療を実践する。
本学創設の理念である“至誠一貫”の精神のもと、
全スタッフが協力して他に誇れる品格をもつ病院を目指し、
本院は

1. 常に心のこもった病院でありつづける
2. 無事故の病院になる
3. 現在のぞみうる最高の医療をおこなう

基本方針
(“本院の理念”を実現させるための具体的な方策)

■ 患者さんの権利や尊厳を守ることを義務とする

■ 医療安全を他の全ての業務よりも優先する

■ まごころを持って患者さんと共にチーム医療を実践する

■ 病院全体がひとつのチームとなり患者さんの信頼や期待に応える

■ 専門家がひとりの心ある人として最善をつくし未来への希望を贈る

■ 最新の知識と技術をもって世界のどこにも劣らない医療を提供する

■ 地域中核病院としてその役割をはたしながら学び、工夫しながら成長する

病院長からのご挨拶

昭和大学横浜市北部病院
病院長　門倉光隆

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が全世界に蔓延して3年以上が経過し、令和5年5月8日をもって感染症法2類相当から5類へ変更されました。マスク着用については3月13日から「個人の判断」に委ねられましたが、政府は医療機関や高齢者介護施設などを訪問する際、「マスク着用を推奨する」との方針を示しました。なお、重症化リスクの高い人達に感染させないよう、神奈川県では2月20日の新型コロナ対策本部会議で県独自の方針として「常にマスクを着用するように求める」と決定し、院内でも感染防御対策の維持を周知しております。

世の中では様々な事柄がポストコロナに向けた緩和措置として進められていますが、これまで右肩下がりであった新規感染者数が4月末には再度増加し、横浜市内の中核・基幹病院へ入院中のコロナ患者さんも増加傾向となるなど、まだまだ油断はできない状況であります。

この4月から当院でも多くの新人（研修医や看護師ほか多職種）が入職して若い年代の医療スタッフが増加し、また、昭和大学の各附属病院や学外臨床研修施設などへの異動や転入など、多数の顔ぶれが入れ替わりました。こういったスタッフ一人ひとりへの指導を疎かにすることなく、ご紹介あるいは逆紹介の更なる推進によって地域医療機関の先生方やスタッフの方々との連携を深められるよう尽力したいと考えております。

この先も患者さんやそのご家族、さらに地域の方々や同僚の声に耳を傾けながら、“病院全体がひとつのチーム” として邁進したいと思います。引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年皐月吉日

病院概要

名称	昭和大学横浜市北部病院
所在地	〒224-8503　神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
電話番号	TEL：045-949-7000（代表）　FAX：045-949-7117
URL	http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html
病院長	門倉　光隆
副院長	坂下　暁子、緒方　浩顕、川崎　恵吉
研修管理委員長	緒方　浩顕
開院年月	平成13年4月1日
許可病床数	689床
標榜診療科	呼吸器センター、消化器センター、循環器センター、甲状腺センター、こどもセンター、 脳血管センター、女性骨盤底センター、メンタルケアセンター、救急センター（ER）、 緩和ケアセンター、内科、皮膚科、放射線科、臨床病理診断科、外科、乳腺外科、 脳神経外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、 リハビリテーション科、病院歯科、歯科麻酔科
特別診療施設	救急センター、緩和ケア病棟、メンタルケア病棟、国際消化器内視鏡国際研修センター
外来患者数	331,096人、1日平均　1,130.0人（2022年度）
入院患者数	213,593人、1日平均　585.2人（2022年度）
平均在院日数	10.3日（2022年度）
平均病床利用率	84.9%（2022年度）
手術件数	10,225件（2022年度）
分娩数	1,005件（2022年度）
剖検数	16件　剖検率　2%（2022年度）
救急患者数	10,014人（救急搬送数：6,210人　ウォークイン患者数：3,804人）（2022年度）
認可事項	（財）日本医療機能評価機構病院機能評価認定、 NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定、 地域がん診療連携拠点病院、 地域医療支援病院、 災害拠点病院
選定療養費	初診に係る特別の料金 再診に係る特別の料金 救急外来にかかる緊急性を要しない（いわゆる軽症）患者の時間外受診 予約診察による特別の料金（女性相談外来：特別予約診療） 特別の療養環境に係る料金 入院医療の必要性のない方で180日以上（老人は90日）の入院をされる方 制限回数を超える医療行為 水晶体再建術に使用する多焦点眼内レンズ

診療科紹介

- 呼吸器センター
- 消化器センター
- 循環器センター
- 甲状腺センター
- こどもセンター
- 脳血管センター
- 女性骨盤底センター
- メンタルケアセンター
- 救急センター（ER）
- 緩和ケアセンター
- 臨床遺伝･ゲノム医療センター
- 内科
- 皮膚科
- 放射線科・放射線治療科
- 臨床病理診断科
- 外科
- 乳腺外科
- 脳神経外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 麻酔科
- 歯科麻酔科
- リハビリテーション科
- 病院歯科

※2023年5月現在

呼吸器センター

センター長／呼吸器外科診療科長・教授

きたみ　あきひこ
北見　明彦

卒業	昭和大学　昭和62年卒
専門	呼吸器外科学
資格	日本外科学会：指導医、 日本胸部外科学会：指導医・評議員、 日本呼吸器外科学会：指導医・評議員、 日本呼吸器内視鏡学会：指導医・評議員、 日本肺癌学会：評議員、 日本呼吸器学会：専門医・指導医、 同学会関東支部：幹事、 日本気胸・嚢胞性疾患学会：評議員・監事、 世界肺癌学会　他

呼吸器内科診療科長・教授

まつくら　さとし
松倉　聡

卒業	昭和大学　平成4年卒
専門	呼吸器内科学
資格	日本内科学会：総合内科専門医・内科指導医、 日本呼吸器学会：専門医・指導医、 日本アレルギー学会：専門医・指導医

診療内容・特色

呼吸器センターは内科と外科が一体となり、呼吸器疾患に対する診断および治療を迅速かつ適確に行っています。特に肺癌を含む胸部悪性腫瘍には、センターの和を活かし一丸となって手術治療、癌化学療法、放射線治療などの集学的治療について積極的に取り組んでいます。

内科系疾患では気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、感染症、原発性肺癌、間質性肺炎が多く、入院治療では肺癌がトップです。外来診療では遷延性･慢性咳嗽の早期かつ的確な診断と治療、病診連携を重視しております。

外科系疾患では原発性肺癌や転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、自然気胸や胸部外傷に対する外科治療、さらに気道腫瘍に対するレーザー治療に取り組んでいます。

日々のカンファレンスはもとより、画像と病理の対比を主目的とした Chest Conference、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士など多業種合同で行う呼吸器センター全体での症例検討会などを通じ、日常臨床の質の向上を目指しています。

主な対象疾患

原発性肺癌、転移性肺腫瘍、肺炎、間質性肺炎、気管支喘息、アレルギー性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、縦隔腫瘍、気胸、膿胸、胸部外傷、縦隔気腫、乳び胸

スタッフ

講師

うえ まつ しゅう ご
植松 秀護

卒業	昭和大学　平成16年卒
専門	呼吸器外科学
資格	日本呼吸器外科学会：専門医、 日本呼吸器外科学会： 胸腔鏡安全技術認定、 日本外科学会：専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本呼吸器内視鏡学会： 気管支鏡専門医

講師

すず き こうすけ
鈴木 浩介

卒業	昭和大学　平成17年卒
専門	呼吸器外科学
資格	日本呼吸器外科学会：専門医、 日本外科学会：専門医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本呼吸器内視鏡学会： 気管支鏡専門医、 ICD制度協議会：認定ICD、 日本DMAT隊員、 ダヴィンチコンソールサージャン

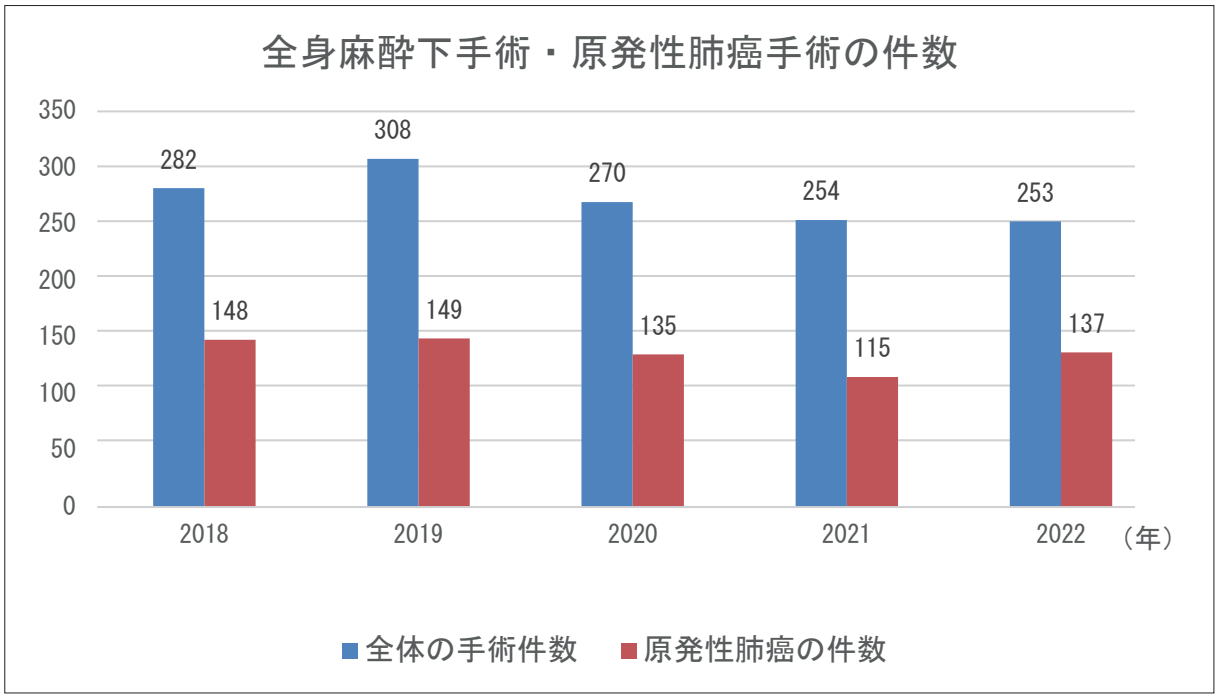
	氏名	卒業	専門	資格
講師	はやし まこと 林 誠	昭和大学 平成17年卒	呼吸器内科学	日本内科学会： 認定内科医・総合内科専門医・内科指導医、 日本呼吸器学会：専門医・指導医、 日本感染症学会：専門医、 日本化学療法学会：抗菌化学療法認定医・指導医、 ICD制度協議会：認定ICD、 日本結核病学会：結核抗酸菌症認定医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医
助教	た なか よう こ 田中 洋子	杏林大学 平成17年卒	呼吸器外科学	日本外科学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本医師会：認定産業医、 日本乳がん検診精度管理中央機構： マンモグラフィ読影医
助教	おおはし しんいち 大橋 慎一	埼玉医大 平成23年卒	呼吸器外科学	日本外科学会：専門医、 日本呼吸器外科：専門医、 日本呼吸器学会：専門医
助教	かきうち ゆうすけ 柿内 佑介	昭和大学 平成24年卒	呼吸器内科学	日本内科学会：認定内科医、 日本呼吸器学会：専門医
助教	さか い しょうご 酒井 翔吾	昭和大学 平成25年卒	呼吸器内科学	日本内科学会：認定内科医
助教	たきしま ひろやす 瀧島 弘康	昭和大学 平成28年卒	呼吸器内科学	日本内科学会：認定内科医
助教	たか の けん じ 高野 賢治	日本医科大学 平成27年卒	呼吸器内科学	日本内科学会：認定内科医、 日本呼吸器学会：専門医
助教	きし の そう ま 岸野 壮真	昭和大学 平成30年卒	呼吸器内科学	
助教	きし けい た ろう 岸 啓太郎	昭和大学 令和3年卒	呼吸器内科学	
助教	おか だ もも か 岡田 桃華	東京女子医科大学 令和1年卒	呼吸器外科学	
助教	こみやま しんさく 込山 新作	昭和大学 令和3年卒	呼吸器外科学	

呼吸器センター

主な診療実績等

●2022年度手術実績　　計253例

原発性肺癌	137例	胸壁腫瘍	2例
転移性肺腫瘍	18例	肺感染症・膿胸	10例
縦隔腫瘍	22例	生検	6例
気胸嚢胞性肺疾患	37例	その他	16例
良性肺結節	5例		



●2022年度　気管支鏡検査件数は305件であり、例年300件を超える件数を実施しています。
呼吸器内科では、肺癌に対して、抗癌剤、放射線治療を組み合わせた最新の治療を行っています。当センターでの原発性肺癌治療の新規導入は、例年100例を超えています。2022年の累積実績は800件に至りました。また肺癌以外では、気管支喘息などのアレルギー性肺疾患、呼吸器感染症、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患などを中心に治療を行っています。

消化器センター

センター長／特任教授

工藤（くどう） 進英（しんえい）

卒業	新潟大学　昭和48年卒
専門	消化器内視鏡学、大腸癌診断・治療
資格	日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医・学術評議員・名誉会員、 日本消化器病学会：功労会員、 日本内視鏡外科学会：特別会員、 日本大腸検査学会：理事長

消化器外科診療科長・教授

石田（いしだ） 文生（ふみお）

卒業	金沢大学　昭和58年卒
専門	消化器外科学、腹腔鏡手術（大腸）
資格	日本外科学会： 認定医・専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、 日本内視鏡外科学会： 技術認定医・評議員、 日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医・学術評議員・関東支部評議員、 日本消化器病学会： 専門医・指導医・関東支部評議員、 日本大腸肛門病学会： 指導医・専門医・評議員、 日本大腸検査学会：評議員、 Certificate of da Vinci Technology Training as a Console Surgeron 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了

消化器内科診療科長・教授

馬場（ばば） 俊之（としゆき）

卒業	昭和大学　平成3年卒
専門	消化器内科学（肝臓、門脈圧亢進症）
資格	日本内科学会： 認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会： 専門医・指導医、 日本消化器病学会： 専門医・指導医・関東支部評議員、 日本肝臓学会： 専門医・指導医・東部会評議員、 門脈圧亢進症学会： 技術認定医（内視鏡）・評議員、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了

診療内容・特色

消化器センターでは、最小の負担で最大の効果をあげるため、内科と外科が協力し、診断から治療までシームレスな医療を実現しています。特に消化管領域は、大腸を中心に最新の内視鏡による早期発見と、根治性を損なわない限り内視鏡治療や腹腔鏡手術による最小の負担を目指しており、患者さんにやさしい、質の高い医療を心がけています。

上部・下部内視鏡は、それぞれ年間6000～7000件以上の検査を行っています。内視鏡的粘膜下層切除術（ESD）は、胃、大腸を中心に年間300件以上を行っており、咽頭、食道、十二指腸と難易度が高い臓器にも対応しています。外科手術は、胃・大腸悪性腫瘍を中心に年間300件以上の手術を行っており、特に大腸の腹腔鏡手術率は70%以上を達成しております。また、2023年より胃がん・大腸がんに対するロボット支援手術も導入しました。なお、内視鏡治療や外科治療で根治が得られない進行癌には、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害を併用したがん薬物療法を行っており、ゲノム医療連携病として遺伝子パネル検査も行っています。

肝胆膵疾患にも柔軟に対応しており、胆道感染症や閉塞黄疸に対し、年間300件以上の内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）による胆道ドレージを行っており、内科と外科が協力して原因疾患の治療を行っています。胆嚢摘出術は年間200件以上行っており、殆どが腹腔鏡手術です。また、肝疾患にも幅広く対応し、慢性肝炎、肝硬変、肝細胞癌、門脈圧亢進症の治療を行っています。

近隣でご開業の先生方とは、Dr to Drや連携勉強会（新型コロナウイルス感染対策のため開催を見送っていますが、今後開催を計画しています）を通して連携を図り、患者さんが地域で継続性のある適切な医療を受けられるように努めていきたいと思っています。

消化器センター

主な対象疾患

●食道疾患：逆流性食道炎、食道潰瘍、感染性・薬剤性食道炎、早期食道癌
●胃・十二指腸疾患：胃潰瘍、胃炎（ヘリコバクタピロリ胃炎を含む）、胃悪性リンパ腫、早期・進行胃癌、十二指腸潰瘍、十二指腸腫瘍
●大腸疾患：早期・進行大腸癌、感染性腸炎、腸結核、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）、腸管ベーチェット
●肝疾患：急性肝炎、慢性肝疾患（B型肝炎、C型肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、アルコール性肝障害）、非アルコール性脂肪性肝疾患、肝硬変（食道胃静脈瘤、腹水、肝性脳症）、原発性肝癌、転移性肝癌、肝内胆管癌
●胆道疾患：急性胆嚢炎、急性胆管炎、閉塞性黄疸、胆石、胆嚢ポリープ、胆嚢癌、胆管癌、十二指腸乳頭部腫瘍
●膵疾患：急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、膵管内乳頭状粘液腫瘍、膵癌
●肛門疾患：肛門癌（肛門管癌）、痔核、痔瘻、直腸脱　ほか

スタッフ

准教授

さわだ　なるひこ
澤田　成彦

卒業	徳島大学　平成7年卒
専門	消化器外科学、 腹腔鏡手術（胃・大腸）
資格	日本外科学会： 認定医・専門医・指導医、 日本消化器病学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医・ 指導医・消化器がん外科治療認定医、 日本内視鏡外科学会： 技術認定医・評議員、 日本消化管学会： 胃腸科指導医・胃腸科専門医、 日本乳がん検診精度管理中央機構： 検診マンモグラフィ読影認定医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 日本腹部救急医学会：評議員、 Certificate of da Vinci Technology Training as a Console Surgeron、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

准教授

みやち　ひでゆき
宮地　英行

卒業	高知大学　平成12年卒
専門	消化器内科学
資格	日本内科学会： 認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会： 専門医・指導医・FJGES・ 学術評議員・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医・指導医・ 学術評議員・関東支部評議員、 日本消化管学会： 専門医・指導医・代議員、 日本大腸検査学会：評議員、 日本ヘリコバクター学会： ヘリコバクター感染症認定医、 米国消化器内視鏡学会：FASGE、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

准教授

榎並　延太（えなみ　ゆうた）

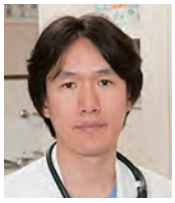
卒業	昭和大学　平成7年卒
専門	消化器外科学（肝胆膵）
資格	日本外科学会： 認定医・専門医・指導医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医・ 指導医・消化器がん外科治療認定医、 日本肝臓学会：専門医、 日本肝胆膵外科学会：評議員、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

准教授

若村　邦彦（わかむら　くにひこ）

卒業	昭和大学　平成14年卒
専門	消化器内科学、がん化学療法
資格	日本内科学会： 認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会： 専門医・指導医・FJGES・ 学術評議員・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医・指導医・ 学会評議員・関東支部評議員、 日本消化管学会：専門医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 日本腹部救急医学会評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

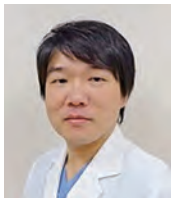
講師



林　武雅（はやし　たけまさ）

卒業	昭和大学　平成14年卒
専門	消化器内科学、消化器内視鏡治療
資格	日本内科学会： 認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・ 指導医・FJGES・学術評議員、 日本消化器病学会：専門医・指導医・ 学会評議員・関東支部評議員、 日本消化管学会：専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

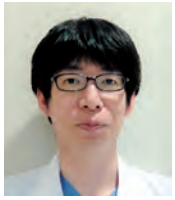
講師



久行　友和（ひさゆき　ともかず）

卒業	昭和大学　平成15年卒
専門	消化器内科学
資格	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会： 専門医・指導医・学術評議員・ 関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 日本消化管学会： 専門医・指導医・代議員、 日本ドック学会認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 緩和ケア講習会修了

講師



小形　典之（おがた　のりゆき）

卒業	金沢大学　平成16年卒
専門	消化器内科学、炎症性腸疾患
資格	日本内科学会： 認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会： 専門医・指導医・FJGES、 日本消化器病学会：専門医、 日本カプセル内視鏡学会： 認定医・指導医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師

三澤　将史（みさわ　まさし）

卒業	新潟大学　平成17年卒
専門	消化器内科学、AI診断
資格	日本内科学会： 認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会： 専門医・指導医・学術評議員・ 関東支部評議員、 日本消化器病学会： 専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

消化器センター

講師

まつだいら　しんご
松平　真悟

卒業	昭和大学　平成19年卒
専門	消化器内科学、がん化学療法
資格	日本大腸検査学会：評議員、 ICD制度協議会：インフェクションコントロールドクター（ICD）、 関東信越厚生局保険指導医、 昭和大学統括保険診療管理室員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師

いちまさ　かつろう
一政　克朗

卒業	東北大学　平成19年卒
専門	消化器内科学
資格	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会： 専門医・FJGES・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師

むかい　しゅんぺい
向井　俊平

卒業	徳島大学　平成15年卒
専門	消化器外科学
資格	日本外科学会：専門医、 日本消化器外科学会：専門医、 日本内視鏡外科学会： 技術認定医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本消化器病学会：専門医、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師

たけはら　ゆうすけ
竹原　雄介

卒業	徳島大学　平成18年卒
専門	消化器外科学
資格	日本外科学会：専門医、 日本消化器外科学会：専門医・ 指導医・消化器がん外科治療認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本腹部救急医学会：認定医、 日本消化管学会： 胃腸科専門医・指導医、 Certificate of da Vinci Technology Training as a Console Surgeron、 日本ストーマ・ 排泄リハビリテーション学会： ストマ認定士、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師

なかむら　ひろき
中村　大樹

卒業	昭和大学　平成19年卒
専門	消化器内科学
資格	日本内科学会： 認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会： 専門医・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 日本肝臓学会：専門医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 緩和ケア講習会修了

講師

まえだ　やすはる
前田　康晴

卒業	滋賀医科大学　平成20年卒
専門	消化器内科学
資格	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会： 学術評議員・関東支部評議員・ 専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本カプセル内視鏡学会：認定医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、 指導医講習会修了、 緩和ケア講習会修了、 Member of the American Society for Gastrointestinal Endoscopy, Fellow of Japan Gastroenterological Endoscopy Society

氏名		卒業	専門	資格
助教	小沢（おざわ） 慶彰（よしあき）	北里大学 平成18年卒	消化器外科学	日本外科学会：専門医、 臨床研修指導医
助教	小川（おがわ） 悠史（ゆうし）	昭和大学 平成20年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会： 専門医・指導医・学術評議員・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本大腸検査学会：評議員、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	中原（なかはら） 健太（けんた）	鳥取大学 平成20年卒	消化器外科学	日本外科学会：専門医、 日本消化器外科学会： 指導医・専門医・消化器がん外科治療認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 日本消化器病学会：専門医、 日本消化管学会：胃腸科専門医、 日本腹部救急医学会：認定医、 日本胆道学会：指導医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	神山（こうやま） 勇太（ゆうた）	新潟大学 平成21年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、 日本消化器病学会：専門医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	桜井（さくらい） 達也（たつや）	昭和大学 平成21年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医・関東支部評議員、 日本消化器病学会：専門医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	佐藤（さとう） 雄太（ゆうた）	福岡大学 平成22年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡病学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本肝臓学会：専門医、 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了
助教	阿部（あべ） 正洋（まさひろ）	群馬大学 平成24年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 日本肝臓学会：専門医
助教	望月（もちづき） 健一（けんいち）	昭和大学 平成26年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器病学会：専門医、 向精神薬の適正使用に係る研修修了、 緩和ケア講習会修了
助教	田村（たむら） 恵理（えり）	高知大学 平成26年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 日本消化器内視鏡学会：専門医、 日本消化器病学会：専門医、 緩和ケア講習会修了
助教	瀧島（たきしま） 和美（かずみ）	金沢医科大学 平成28年卒	消化器内科学	日本内科学会：認定医、 緩和ケア講習会修了
助教	髙野（たかの） 洋次郎（ようじろう）	杏林大学 平成27年卒	消化器外科学	日本外科学会：専門医、 緩和ケア講習会修了
助教	垣迫（かきさこ） 健介（けんすけ）	昭和大学 平成28年卒	消化器外科学	日本外科学会：専門医、 緩和ケア講習会修了
助教	中川（なかがわ） 美星子（みほこ）	昭和大学 平成30年卒	消化器外科学	下肢静脈瘤血管内治療実施医、 緩和ケア講習会修了
助教	椎名（しいな） 脩（おさむ）	藤田医科大学 平成30年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了

消化器センター

	氏名	卒業	専門	資格
助教	森田（もりた） 友梨子（ゆりこ）	東京女子医大学 平成30年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	加藤（かとう） 駿（しゅん）	東海大学 平成30年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	黒木（くろき） 貴典（たかのり）	昭和大学 平成30年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	舘野（たての） 桂（けい）	昭和大学 令和元年卒	消化器外科学	
助教	松土（まつど） 昇平（しょうへい）	昭和大学 令和元年卒	消化器外科学	
助教	柴田（しばた） 耕暉（こうき）	昭和大学 令和元年卒	消化器外科学	
助教	澁谷（しぶや） 智也（ともや）	杏林大学 平成31年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	井手（いで） 雄太郎（ゆうたろう）	宮崎大学 平成31年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	河島（かわしま） 二郎（じろう）	金沢医科大学 平成31年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	岩﨑（いわさき） 俊斗（しゅんと）	日本大学 平成31年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	川端（かわばた） 悠里衣（ゆりえ）	昭和大学 平成31年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	新村（にいむら） 裕（ゆう）	聖マリアンナ医科大学 令和2年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	佐々部（ささべ） 啓介（けいすけ）	昭和大学 令和2年卒	消化器内科学	
助教	風間（かざま） 瑛介（えいすけ）	山梨大学 令和3年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	近藤（こんどう） 弘太朗（こうたろう）	杏林大学 令和3年卒	消化器内科学	緩和ケア講習会修了
助教	駒井（こまい） 聡太（そうた）	東邦大学 令和2年卒	消化器外科学	緩和ケア講習会修了
助教	岡田（おかだ） 昌樹（まさき）	昭和大学 令和3年卒	消化器外科学	
助教	杉原（すぎはら） 黎（れい）	昭和大学 令和3年卒	消化器外科学	緩和ケア講習会修了

主な診療実績等

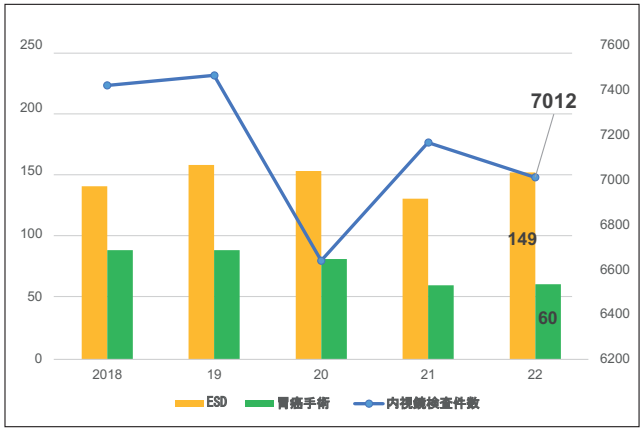
●内科領域（2022年）

上部消化管内視鏡検査	7,012例	
下部消化管内視鏡検査	6,682例	
内視鏡治療	内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	325例 （咽頭2、食道26、胃117、十二指腸4、大腸176）
	内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）	334例（経乳頭的処置：322例）
小腸内視鏡	バルーン内視鏡：57例、カプセル内視鏡：20例	
超音波内視鏡（胆膵領域）	EUS 88例（FNA：15例）	

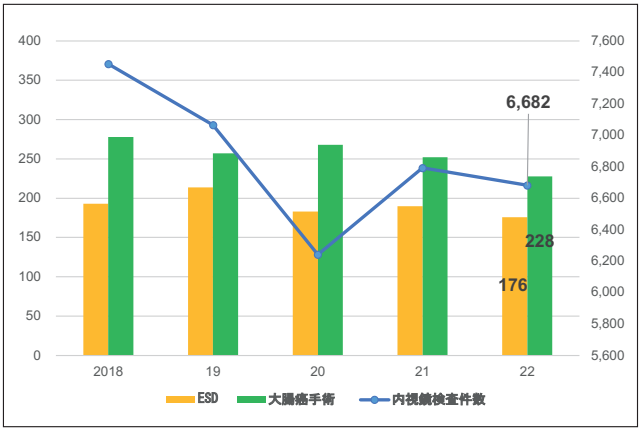
●外科領域（2022年）

胃悪性腫瘍手術	60例（腹腔鏡手術率：48.3%）
胃局所切除術	10例（鏡視下手術：7例、開腹手術：3例）
大腸悪性腫瘍手術	228例（腹腔鏡手術率：77.2%） 鏡視下手術：181例、開腹手術：71例
肝胆膵手術	胆嚢摘出術：178例（鏡視下手術：178例、開腹手術：0例） 肝臓：15例（鏡視下手術：3例、開腹手術：12例） 膵臓：11例 脾臓：1例

●上部消化管疾患　検査と治療



●下部消化管疾患　検査と治療



循環器センター　【心臓血管外科】

センター長／特任教授

南渕　明宏（なぶち　あきひろ）

卒業	奈良県立医科大学　昭和58年卒
専門	成人心臓血管外科
資格	医学博士、 厚生労働省認定臨床研修指導医、 心臓血管外科専門医・修練指導医、 日本外科学会：外科専門医・指導医、 日本循環器学会：循環器専門医、 アジア心臓血管外科国際会員

心臓血管外科診療科長・教授

奥山　浩（おくやま　ひろし）

卒業	東京慈恵会医科大学　昭和62年卒
専門	成人心臓血管外科
資格	医学博士、 厚生労働省認定臨床研修指導医、 心臓血管外科専門医・修練指導医、 日本外科学会：外科専門医・指導医、 日本循環器学会：循環器専門医、 アジア心臓血管外科国際会員

診療内容・特色

循環器センター（心臓血管外科）は、2018年1月から小児心臓病の診療グループが旗の台の昭和大学病院に移転し、狭心症・心筋梗塞・弁膜症・大動脈疾患といった成人の心臓血管外科治療に特化した診療科となりました。

落合正彦先生が率いる循環器内科グループと綿密にタッグを組み、患者さんに適した治療方針の判断を行っています。特に最近はお互いの技術を最大限に生かした動脈瘤に対する血管内治療（ステントグラフト内挿術）も施行しています。

今回2023年4月より新たに心臓血管外科診療科長に奥山浩が就任しました。循環器センター長南渕明宏とともに、この新体制で引き続き神奈川地区をはじめ関東全域での心臓血管外科手術の基幹病院となることを目標に日々精進していきたいと考えております。

心臓血管外科の歴史の中で重要とされる一つとして心拍動下バイパス術があります。この先駆者である南渕明宏センター長がその手技を全国に普及、教育してきた実績があります。その精神、技術を学びながら現在当院では後天性心疾患の広範囲な手術を施行、多くの患者さんへ貢献、心臓外科医の育成、指導を行っております。

主な対象疾患

- 成人後天性心疾患
- 虚血性心疾患、弁膜症（大動脈弁や僧帽弁などの狭窄・閉鎖不全）、大動脈瘤、末梢動脈疾患など
- 成人の不整脈：心房細動、心房粗動、上室頻拍、ペースメーカなど

スタッフ

助教

なかがわ　ひろふみ
中川　博文

卒業	三重大学　平成18年卒
専門	成人心臓血管外科
資格	日本外科学会：外科専門医、心臓血管外科専門医・修練指導医、厚生労働省認定臨床研修指導医

助教

てらだ　ひろひと
寺田　拡仁

卒業	旭川医科大学　平成24年卒
専門	成人心臓血管外科、ステントグラフト
資格	日本外科学会：外科専門医、厚生労働省認定臨床研修指導医

助教

なかむら　けいすけ
中村　圭佑

卒業	昭和大学　平成28年卒
専門	成人心臓血管外科、ステントグラフト
資格	

助教

かわはた　たいし
川幡　大嗣

卒業	昭和大学　平成29年卒
専門	成人心臓血管外科、ステントグラフト
資格	

看護師・コーディネーター

ふかつ　より子
深津　より子

卒業	
専門	
資格	医師、患者間を繋ぎ、術前、入院、術後の問題を円滑に管理しています。

	氏名	卒業	専門	資格
助教	きたお　まゆこ 北尾　真友子	聖マリアンナ医科大学 令和3年卒	成人心臓血管外科	

主な診療実績等

●成人心臓外科・手術（合併手術あり）

手術名	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
冠動脈バイパス術	112件	85件	77件	73件	84件
弁膜症手術	108件	102件	57件	76件	66件
大血管手術	28件	47件	23件	24件	20件
心臓腫瘍	2件	2件	2件	1件	1件
末梢血管手術	9件	12件	17件	12件	25件
先天性手術		2件	0件	2件	0件

循環器センター　【循環器内科】

循環器内科診療科長・教授

落合（おちあい）　正彦（まさひこ）

卒業	東京大学　昭和59年卒
専門	冠動脈インターベンション （特に慢性完全閉塞、高度石灰化病変に対するロータブレータ治療）
資格	日本循環器学会：循環器専門医、 日本内科学会：総合内科専門医、 日本心血管インターベンション学会：専門医、 米国・欧州心臓病学会正会員、 米国心血管インターベンション学会特別正会員

診療内容・特色

当科は24時間365日、医師が常時待機しており、急性心筋梗塞や急性心不全などの救急疾患に対応しています。大動脈バルーンパンピング（IABP）や経皮的心肺補助装置（PCPS/ECMO）を有しており、心原性ショックや致死性不整脈を伴う重症症例への救命処置が可能です。

また高速回転式アテレクトミー（Rotablator）の認定施設であり、糖尿病、維持透析の狭心症症例に多く見られる高度石灰化を伴う冠動脈病変に対するカテーテル治療（冠動脈形成術・ステント留置術）にも積極的に取り組んでいます。

心房細動などの頻拍性不整脈に対するカテーテルアブレーションや、徐脈性不整脈や心不全へのペースメーカー治療、下肢閉塞性度脈硬化症に対する末梢血管インターベンションにも力を入れています。

主な対象疾患

- 虚血性心疾患（急性／陳旧性心筋梗塞、不安定／労作性狭心症）
- 心不全、心臓弁膜症
- 不整脈（上室性頻拍、心房細動、心房粗動、心室頻拍、心室細動、洞不全症候群、高度房室ブロック等）
- 末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、下肢末梢血管疾患、頸動脈硬化症、腎動脈狭窄症、鎖骨下動脈狭窄症）
- 肺動脈塞栓症、深部下肢静脈血栓症

スタッフ

准教授

いそむら　なおえい
磯村　直栄

卒業	防衛医科大学校　平成10年卒
専門	循環器内科一般、虚血性心疾患、冠動脈インターベンション（高度石灰化病変に対するロータブレータ治療）
資格	日本循環器学会：循環器専門医、日本内科学会：総合内科専門医、日本心血管インターベンション学会：専門医、JMECC・ICLSインストラクター、臨床研修指導医、身体障害者指定医（心臓機能障害の診断）

講師

つじた　ひろあき
辻田　裕昭

卒業	昭和大学　平成10年卒
専門	循環器内科一般、虚血性心疾患、冠動脈インターベンション（高度石灰化病変に対するロータブレータ治療）、末梢血管インターベンション
資格	日本循環器学会：循環器専門医、日本内科学会：総合内科専門医、日本心血管インターベンション学会：専門医、難病指定医、日本心臓リハビリテーション学会指導士、身体障害者指定医（心臓機能障害の診断）

講師

おのもりお
小野　盛夫

卒業	昭和大学　平成24年卒
専門	循環器内科一般、冠動脈インターベンション、不整脈カテーテルアブレーション
資格	日本内科学会：内科認定医、日本心血管インターベンション学会：認定医、日本循環器学会：循環器専門医、日本不整脈心電学会：不整脈専門医、植え込み型除細動器（ICD）／ペーシングによる心不全治療(CRT)研修証、リードレスペースメーカ実施医、皮下植え込み型除細動器（S-ICD）実施医、着用型自動除細動器（WCD）研修終了医、心内リード抜去システム修了証、クライオバルーンアブレーション実施医、臨床研修指導医、身体障害者指定医（心臓機能障害の診断）

講師

きどたけひこ
木戸　岳彦

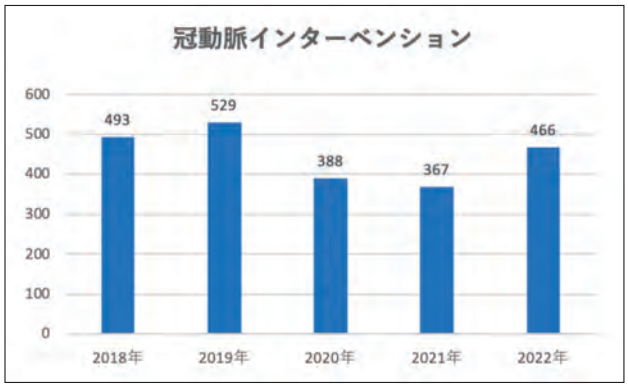
卒業	昭和大学　平成24年卒
専門	循環器内科一般、冠動脈及び末梢血管インターベンション
資格	日本内科学会：内科認定医、日本心血管インターベンション学会：認定医、日本循環器学会：循環器専門医、臨床研修指導医

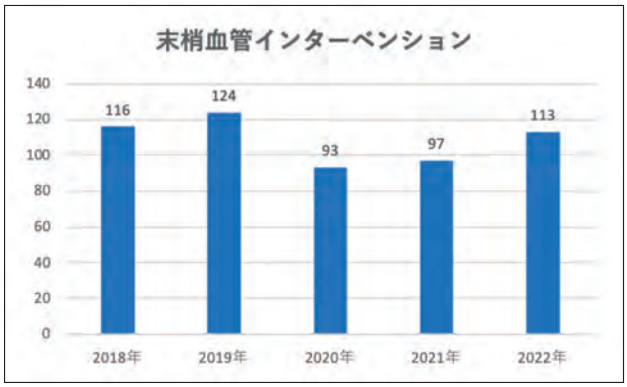
	氏名	卒業	専門	資格
助教	荏原　誠太郎（えばら　せいたろう）	昭和大学 平成21年卒	循環器内科一般、冠動脈インターベンション	日本内科学会：内科認定医、日本心血管インターベンション学会：認定医、日本循環器学会：循環器専門医、臨床研修指導医
助教	井川　渉（いがわ　わたる）	昭和大学 平成24年卒	循環器内科一般、冠動脈インターベンション、不整脈カテーテルアブレーション	日本内科学会：内科認定医、日本循環器学会：循環器専門医、日本心血管インターベンション学会：認定医、日本不整脈心電学会：不整脈専門医、リードレスペースメーカ実施医、皮下植え込み型除細動器（S-ICD）実施医、臨床研修指導医

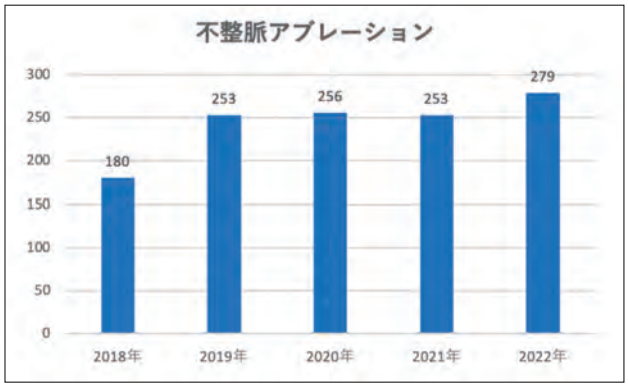
循環器センター　【循環器内科】

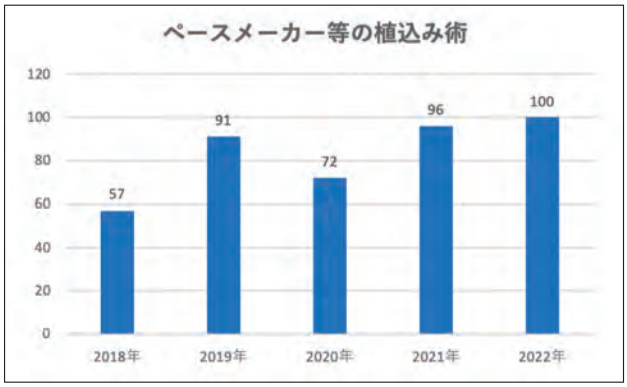
氏名		卒業	専門	資格
助教	大山（おおやま）　祐司（ゆうじ）	昭和大学 平成25年卒	循環器内科一般、 虚血性心疾患、 冠動脈 インターベンション （高度石灰化病変に対する ロータブレータ治療）	日本内科学会：内科認定医、 日本心血管インターベンション学会：認定医、 日本循環器学会：循環器専門医、 腹部大動脈ステントグラフト実施医、 臨床研修指導医
助教	木村（きむら）　太朗（たろう）	昭和大学 平成27年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科認定医、 日本心血管インターベンション学会：認定医
助教	嶋津（しまづ）　英（すぐる）	昭和大学 平成27年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科認定医、 臨床研修指導医
助教	飛鳥井（あすかい）　邑（ゆう）	東京女子医科大学 平成28年卒	循環器内科一般、 冠動脈 インターベンション、 不整脈カテーテル アブレーション	日本内科学会：内科専攻医
助教	石垣（いしがき）　成紘（しげひろ）	昭和大学 平成29年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科専攻医
助教	薄元（うすもと）　宗一郎（そういちろう）	昭和大学 平成29年卒	循環器内科一般、 冠動脈 インターベンション、 不整脈カテーテル アブレーション	日本内科学会：内科専攻医
助教	藤岡（ふじおか）　立樹（たつき）	昭和大学 平成29年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科専門医
助教	成井（なるい）　崇朗（しゅうろう）	昭和大学 平成29年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科専門医
助教	伊藤（いとう）　有輝（ゆうき）	大学 平成30年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科専攻医
助教	大倉（おおくら）　武（たけし）	大学 平成30年卒	循環器内科一般、 冠動脈及び末梢血管 インターベンション	日本内科学会：内科専攻医
助教	宜保（ぎぼ）　雄磨（ゆうま）	大学 平成30年卒	循環器内科一般、 冠動脈 インターベンション、 不整脈カテーテル アブレーション	日本内科学会：内科専攻医
助教	小柳（こやなぎ）　唯（ゆい）	昭和大学 令和2年卒	循環器内科一般	日本内科学会：内科専攻医

主な診療実績等


冠動脈インターベンション
600
500
400
300
200
100
0
493
529
388
367
466
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年


末梢血管インターベンション
140
120
100
80
60
40
20
0
116
124
93
97
113
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年


不整脈アブレーション
300
250
200
150
100
50
0
180
253
256
253
279
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年


ペースメーカー等の植込み術
120
100
80
60
40
20
0
57
91
72
96
100
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年

甲状腺センター

センター長／特任教授

福成（ふくなり） 信博（のぶひろ）

卒業	昭和大学　昭和59年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波、インターベンション治療
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医、 日本甲状腺学会：専門医・評議員、 日本内分泌外科学会：専門医・評議員

診療内容・特色

全国の大学病院のなかで唯一の甲状腺センターです。診療科の壁をなくし、外科、内科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、病理診断科が協力して診療にあたりますので、甲状腺、副甲状腺疾患に対する様々な治療法の中で患者さんにとって最良の選択肢を提示できます。手術療法に関してはできる限り術後創部が目立たないように様々な工夫をしています。非手術的な加療（Intervention）も積極的に取り入れていますのでご相談下さい。当科は甲状腺ラジオ波治療を行う日本で唯一の施設で、これまでに250例以上の治療成績があります。

様々な合併症が併存する場合でも大学病院の特性を生かし、各診療科、集中治療室（ICU）と連携した治療が可能です。

主な対象疾患

●甲状腺疾患：甲状腺良性腫瘍、甲状腺癌、バセドウ病、橋本病、甲状腺嚢胞　など
●副甲状腺疾患：副甲状腺腺腫、副甲状腺癌

【甲状腺ラジオ波治療】
傷を作らず甲状腺のしこりを治す新しい治療法です。

スタッフ

准教授

福島　光浩（ふくしま　みつひろ）

卒業	日本医科大学　平成4年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本内分泌外科学会： 専門医・指導医・評議員、 日本甲状腺学会：専門医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本胸部外科学会：認定医

准教授

國井　葉（くにい　よう）

卒業	日本医科大学　平成11年卒
専門	内分泌内科、甲状腺超音波、 一般内科
資格	日本内科学会：総合内科専門医、 日本内分泌学会：内科専門医・ 指導医・評議員、 日本甲状腺学会：専門医・評議員、 日本超音波医学会：専門医・指導医

講師

大桑　恵子（おおくわ　けいこ）

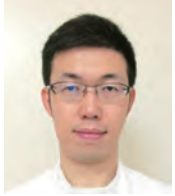
卒業	浜松医科大学　平成5年卒
専門	内分泌外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本内分泌外科学会： 専門医・評議員、 日本甲状腺学会：専門医、 日本癌治療認定医機構： がん治療認定医、 日本消化器外科学会：認定医

講師

坂上　聡志（さかうえ　さとし）

卒業	昭和大学　平成16年卒
専門	内分泌外科、一般消化器外科
資格	日本外科学会：専門医

講師



中野　賢英（なかの　まさひで）

卒業	昭和大学　平成18年卒
専門	内分泌外科、一般外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本内分泌外科学会：専門医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本甲状腺学会：専門医、 日本超音波医学会：専門医、 日本DMAT隊員

専任臨床検査技師

佐々木　栄司（ささき　えいじ）

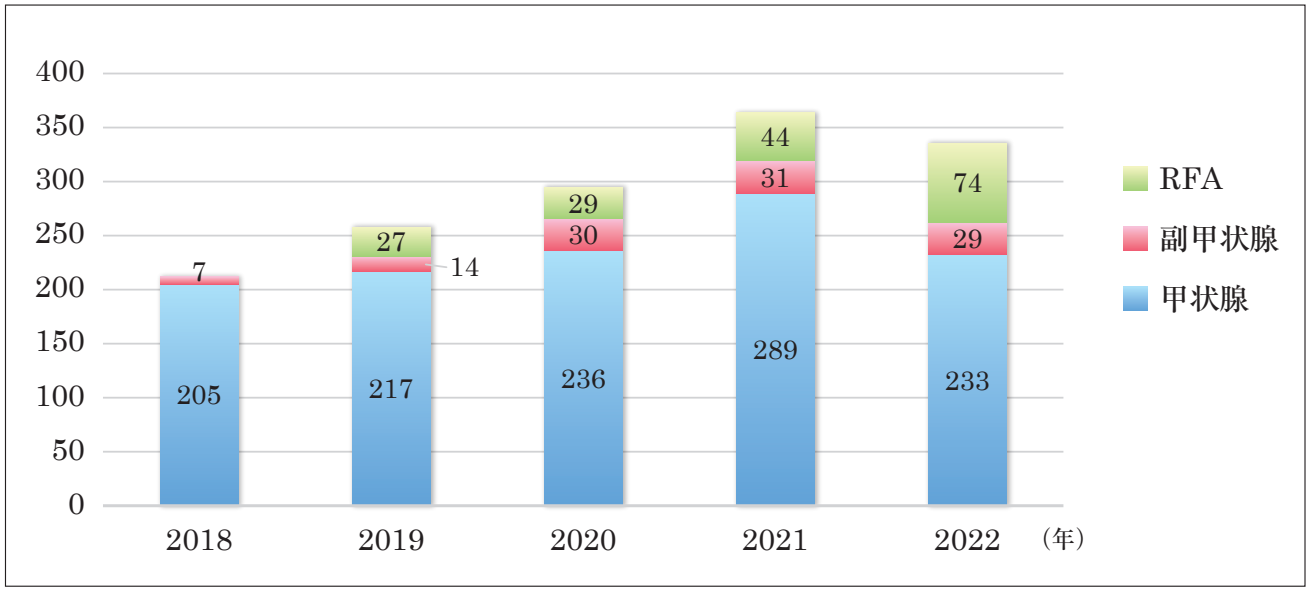
卒業	北里衛生科学専門学院 昭和62年卒
専門	甲状腺検査
資格	2級臨床病理技術士、 細胞検査士、 国際細胞検査士、 日本超音波医学会：超音波検査士 （体表臓器）

	氏名	卒業	専門	資格
助教	三倉　健太朗（みくら　けんたろう）	聖マリアンナ医科大学 平成24年卒	内分泌内科、 糖尿病、 一般内科	日本内科学会：内科認定医・指導医、 日本内分泌学会：専門医、 日本糖尿病学会：専門医、 難病指定医

甲状腺センター

主な診療実績等

●2022年までの手術件数推移



こどもセンター　【小児科・小児外科・新生児科】

センター長／小児内科診療科長・教授

いけだ　ひろかず
池田　裕一

卒業	昭和大学　平成7年卒
専門	小児腎臓、排尿障害
資格	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本腎臓学会：専門医・指導医、 災害時小児周産期リエゾン担当、コンサータ処方登録医

小児外科診療科長・准教授

すぎやま　あきひで
杉山　彰英

卒業	昭和大学　平成9年卒
専門	小児外科一般、新生児外科、小児内視鏡外科
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本小児外科学会：専門医・指導医、 日本周産期・新生児医学会：認定外科医

診療内容・特色

こどもセンターは小児内科、小児外科、NICUの各専門医から構成され、30名以上の医師が相互に協力して小児の総合診療に当たっています。当院は横浜市北部地域の中心に位置し、アクセスが良いため、小児の救急、集中治療の中核病院としての役割が期待されております。「地域小児医療に真に貢献する」をモットーに、患者さんだけでなく、ご家族にも寄り添った温かい診療を実践するように心がけています。また、昭和大学藤が丘病院小児科とも相互に協力し合い診療を行える体制を整えています。

小児外科は手術のみならず、臍ヘルニアスポンジ圧迫療法などの日常疾患に対する保存的療法や、停留精巣などの小児泌尿器疾患も積極的に取り扱っています。また、手術に関しては侵襲の少ない整容性に優れた手術を心がけています。症例数が最も多い鼠径ヘルニア手術は、大部分が腹腔鏡下手術（LPEC）の対象となっています。LPECは臍部と側腹部の2ポートで手術が可能なため、極めて良好な術後整容性が得られます。

NICUは地域周産期母子医療センターとして、横浜ブロックの中核病院の役割を担っております。北部地域は横浜市内でも出生数が多く、新生児医療ニーズの高い地域です。出生体重が1000g未満の超低出生体重児から、出生後に疾患を持った新生児まで幅広い患者さんを対象にしています。先天性心疾患は、昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センターとの協力体制を整えています。ご家族を診療ケアのパートナーとして新生児診療にあたる、Family Integrated Careの提供を心かげています。

今後、ますます多様化する疾患にも適切に対応できるように常に最新の知識を得て、最善の医療ができるような診療体制を構築していきます。

主な対象疾患

【専門外来診療】アレルギー外来、小児循環器外来、神経外来、腎泌尿器外来、内分泌外来、遺伝外来、免疫・膠原病、自己炎症性疾患、新生児フォローアップ外来、小児外科外来

【入院診療】（小児内科）小児疾患全般
（ＮＩＣＵ）早産低出生体児、病的新生児、新生児仮死、新生児黄疸、染色体異常、新生児小児外科疾患
（小児外科）鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣、急性虫垂炎、消化管閉鎖・狭窄、消化管閉塞、消化管異物、胆道閉鎖症、胆道拡張症、体表腫瘤、腹腔内・胸腔内腫瘤　など

こどもセンター　【小児科・小児外科・新生児科】

スタッフ

准教授

村瀬　正彦（むらせ　まさひこ）

卒業	昭和大学　平成12年卒
専門	新生児学
資格	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本周産期・新生児医学会： 周産期専門医（新生児）・指導医、 IBCLC、 新生児蘇生法専門コース インストラクター、 厚生労働省臨床研修指導医

講師

田中　拡（たなか　ひろむ）

卒業	東北大学　平成14年卒
専門	小児外科一般、肝胆道外科疾患、 新生児外科
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本小児外科学会：専門医・指導医、 日本周産期・新生児医学会： 認定外科医、 日本小児栄養消化器肝臓学会： 認定医、 厚生労働省臨床研修指導医

講師

渡邊　常樹（わたなべ　つねき）

卒業	昭和大学 平成16年卒
専門	小児腎臓、排尿障害
資格	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本腎臓学会：専門医・指導医、 厚生労働省臨床研修指導医

講師

井川　三緒（いがわ　みお）

卒業	昭和大学　平成18年卒
専門	新生児学
資格	日本小児科学会：専門医、 日本周産期・新生児医学会： 周産期専門医（新生児）、 厚生労働省臨床研修指導医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	京田　学是（きょうだ　たかよし）	弘前大学 平成10年卒	神経学	日本小児科学会：専門医
助教	富永　牧子（とみなが　まきこ）	筑波大学 平成15年卒	小児内科、 先天異常症、 臨床遺伝学	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医
助教	岩久　貴志（いわく　たかし）	昭和大学 平成16年卒	アレルギー	日本小児科学会：専門医、 厚生労働省臨床研修指導医
助教	渡邊　佳孝（わたなべ　よしたか）	昭和大学 平成21年卒	腎臓病学	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本腎臓学会：専門医・指導医、 厚生労働省臨床研修指導医
助教	松本　皆子（まつもと　みなこ）	秋田大学 平成21年卒	小児科一般	日本小児科学会：専門医
助教	安藤　晋介（あんどう　しんすけ）	東邦大学 平成22年卒	小児外科一般	厚生労働省臨床研修指導医
助教	八木　勇磨（やぎ　ゆうま）	日本医科大学 平成24年卒	小児外科一般	日本外科学会：専門医、 日本小児外科学会：専門医
助教	浅井　秀幸（あさい　ひでゆき）	昭和大学 平成24年卒	新生児学	日本小児科学会：専門医
助教	大貫　裕太（おおぬき　ゆうた）	昭和大学 平成24年卒	小児腎臓、 排尿障害	日本小児科学会：専門医・指導医、 日本腎臓学会：専門医、 厚生労働省臨床研修指導医
助教	河合　延啓（かわい　のぶひろ）	帝京大学 平成25年卒	小児科一般	
助教	水越　曜子（みずこし　ようこ）	東海大学 平成25年卒	新生児学	

	氏名	卒業	専門	資格
助教	小宅（おやけ） 千聖（ちさと）	昭和大学 平成26年卒	小児腎臓、 排尿障害	日本小児科学会：専門医、 日本腎臓学会：専門医
助教	遠藤（えんどう） 翔太（しょうた）	順天堂大学 平成26年卒	小児腎臓	日本小児科学会：専門医、 日本腎臓学会：専門医
助教	氏家（うじいえ） 岳人（がくと）	昭和大学 平成27年卒	新生児学	日本小児科学会：専門医
助教	服部（はっとり） 透也（とうや）	昭和大学 平成27年卒	小児消化器	日本小児科学会：専門医
助教	八木（やぎ） 直美（なおみ）	昭和大学 平成28年卒	小児科一般	日本小児科学会：専門医
大学院生	小野（おの） 貴広（たかひろ）	昭和大学 平成29年卒	小児科一般	日本小児科学会：専門医
助教	野口（のぐち） 悠太郎（ゆうたろう）	昭和大学 平成29年卒	小児科一般	日本小児科学会：専門医
助教	井川（いがわ） 由貴（ゆき）	帝京大学 平成29年卒	小児科一般	
助教	吉見（よしみ） 鞠亜（まりあ）	横浜市立大学 平成29年卒	小児科一般	日本小児科学会：専門医
助教	山口（やまぐち） 将基（まさき）	獨協医科大学 平成30年卒	小児科一般	
助教	東園（ひがしぞの） 綾香（あやか）	鹿児島大学 平成29年卒	小児科一般	
助教	伊従（いより） 朱音（あかね）	聖マリアンナ医科大学 令和2年年卒	小児科一般	
助教	立野（たての） 茉咲子（まさこ）	昭和大学 令和2年卒	小児科一般	
助教	中島（なかじま） 論子（さとこ）	藤田医科大学 令和2年卒	小児科一般	
助教	伊藤（いとう） 愛（あい）	愛知医科大学 令和2年卒	小児科一般	
助教	安斎（あんざい） 亘（わたる）	昭和大学 令和3年卒	小児科一般	
助教	島（しま） はるか	昭和大学 令和3年卒	小児科一般	
助教	佐々木（ささき） 洋亮（ようすけ）	昭和大学 令和3年卒	小児科一般	
助教	高坂（たかさか） 和椰（かずや）	秋田大学 令和3年卒	小児科一般	
助教	大木（おおき） 真穂（まほ）	秋田大学 令和3年卒	小児科一般	
助教	吉田（よしだ） 華栞（かおり）	東京女子医科大学 令和3年卒	小児科一般	

こどもセンター　【小児科・小児外科・新生児科】

主な診療実績等

2022年度

入院数	小児内科	1,343名
	新生児科	374名（極低出生体重児以下23名）
手術件数	小児外科	234件（新生児16件）
救急受け入れ実績	救急患者数	3,058名
	救急車受け入れ台数	1,758件

脳血管センター　【脳卒中科】

センター長／特任教授

てら だ　とも あき
寺田　友昭

卒業	和歌山県立医科大学　昭和55年卒
専門	脳神経血管内治療
資格	医学博士、 日本脳神経血管内治療学会：指導医、 日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本脳卒中学会：専門医・指導医、 日本脳卒中の外科学会：技術指導医

診療内容・特色

2021年6月より、昭和大学横浜市北部病院に脳血管センター（脳卒中科）が新設され、センター長として寺田友昭が就任いたしました。脳血管センターは、脳ドックで発見される未破裂脳動脈瘤、頸動脈狭窄症、超急性期脳主幹動脈閉塞症などの虚血性脳血管障害、破裂脳動脈瘤、脳動静脈奇形などの出血性脳血管障害を含めたすべての脳血管障害を扱いますが、それ以外に脊髄硬膜動静脈シャント、脊髄動静脈奇形などの脊髄血管障害、脳腫瘍、頭頸部動静脈奇形、難治性鼻出血、などの疾患を扱っています。特に大型の脳動脈瘤のフローダイバーターによる治療は、神奈川県下で最も多くの治療経験を有しています。また、新しい動脈瘤素材であるWEB, Pulseriderなど国内では施設限定で使用されているデバイスもすべて使用可能です。現状では、これらの疾患に対し、国内最高機種のPhilips社の血管撮影装置Azurionを用いて脳神経血管内治療を行っております。センター長の寺田は、脳神経血管内治療の国内のパイオニアの一人であり、脳神経血管内治療が日本に導入された当初より本治療に携わっております（指導医番号９番）。日本脳神経血管内治療学会の理事、学会長を歴任し、血管内治療件数も5000例を超え、豊富な知識と高い技術を持っています。最近では、昭和大学横浜市北部病院のみではなく、北海道から九州までの全国の病院で高難度脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈シャントの治療を数多く手がけています。また、国内のみではなく、海外の脳神経血管内治療関連の主要な学会でも役員も務めています。

2022年度より日本脳神経血管内治療学会 指定訓練施設となり、約1年間の研修で脳神経血管内治療専門医受験資格取得可能です。こちらでの脳神経血管内治療の専門研修を希望の方は寺田まで連絡ください。

主な対象疾患

- 脳動脈瘤
- 脳動静脈奇形（AVM）
- 硬膜動静脈シャント
- 超急性期脳主幹動脈閉塞症
- 頸動脈狭窄症
- 鎖骨下、椎骨、頭蓋内動脈狭窄症
- 脊髄血管障害
- 頭頸部血管奇形
- 難治性鼻出血

脳血管センター　【脳卒中科】

スタッフ

	氏名	卒業	専門	資格
助教	山家（やまが）　弘雄（ひろお）	愛知医科大学 平成7年卒	脳神経血管内治療	日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本血管内治療学会：専門医、 日本脳卒中学会：専門医・指導医
助教	吉岡（よしおか）　和博（かずひろ）	山口大学 平成23年卒	脳神経血管内治療	日本脳神経血管内治療学会：専門医 日本脳卒中学会：専門医 脳神経内科専門医

主な診療実績等

2022年度　脳血管内治療：120件　DSA検査：281件　検査・治療総数：401件

脳血管内治療内訳	脳動脈瘤コイル	22件	急性期血行再建	16件
	脳動脈瘤フローダイバーター	19件	脳、硬膜動静脈奇形	11件
	頸動脈ステント	31件	脳腫瘍　その他	8件
（計120件）	PTA等	13件		

●得意とする疾患

1）脳動脈瘤

難易度の高い大型脳動脈瘤に対するフローダイバーター、複数ステント組み合わせによる治療を行っており、他府県からの多くの紹介患者に対応しています。すでにフローダイバーターの治療、指導実績は150件を超え、神奈川県下では最多数の治療実績を有しています。

2）脳動静脈奇形（AVM）

ONYXを用いた塞栓術および集学的治療を他施設を含め年間20-30件行っています。最近では脳動静脈奇形に対する経静脈的塞栓術を国内で初めて成功させ、現在まで7例を経静脈的塞栓術で根治させています。脳動静脈奇形でお悩みの方は是非ご相談ください。

3）硬膜動静脈シャント

すべての硬膜動静脈シャントの治療を行います。現在まで400件近い治療実績があり、国内でも最多症例数を経験しています。それ以外に、通常の施設では行っていないバルーンカテーテルを用いて静脈洞を温存した状態でシャントのみを閉塞させる新たな手技を開発しています。特に軽症のType Ⅰは拍動性耳鳴りで発症することが多く、根治は困難でしたが、本法で90%以上の割合で根治が得られます。本疾患に伴う拍動性耳鳴りの患者様も御紹介いただければ当科で精査、加療いたします。

4）頸動脈狭窄症

約1200件という国内最多の治療経験を有し、狭窄症のみでなく慢性期完全閉塞症に対して世界初の治療成功例をJournal of Neurosurgery報告しています。

5）脊髄血管障害

脊髄硬膜動静脈シャント、脊髄動静脈奇形などの比較的まれな疾患ですが、難治性であり診断も困難な場合があります。両下肢のしびれ、膀胱直腸障害などで発症し、長期に放置した場合は回復が困難となります。硬膜動静脈シャントの場合は、かなりの割合で血管内治療により根治が期待できます。

6）頭頸部血管奇形

拍動性耳鳴り、頭頸部の拍動性腫瘤で発見されることの多い疾患です。適切な血管内治療により根治が期待できます。最近では我々の開発したダブルバルーンによる経静脈的塞栓術で大部分の症例が根治可能です。

7）難治性鼻出血

血管奇形、動脈瘤などを合併している可能性があるので、頻回の大量鼻出血がある場合は受診してください。

女性骨盤底センター

センター長／特任教授

よしむら　やすくに
嘉村　康邦

卒業	福島県立医科大学　昭和60年卒
専門	女性泌尿器科、排尿障害
資格	日本泌尿器科学会：専門医・指導医、 日本排尿機能学会：代議員・教育委員・認定医、 日本女性骨盤底医学会：幹事・編集委員、 日本骨盤臓器脱手術学会：副理事長、 アジア太平洋女性泌尿器科学会（APUGA）役員

診療内容・特色

女性のいわゆる“おしもの不具合”はなかなか相談しにくいものです。ほとんどの場合、適切な診断･治療により症状の改善が得られますが、多くの女性が受診をためらってしまいます。このような悩みを抱えている女性は非常に多いのです。子宮や膀胱などが腟から脱出する骨盤臓器脱や尿漏れといった不具合は、放っておいても死に至るような病気ではありませんが、その女性の生活の質は著しく低下してしまいます。何か活動をしたいと思っても、おしもの不具合があるために引っ込み思案になり、行動制限をしてしまうことで、生活の質の低下につながるのです。そして究極的には、社会からの孤立感さえ抱いてしまうと言われています。したがって、たかが“おしもの不具合”ではなく、心豊かな人生を送る上での大きな障害であるわけです。

女性骨盤底センターは、まさしく“おしもの不具合”を専門に扱うセンターです。歴史的には泌尿器科や産婦人科のなかで、「女性泌尿器科」として発展してきた副専門分野です。女性の骨盤底は前方から膀胱･尿道、子宮･腟、そして直腸･肛門の３つに区分出来ます。おしもの不具合を抱える女性は多くの場合ひとつの区画だけの障害にとどまらず、多かれ少なかれ複数の区画の障害を認めます。そこで全区画を総合的に見渡せる診療科が必要となります。当センターの最大の特徴は、女性泌尿器科領域を専門とする泌尿器科医および産婦人科医が同じセンター内で、共同で診断･治療に当たることです。直腸肛門の障害に対しては消化器外科へのコンサルトが可能です。さらに骨盤底筋トレーニングを専門的に指導可能な理学療法士を配し、手術療法のみならず、質の高い理学療法、行動療法などの保存的治療も行えます。

主な対象疾患

骨盤臓器脱（膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤、小腸瘤など）、尿失禁、過活動膀胱、低活動膀胱、間質性膀胱炎、腟瘻（膀胱腟瘻、尿道腟瘻、尿管腟瘻など）、尿道憩室、尿失禁術後合併症（尿排出障害やメッシュ露出など）、反復性尿路感染症

女性骨盤底センター

スタッフ

准教授

野村（のむら）　由紀子（ゆきこ）

卒業	昭和大学　平成10年卒
専門	女性泌尿器科、産婦人科全般、腹腔鏡下手術
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、 日本産科婦人科内視鏡学会：評議員・腹腔鏡技術認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 母体保護法指定医

氏名		卒業	専門	資格
助教	岡田（おかだ）　義之（よしゆき）	産業医科大学 平成22年卒	女性泌尿器科、 産婦人科全般、 腹腔鏡下手術	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、 日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 女性ヘルスケア専門医、 日本性感染症学会：認定医、 産業医
助教	中川（なかがわ）　智絵（ちえ）	日本大学 平成26年卒	女性泌尿器科、 産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法（NCPR）専門コース修了、 Fetal Medicine Foundation オペレータ資格
助教	安田（やすだ）　想（そう）	日本大学 平成31年卒	泌尿器科全般	
理学療法士	重田（しげた）　美和（みわ）	名古屋大学 平成18年卒 名古屋大学大学院 平成20年卒	リハビリテーション （理学療法）	リハビリテーション療法学修士、 排尿機能検査士、 排泄機能指導士

主な診療実績等

●初診数・受診延数

	2019年	2020年	2021年	2022年
女性骨盤底センター外来　初診数	611名	340名	423名	488名
骨盤底リハビリ外来　受診延数	177名	195名	435名	531名

●2022年　手術件数　　計244件

手術名	件数
経腟メッシュ手術	57件
腹腔鏡下仙骨腟固定術	37件
非メッシュ骨盤臓器脱修復術	63件 （腟閉鎖術 51 仙棘靭帯固定術 8 仙骨子宮靭帯挙上術 0 Manchester手術 1 腟壁形成術 4）
尿失禁防止術（TVT、TOT）	26件 （TVT 20 TOT 3 筋膜スリング 3）

手術名	件数
ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法	6件
膀胱水圧拡張術	7件
膀胱腟瘻・尿道腟瘻閉鎖術	15件
尿管膀胱新吻合術 （尿管腟瘻・尿管狭窄）	0件
直腸腟瘻閉鎖術	0件
尿道憩室手術	9件
尿道脱手術	3件
その他	20件

メンタルケアセンター

センター長／診療科長・教授

稲本　淳子（いなもと　あつこ）

卒業	昭和大学　昭和62年卒
専門	臨床精神医学全般、精神科救急、社会精神医学、統合失調症
資格	精神保健指定医、 日本精神神経学会：専門医・指導医・認知症診療医、 日本精神科救急学会：認定医制度暫定指導医、 日本臨床薬理学会：指導医

診療内容・特色

メンタルケアセンターは精神科･神経科医療を担当しています。神奈川県の精神科救急医療の基幹病院として、毎日、措置入院･二次救急入院に対応しています。42床のスーパー救急病棟（精神科救急入院料病棟）と、認知症治療を中心としている50床の高齢者精神科病棟を有しています。

急性期治療では麻酔科との協力による修正型電気けいれん療法や、クロザピン内服による治療を行っています。また、うつ病の患者様を対象に再発予防や認知機能の回復を目指して、集団精神療法を実施しています。

外来診療では初診は完全予約性となっています。そのため、お待たせすることがありますので、入院の相談などのお急ぎの場合は、受診前にご相談が必要なため、その旨を地域医療連携室へご相談ください。

専門外来として発達障害の診断･相談のための発達障害外来も設置しています。

総合病院内の精神科としてチーム医療を通し院内の各診療科と連携し、精神症状を含めた全人的な医療に取り組んでいます。

リエゾン医療では他診療科医とともに身体疾患に伴った精神症状の対応に取り組み、リエゾンチームによる回診、診療状況評価を実施しています。緩和医療チームに精神科医と心理士が参加し、院内のがん患者様の治療に参加しています。産婦人科外来内に設置されている産科カウンセリング外来では、産婦人科に通院されている妊婦の方を対象に妊娠初期から産褥期以降を含め、メンタルヘルスに関する相談や情報提供を実施しています。

主な対象疾患

- うつ病、躁うつ病
- 統合失調症
- 不安障害（強迫性障害、パニック障害などを含む）、適応障害
- 認知症
- 身体疾患に伴う精神障害（器質性精神障害、症状精神病、せん妄を含む）
- 発達障害（対象は中学生以上です。発達障害のデイケア、就労や社会復帰支援等のプログラムはありません。）
- アルコール精神病（依存症治療の専門プログラムはありません。）

現在、当センター外来では、カウンセリングの新規受付はしておりません。

メンタルケアセンター

スタッフ

准教授

やまだ　ひろき
山田　浩樹

卒業	昭和大学　平成11年卒
専門	臨床精神医学全般、精神科救急、臨床精神薬理学、統合失調症
資格	精神保健指定医、 日本精神神経学会：専門医・指導医、 日本精神科救急学会： 認定医制度暫定指導医、 精神保健判定医

准教授

とみおか　ひろい
富岡　大

卒業	昭和大学　平成13年卒
専門	臨床精神医学全般、精神腫瘍学、神経心理学、認知症
資格	精神保健指定医、 日本精神神経学会：専門医・指導医、 日本老年精神医学会： 専門医・指導医、 日本臨床精神神経薬理学会： 専門医・指導医、 日本総合病院精神医学会： 一般病院連携精神医学専門医・指導医、 日本サイコオンコロジー学会： 登録精神腫瘍医、 日本精神科救急学会： 認定医制度暫定指導医、 認知症サポート医

講師

ささもり　ひろき
笹森　大貴

卒業	東京医科大学　平成19年卒
専門	臨床精神医学全般、精神科救急
資格	精神保健指定医、 日本精神神経学会：専門医・指導医

講師

いくせ　だいすけ
幾瀬　大介

卒業	東京医科大学　平成21年卒
専門	臨床精神医学全般、成人期発達障害
資格	精神保健指定医、 日本精神神経学会： 専門医・指導医・認知症診療医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	おきの　かずまろ 沖野　和麿	昭和大学 平成23年卒	臨床精神医学全般、 リエゾン精神医学	精神保健指定医、 日本精神神経学会：専門医・指導医、 日本総合病院精神医学会： 一般病院連携精神医学特定指導医、 日本医師会認定産業医
助教	しらい　まさひろ 白井　將博	日本医科大学 平成26年卒	臨床精神医学全般	精神保健指定医、 日本精神神経学会：専門医
助教	いしい　ひろあき 石井　宏明	岩手医科大学 平成29年卒	臨床精神医学全般	日本医師会認定健康スポーツ医、 抗菌化学療法認定医
助教	ぐんじ　まお 郡司　真緒	聖マリアンナ医科大学 平成29年卒	臨床精神医学全般	
助教	いしはら　りさ 石原　里彩	順天堂大学 平成31年卒	臨床精神医学全般	
助教	くずい　まもる 葛井　真守	北里大学 令和2年卒	臨床精神医学全般	
助教	くまざき　しおり 熊崎　栞	島根大学 令和2年卒	臨床精神医学全般	
助教	ひらた　たかゆき 平田　貴之	杏林大学 令和2年卒	臨床精神医学全般	

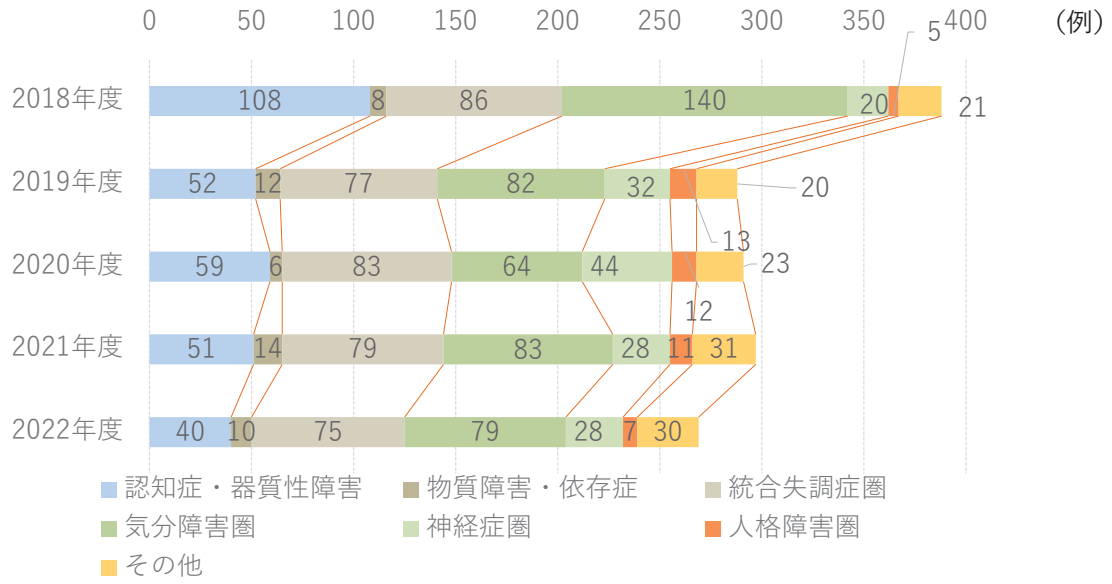
	氏名	卒業	専門	資格
助教	堀口（ほりぐち） 爽（そう）	昭和大学 令和2年卒	臨床精神医学全般	
助教	笠井（かさい） 隆央（たかひさ）	昭和大学 令和3年卒	臨床精神医学全般	
助教	佐々木（ささき） 俊平（しゅんぺい）	新潟大学 令和3年卒	臨床精神医学全般	
助教	下野（しもの） 純（じゅん）	千葉大学 令和3年卒	臨床精神医学全般	

主な診療実績等

2022年度

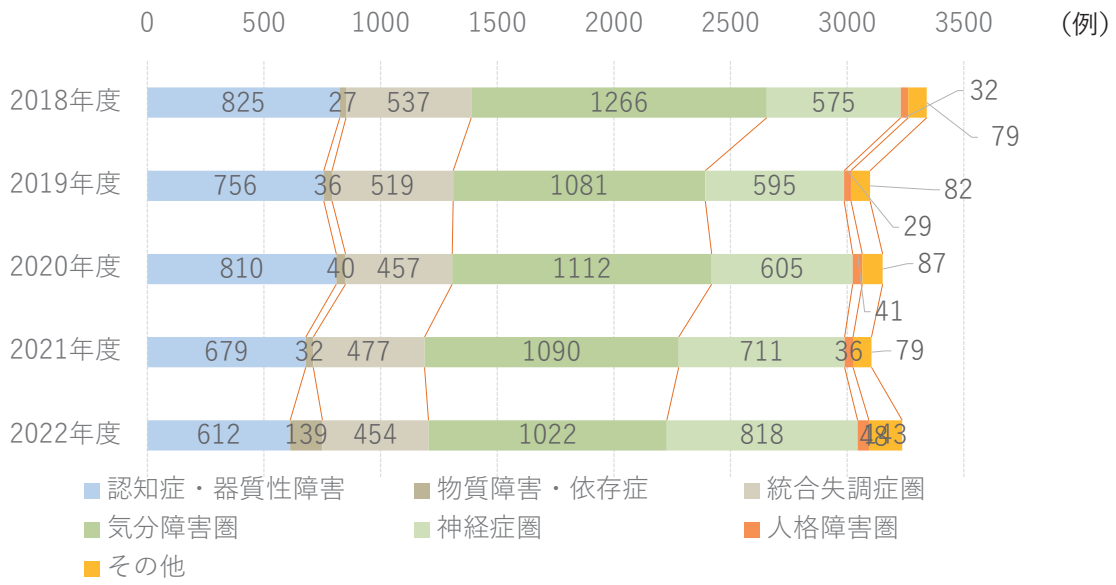
外来患者	3,236例	
入院患者	269例	精神科救急入院料病棟（スーパー救急病棟）：42床、 高齢者精神科病棟：50床
修正型電気けいれん療法症例	58例	
発達障害外来受診患者	34例	毎週木曜日：1枠、月1回水曜日1枠 対象：中学生以上
リエゾン診療（初診）	507例	
緩和医療介入（初診）	41例	緩和医療チーム、リエゾンでの精神症状ケア介入
産科カウンセリング外来（産科外来内）	79例	精神科医・公認心理師によるスクリーニング、相談外来 対象：当院産婦人科受診妊婦

入院患者　診断別症例数（実数）

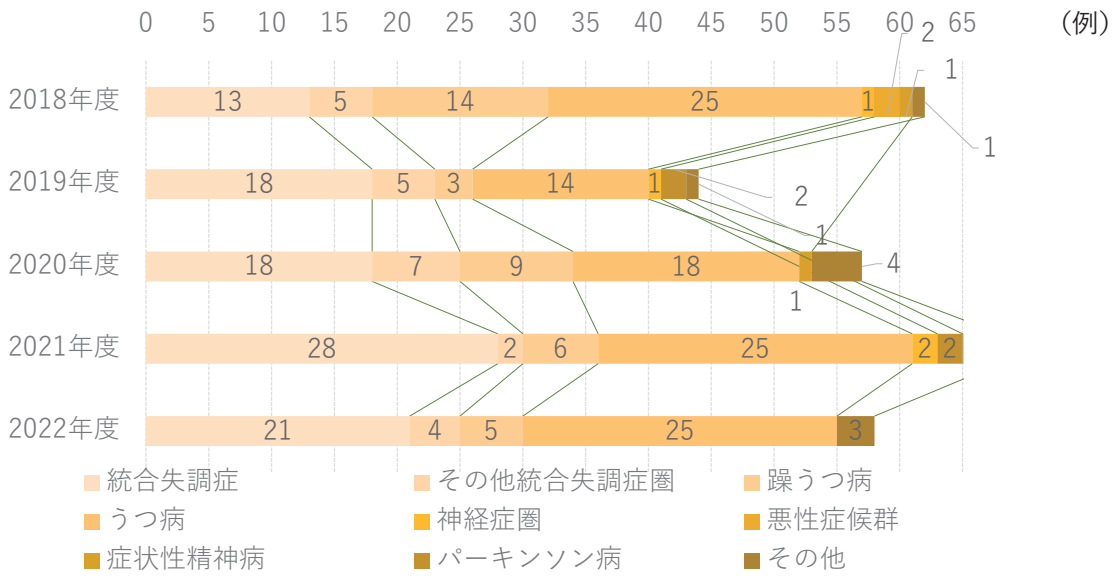


メンタルケアセンター

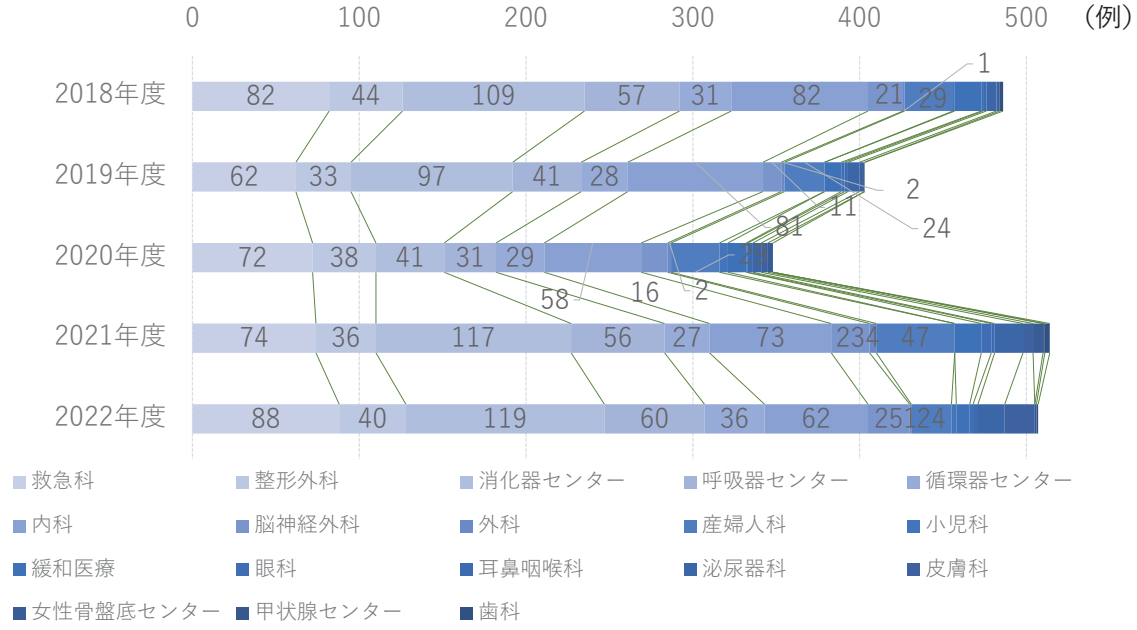
外来患者　診断別症例数（実数）



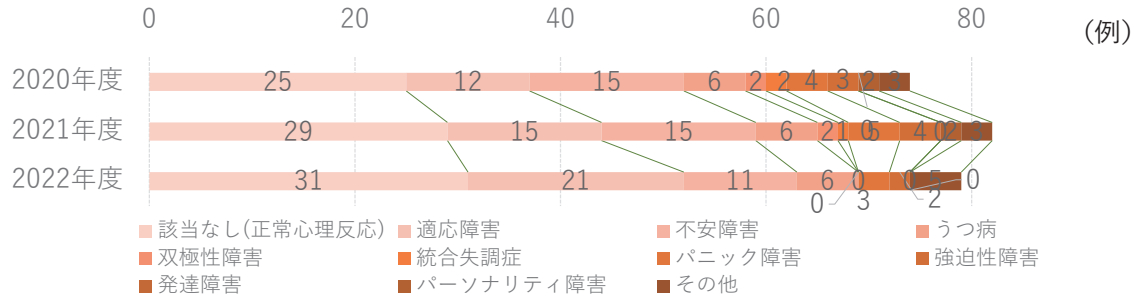
修正型電気けいれん療法　診断別実施数（実数）



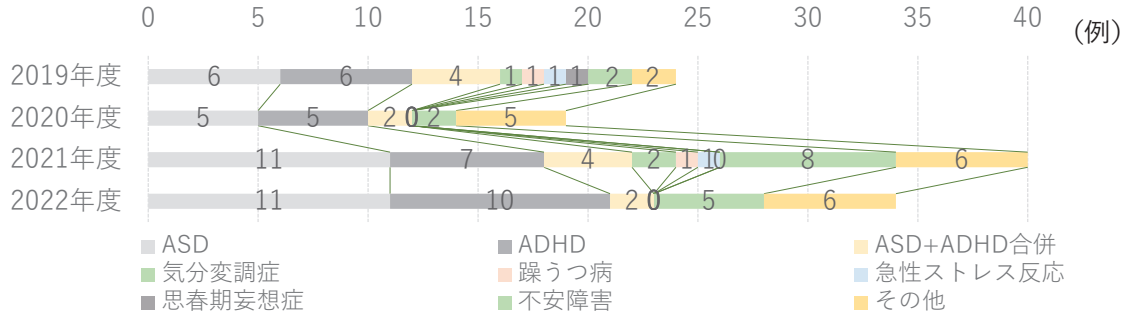
リエゾン医療　連携診療科別症例数（実数）



産科カウンセリング外来　疾患別症例数（実数）



発達障害外来　受診状況（実数）



救急センター（ER）

診療責任者・准教授

加藤（かとう） 晶人（あきひと）

卒業	昭和大学　平成17年卒
専門	救急医学、脳神経外科、集中治療医学
資格	日本救急医学会：救急科専門医、 日本脳神経外科学会：脳神経外科専門医、 日本集中治療医学会：専門医

診療内容・特色

救急センターは、救急診療科医師と院内応援医師が救急車で搬送される方の診療をおこなっています。緊急入院･手術･処置が必要になった場合は院内の専門診療科と連携し専門診療につなげていきます。夜間･休祝日は救急車で搬送される方に加え、直接来院される患者さんの診療にあたっています。当院は横浜市内に11存在する二次救急拠点病院Ａの指定を受けており、心肺停止･ショックなどの重症な方についても積極的に受け入れをおこない、地域中核病院として地域の救急医療に貢献しています。このため、救急診療科としての通常外来診療や予約診療は行っておりません。

また、メディカルコントロール体制に関しては、横浜市救命指導医（特定行為指示･助言）や、病院前救護に関する勉強会を開催し、救急隊員とともに病院前医療の充実･向上に努めています。

主な対象患者

一次・二次救急患者（直接来院される患者さんや救急車で搬入される患者さん）と心肺停止やショック状態を呈した患者さんの診療を行ないます。

主な診療実績等

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
救急搬送件数／年	6,096	6,404	4,889	5,282	6,210
救急外来受診者数／年	11,652	11,873	8,314	8,847	10,014
Ｃライン受け入れ件数／年	226	205	228	201	236

Ｃライン：横浜市では心肺停止・ショックなどの重症例では横浜市救命指導医を通して指定の13病院に搬送しています。当院は横浜市二次救急拠点病院Ａの指定を受け、重症症例の受け入れに努めています。

※2020、2021年度はCOVID-19に伴う診療制限などの影響を大きく受けました。

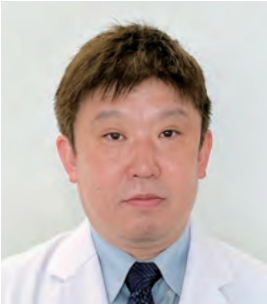
緩和ケアセンター　【緩和医療科】

特任教授

おかもと　けんいちろう
岡本　健一郎

卒業	昭和大学　昭和55年卒
専門	緩和医療学、ペインクリニック
資格	日本緩和医療学会：認定医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 日本麻酔科学会：指導医、 日本ペインクリニック学会：専門医・名誉会員

診療科長・准教授



にしきど　おさむ
西木戸　修

卒業	聖マリアンナ医科大学　平成10年卒
専門	緩和医療学、ペインクリニック
資格	日本緩和医療学会：専門医・評議員、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本麻酔科学会：専門医・指導医、 日本ペインクリニック学会：専門医・評議員、 日本サイコオンコロジー学会：登録精神腫瘍医

診療内容・特色

緩和ケアセンターは、緩和医療チーム、緩和医療外来、がん看護外来と緩和ケア病棟の管理運営を行い、がんと診断された時から患者さんとそのご家族の苦痛緩和にあたります。

緩和ケア病棟は診療各科や専門チーム（口腔ケアチーム、リエゾンチーム、褥瘡チーム、がんリハビリテーションなど）とスムーズな連携をとることで苦痛症状の緩和をおこないます。院内からだけではなく、他の病院、診療所からも患者さんを受け入れており、様々な苦痛症状（がん疼痛、呼吸困難、悪心･嘔吐、せん妄など）を全人的苦痛の観点でとらえ、薬物療法やケアを中心に症状緩和を行い、積極的に自宅や施設への退院の調整を行っています。

また緩和医療における地域との病診連携や病病連携を推し進めております。相談等ありましたら遠慮なくご連絡をください。

非がん疾患（慢性心不全など）患者さんに対しても当院入院患者に限定されますが、緩和医療チームが主治医、病棟スタッフとともに症状緩和、療養環境調整のサポートも行っています。

主な対象患者

悪性腫瘍により引き起こされる苦痛症状があり、その症状を緩和する目的のがん患者さんが対象です。悪性腫瘍の種類に制限はありません。

慢性心不全など非がん疾患の苦痛症状に対しては、原病の治療を担当している主治医と連携して治療に参加しています。

緩和ケアセンター　【緩和医療科】

スタッフ

講師

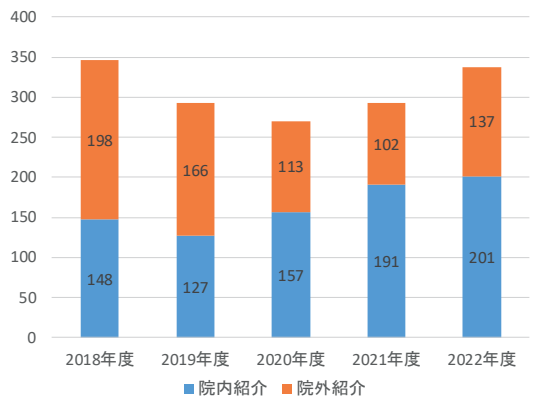
まつ いし じゅん
松石　純

卒業	昭和大学　平成6年卒
専門	緩和医療学、呼吸器内科
資格	日本緩和医療学会：認定医

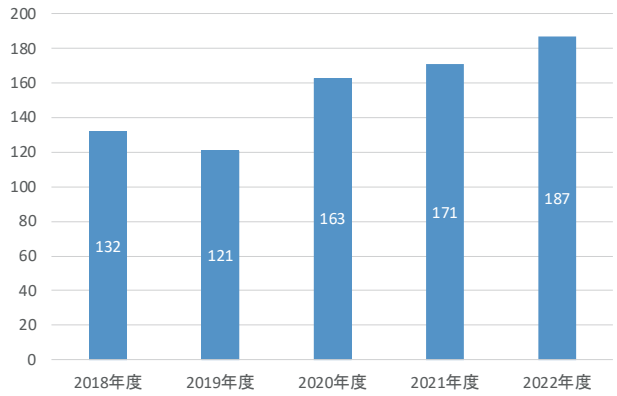
主な診療実績等

緩和ケア病棟は、各診療科（呼吸器センター、消化器センター、内科、産婦人科など）の診療を受けている患者さんだけではなく、院外からの紹介して頂いた患者さんも広く受け入れています。薬物治療、ケアの追加、変更、療養環境の調整により、苦痛症状を緩和し退院を目指しています。

緩和ケア病棟稼働年次推移



緩和医療チーム依頼件数



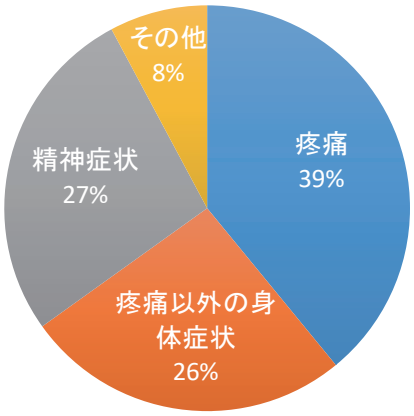
2022年度緩和ケア病棟入院患者

原発巣

肺	107名	血液	23名
結腸	29名	乳	17名
胃	26名	泌尿器	17名
食道	9名	婦人科	11名
膵	29名	頭頚部	8名
胆管・胆嚢	11名	その他	45名
肝	6名	合計	338名

外来受診までの平均日数　5.8日
入院適応となってから入院までの平均日数　2.5日
生存退院数／全退院数　55名／274名（20.0%）

2022年度緩和医療チーム介入患者の症状



臨床遺伝・ゲノム医療センター

センター長／教授／副院長

坂下（さかした）　暁子（あきこ）

卒業	昭和大学　昭和60年卒
専門	血液内科

診療内容・特色

近年の遺伝子解析技術の飛躍的な向上に伴い、様々な診療科において、遺伝学的検査による疾患の診断、治療方針の決定、将来の罹患予測、血縁者との遺伝情報共有など、遺伝診療の重要性が増しています。診療科の枠を超えて、それらの遺伝診療に対応していくため、2020年4月、臨床遺伝·ゲノム医療センターを開設いたしました。

これまで各診療科で対応していた、出生前診断、先天性疾患の診断·診療、多領域にわたる遺伝カウンセリングに加え、2020年1月よりがんゲノム医療連携病院に指定され、個々の腫瘍細胞の遺伝子情報を基にしたがんゲノム医療を開始することとなりました。

専門的な知識と豊富な経験が必要な分野ですが、複数の臨床遺伝専門医をはじめ、がん治療に精通した医師や薬剤師、認定遺伝カウンセラーが一丸となり、質の高い遺伝診療を提供します。

主な対象疾患

●出生前検査：母体血胎児染色体検査（NIPT）、クアトロテスト、羊水検査、絨毛検査

※超音波検査が必要な出生前検査は産婦人科で行いますが、検査前後のカウンセリングは当センターでも行います。

●先天性疾患・遺伝性疾患：染色体数的異常（ダウン症候群、13トリソミー、18トリソミー、ターナー症候群など）、染色体微細欠失・重複症候群（22q11.2欠失症候群、ソトス症候群、プラダーウィリー症候群など）、単一遺伝子疾患（マルファン症候群、ヌーナン症候群、骨系統疾患など）、原因不明のものも含む先天性疾患・多発形態異常など

●遺伝性腫瘍：遺伝性乳がん・卵巣がん症候群、多発性内分泌腫瘍症、Lynch症候群、家族性大腸腺腫症、Li-Fraumeni症候群など

●がんゲノム医療：がん遺伝子パネル検査

臨床遺伝・ゲノム医療センター

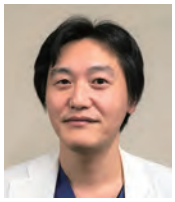
スタッフ

教授

市塚 清健（いちづか きよたけ）

卒業	昭和大学　平成5年卒
専門	周産期医学、超音波医学、臨床遺伝学
資格	日本産科婦人科学会：産婦人科専門医・指導医、日本超音波医学会：専門医・指導医、日本周産期新生児医学会：専門医（母体・胎児）・指導医（母体・胎児）、臨床研修指導医、日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医、Fetal Medicine Foundation オペレータ資格、新生児蘇生法インストラクター、J-CIMELS インストラクター

准教授



石田 博雄（いしだ ひろお）

卒業	昭和大学　平成13年卒
専門	腫瘍内科
資格	日本内科学会：総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会：専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会：専門医・指導医

准教授

松縄 学（まつなわ まなぶ）

卒業	昭和大学　平成12年卒
専門	血液内科
資格	日本血液学会：血液専門医・血液指導医・評議員、日本内科学会：認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、日本輸血・細胞治療学会：認定医、日本化学療法学会：抗菌化学療法認定医、ICD（インフェクションコントロールドクター）、日本医師会：認定産業医、臨床研修指導医

助教

富永 牧子（とみなが まきこ）

卒業	筑波大学　平成15年卒
専門	小児内科、先天異常症、臨床遺伝学
資格	日本小児科学会：専門医、日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医・指導医

講師、薬剤師

市倉 大輔（いちくら だいすけ）

卒業	東京理科大学　平成14年卒
専門	臨床腫瘍薬学
資格	日本医療薬学会：医療薬学専門薬剤師、日本医療薬学会：がん指導薬剤師・がん専門薬剤師、日本病院薬剤師会：がん薬物療法専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、がんゲノム医療コーディネーター

助教

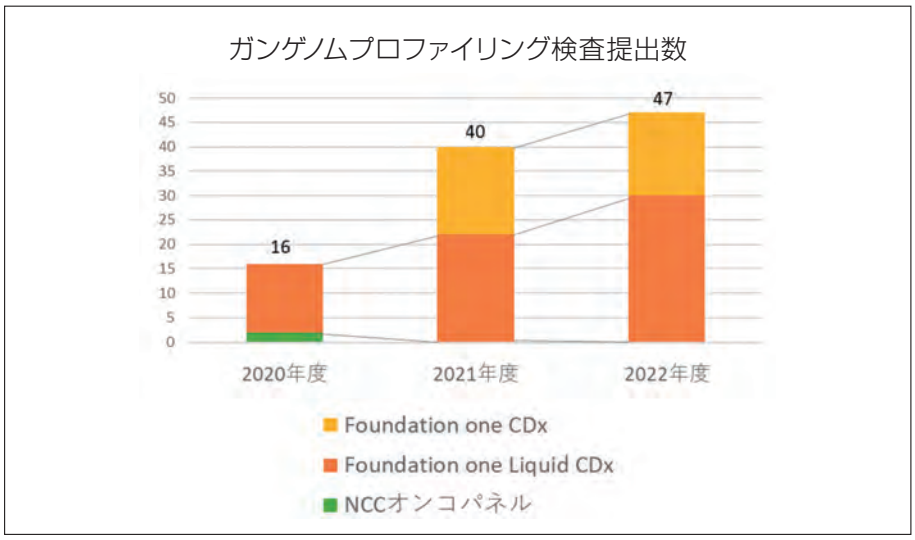
奥山 亜由美（おくやま あゆみ）

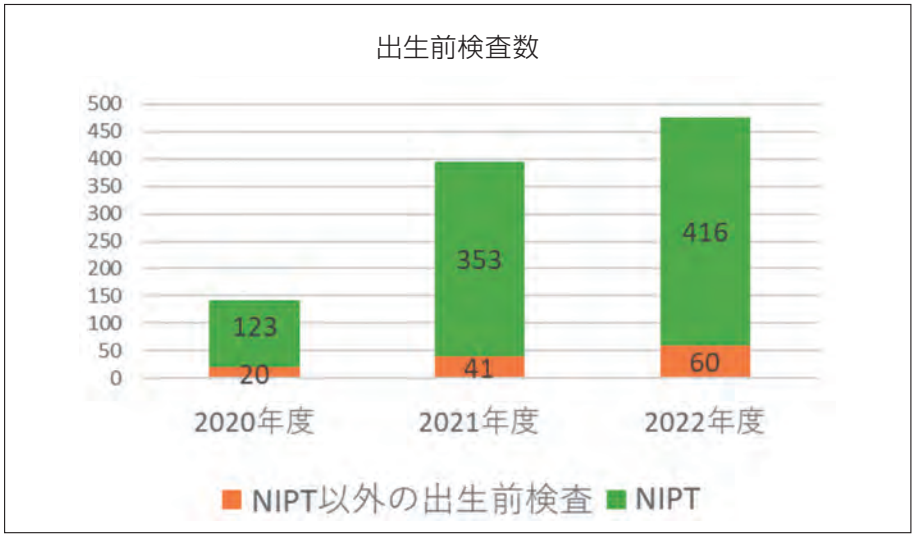
卒業	福島県立医科大学　平成21年卒
専門	周産期医学、超音波医学、臨床遺伝学
資格	日本産科婦人科学会：産婦人科専門医、日本超音波医学会：専門医・指導医、日本周産期新生児医学会：専門医（母体・胎児）、日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医

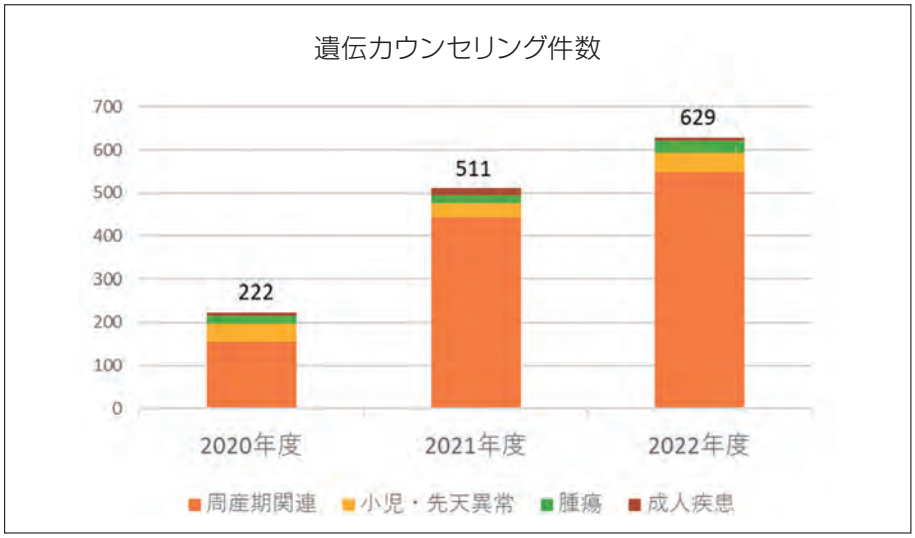
氏名		卒業	専門	資格
認定遺伝カウンセラー	和泉 美希子（いずみ みきこ）	九州大学 平成10年卒	遺伝カウンセリング学	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会：認定遺伝カウンセラー・同指導者
遺伝カウンセラー	櫻井 彩乃（さくらい あやの）	順天堂大学 令和2年卒	遺伝カウンセリング学	

主な診療実績等

2022年度







内科

診療科長・教授／副院長

さかした　あきこ
坂下　暁子

卒業	昭和大学　昭和60年卒
専門	血液内科

診療内容・特色

当科は、腎臓内科、神経内科、糖尿病･内分泌内科、膠原病内科、血液内科、腫瘍内科の各専門グループを中心に診療を行っていますが、細分化された専門領域にとらわれることなく、多彩な合併症を有する症例にも対応できるように、他科とも協力し横断的なチーム医療を実践しています。

主な対象疾患

●腎臓内科：糸球体疾患（腎炎、ネフローゼ症候群）、腎不全（急性腎障害、慢性腎臓病）、電解質異常、腎代替療法（血液透析、腹膜透析）、透析シャントトラブル

●神経内科：脳血管障害、感染症・炎症性疾患（髄膜炎、脳炎、脊髄炎など）、脱髄性疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎など）、末梢神経疾患、筋疾患、変性疾患（パーキンソン病、レビー小体型認知症など）、発作性・機能性疾患（てんかんなど）

●糖尿病・内分泌内科：糖尿病全般、下垂体疾患、副腎疾患

●膠原病内科：関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎／皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、血管炎症候群（高安動脈炎から顕微鏡的多発血管炎まですべて）、リウマチ性多発筋痛症、ベーチェット病、成人発症スティル病、抗リン脂質抗体症候群、血清反応陰性脊椎関節炎（乾癬性関節炎、強直性脊椎炎、反応性関節炎）、IgG4関連疾患、RS3PE症候群

●血液内科：慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病（急性白血病の治療および造血幹細胞移植（自家移植、同種移植）は行っておりません）

●腫瘍内科：肺がん、乳がん、原発不明がんをはじめとする固形癌全般、軟部肉腫などの希少がん

スタッフ

教授／副院長

緒方　浩顕（おがた　ひろあき）

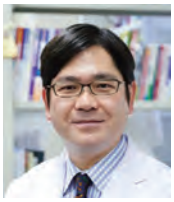
卒業	信州大学　平成元年卒
専門	腎臓内科、血液浄化療法、Ca・骨代謝
資格	日本内科学会：総合内科専門医、 日本腎臓学会：腎臓専門医・指導医、 日本透析医学会： 透析専門医・指導医、 日本高血圧学会：専門医・指導医

准教授

伊藤　英利（いとう　ひでとし）

卒業	帝京大学　平成7年卒
専門	腎臓内科、血液浄化療法
資格	日本内科学会： 総合内科専門医・指導医、 日本透析医学会： 透析専門医・指導医、 日本腎臓学会：腎臓専門医・指導医

准教授



三輪　裕介（みわ　ゆうすけ）

卒業	昭和大学　平成8年卒
専門	リウマチ膠原病全般
資格	日本内科学会：総合内科専門医、 日本リウマチ学会： 専門医・指導医・評議員、 日本リウマチ財団認定登録医、 日本心身医学会：代議員、 日本登山医学会：代議員、 日本医師会：認定産業医、 身体障害者福祉法第15条第1項 指定医（肢体不自由の診断）

准教授

國井　葉（くにい　よう）

卒業	日本医科大学　平成11年卒
専門	内分泌内科、甲状腺超音波
資格	日本内科学会：総合内科専門医、 日本内分泌学会： 内科専門医・指導医・評議員、 日本甲状腺学会：専門医・評議員、 日本超音波医学会：専門医・指導医

准教授

石田　博雄（いしだ　ひろお）

卒業	昭和大学　平成13年卒
専門	腫瘍内科
資格	日本内科学会： 総合内科専門医・指導医、 日本呼吸器学会：専門医・指導医、 日本臨床腫瘍学会： 専門医・指導医

准教授

金野　竜太（きんの　りゅうた）

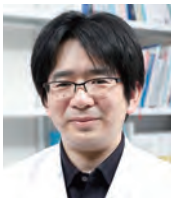
卒業	昭和大学　平成14年卒
専門	神経内科
資格	日本内科学会： 総合内科専門医・指導医、 日本神経学会： 神経専門医・指導医・代議員 日本脳卒中学会： 脳卒中専門医・指導医 日本認知症学会： 認知症専門医・指導医 日本プライマリケア学会： 認定医・指導医

准教授

松縄　学（まつなわ　まなぶ）

卒業	昭和大学　平成12年卒
専門	血液内科
資格	日本内科学会： 総合内科専門医・指導医、 日本血液学会： 専門医・指導医・評議員、 日本輸血・細胞治療学会：認定医、 細胞治療認定管理師、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本化学療法学会： 抗菌化学療法認定医、 日本医師会：認定産業医、ICD

講師



山本　真寛（やまもと　まさひろ）

卒業	昭和大学　平成14年卒
専門	腎臓内科
資格	日本内科学会： 総合内科専門医・指導医、 日本透析医学会： 透析専門医・指導医、 日本腎臓学会：腎臓専門医・指導医

内科

講師

よしはら　あや
吉原　彩

卒業	東邦大学　平成16年卒
専門	糖尿病・内分泌内科
資格	日本内科学会： 総合内科専門医、指導医 日本内分泌学会： 内分泌代謝専門医・指導医・評議員、 日本糖尿病学会： 糖尿病専門医・指導医

	氏名	卒業	専門	資格
講師	荏原（えばら）　徹（てつ）	昭和大学 平成2年卒	糖尿病・内分泌内科	
助教	野木（のぎ）　孝准（ゆきのり）	昭和大学 平成19年卒	糖尿病・内分泌内科	日本糖尿病協会：糖尿病専門医
助教	加藤（かとう）　雅典（まさのり）	昭和大学 平成20年卒	腎臓内科	日本内科学会：総合内科専門医、指導医、 日本腎臓学会：腎臓専門医、 日本透析医学会：透析専門医
助教	齋藤（さいとう）　佳範（よしのり）	昭和大学 平成22年卒	腎臓内科	日本内科学会：総合内科専門医、 日本腎臓学会：腎臓専門医、 日本透析医学会：透析専門医
助教	菅原（すがわら）　浩仁（ひろひと）	札幌医科大学 平成22年卒	腎臓内科	日本内科学会：総合内科専門医、 日本腎臓学会：腎臓専門医、 日本透析医学会：透析専門医、 日本循環器学会：循環器専門医
助教	三倉（みくら）　健太朗（けんたろう）	聖マリアンナ医科大学 平成24年卒	内分泌内科 甲状腺超音波 糖尿病	日本内科学会：内科認定医・指導医、 日本内分泌学会：専門医、 日本糖尿病学会：専門医、 難病指定医
助教	吉田（よしだ）　輝龍（きりゅう）	昭和大学 平成28年卒	腎臓内科	日本内科学会：内科専門医
助教	渡辺（わたなべ）　慶子（けいこ）	東海大学 平成23年卒	神経内科	日本神経学会：神経専門医
助教	西見（にしみ）　慎一郎（しんいちろう）	昭和大学 平成24年卒	リウマチ膠原病全般	日本リウマチ学会：専門医
助教	髙畑（こうはた）　洋（よう）	昭和大学 平成26年卒	糖尿病・内分泌内科	
助教	小西（こにし）　典子（のりこ）	聖マリアンナ医科大学 平成27年卒	リウマチ膠原病全般	日本内科学会：内科専門医
助教	藤田（ふじた）　崇史（たかふみ）	昭和大学 平成28年卒	腎臓内科	日本内科学会：内科専門医
助教	三村（みむら）　優樹（ゆうき）	金沢医科大学 平成29年卒	腎臓内科	日本内科学会：内科専門医
助教	重松（しげまつ）　寛哉（ひろや）	昭和大学 平成30年卒	腎臓内科	
助教	柿沼（かきぬま）　佑樹（ゆうき）	昭和大学 平成30年卒	神経内科	
助教	石髙（いしだか）　絵里子（えりこ）	東海大学 平成28卒業	リウマチ膠原病全般	

	氏名	卒業	専門	資格
助教	渡辺（わたなべ） 拓哉（たくや）	昭和大学 平成31年卒	神経内科	
助教	福﨑（ふくざき） 由莉（ゆり）	北里大学 令和2卒業	腎臓内科	
助教	安西（あんざい） 幸之助（こうのすけ）	聖マリアンナ医科大学 令和3卒業	腎臓内科	
助教	古田（ふるた） 皓啓（あきひろ）	昭和大学 令和3卒業	腎臓内科	

主な診療実績等

2022年度

腎臓内科	血液透析導入	37例	腹膜透析導入	6例
	腎生検	37件	バスキュラーアクセス関連手術	59件
	腹膜透析関連手術	10件	経皮的バスキュラーアクセス拡張術	133件
	カフ型カテーテル挿入	23件		

神経内科	脳血管障害	4例	感染症・炎症性疾患	18例
	脱髄性疾患	7例	末梢神経疾患	9例
	筋疾患	11例	変性疾患	36例
	発作性・機能性疾患	21例	脳波	160件
	神経伝導検査	116件	針筋電図	36件
	神経・筋生検	3件		

糖尿病・内分泌内科	糖尿病教育入院	60例	糖尿病ケトアシドーシス・高浸透圧高血糖状態入院	11例
	原発性アルドステロン症負荷試験入院	7例		

膠原病内科	関節リウマチ	176例	全身性エリテマトーデス	24例
	多発性筋炎・皮膚筋炎	13例	血管炎症候群	34例
	その他の膠原病疾患	218例		

血液内科	急性性白血病	5例	慢性骨髄性白血病	5例
	骨髄異形成症候群	4例	骨髄増殖性腫瘍	9例
	悪性リンパ腫	50例	多発性骨髄腫	3例
	再生不良性貧血	2例	特発性血小板減少性紫斑病	11例
	その他	5例	骨髄検査	188件

腫瘍内科	肺癌	11例	乳癌	16例
	軟部肉腫	3例	原発不明癌	7例
	神経内分泌腫瘍	4例	卵巣癌	4例
	その他	5例		

皮膚科

診療科長・教授

わたなべ　ひであき
渡辺　秀晃

卒業	昭和大学　平成7年卒
専門	重症型薬疹・アトピー性皮膚炎・乾癬
資格	日本皮膚科学会：認定専門医、 医学博士、 日本皮膚科学会：東京支部代議員、 日本研究皮膚科学会：評議員、 日本皮膚免疫アレルギー学会：代議員、 日本皮膚免疫アレルギー学会：薬疹専門部会委員、 医薬品医療機器総合機構（PMDA）専門委員、 神奈川県乾癬治療研究会理事

診療内容・特色

当皮膚科では、アトピー性皮膚炎、乾癬、薬疹、湿疹皮膚炎群、蕁麻疹、真菌症、帯状疱疹・蜂窩織炎などのウイルス・細菌感染症、水疱症、皮膚腫瘍など皮膚科全般の疾患を診療しています。

2022年度よりエキシマライトを導入し、アトピー性皮膚炎や乾癬、類乾癬、円形脱毛症、悪性リンパ腫などの保険適応となっている疾患に対応いたします。また、重症を含む薬疹・多形紅斑・中毒疹などの積極的な受け入れ、アトピー性皮膚炎や乾癬の生物学的製剤の導入、手術室を用いた皮膚外科手術に特に注力いたします。

重症薬疹の受け入れは二次救急拠点病院Aの指定を受けている横浜市北部病院ならではの特色としていきたいと思います。アトピー性皮膚炎や乾癬の生物学的製剤導入後のフォローはご紹介頂いた先生方にお願いする、二人主治医制度に力を注いでいきます。手術室を用いた皮膚外科手術で「安心・安全・綺麗」な環境での手術を患者様に提供致します。

入院に関しましては、蜂窩織炎や帯状疱疹などの感染症、天疱瘡や類天疱瘡などの水疱症、スティーヴンス・ジョンソン症候群や中毒性表皮壊死症などの重症な皮膚疾患の入院治療を行います。

クリニックや皮膚科医の常住していない病院の先生方には、重症の皮膚疾患をご紹介いただければと思います。当院での治療が終了され落ち着いた患者様には、ご紹介元での加療（逆紹介）を積極的にお願いさせて頂きます。引き続きよろしくお願いいたします。

主な対象疾患

アトピー性皮膚炎、乾癬、薬疹、蕁麻疹、痒疹、紫斑病、皮膚潰瘍、褥瘡、熱傷、水疱症、膿疱症、膠原病、皮膚腫瘍、母斑、爪甲疾患、脱毛症、蜂窩織炎など細菌性疾患、帯状疱疹や麻疹などウイルス性疾患、足白癬など真菌感染症など。

特に重症型薬疹（多形紅斑重症型、Stevens-Johnson症候群／中毒性表皮壊死症、薬剤性過敏症症候群（DIHS））への集約的治療に力を入れています。
2022年度から手術室を使った手術も行っています。

スタッフ

准教授

保坂 浩臣（ほさか ひろおみ）

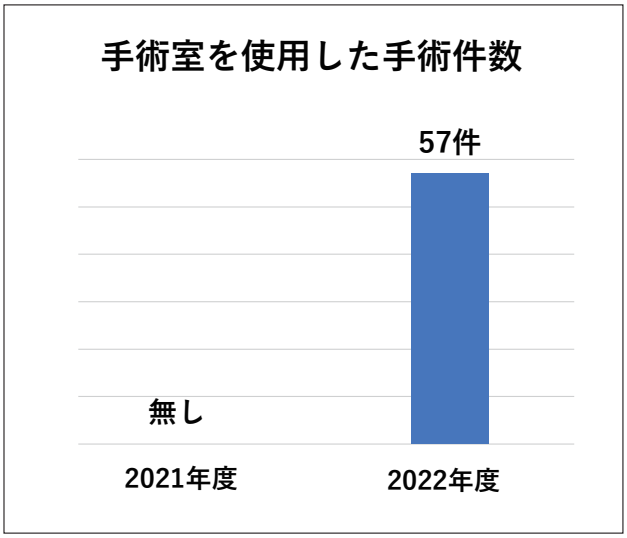
卒業	昭和大学　平成8年卒
専門	薬疹
資格	日本皮膚科学会：認定専門医、 医学博士、 日本皮膚科学会：東京支部代議員

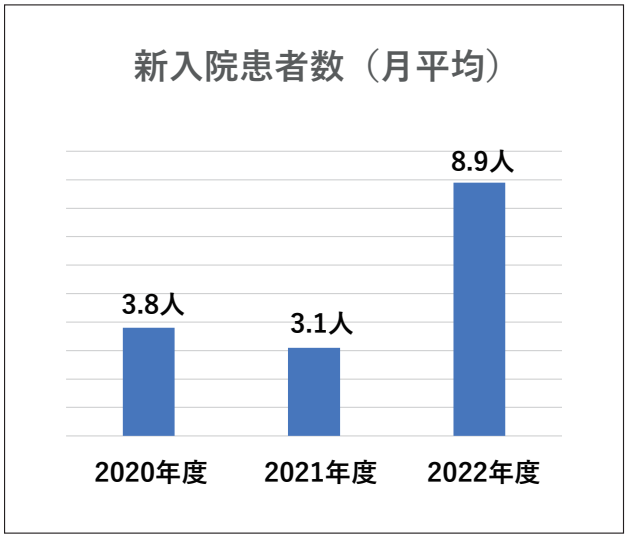
氏名		卒業	専門	資格
助教	境井 尚大（さかい なおひろ）	福井大学 平成28年卒	皮膚科全般、 乾癬、 アトピー性皮膚炎	
助教	須永 知里（すなが ちさと）	川崎医大 平成28年卒	皮膚科全般、 アトピー性皮膚炎、 乾癬	
助教	山口 文太郎（やまぐち ぶんたろう）	昭和大学 平成28年卒	皮膚科全般、 皮膚外科	
助教	桜井 隆喜（さくらい たかよし）	昭和大学 平成30年卒	皮膚科全般、 皮膚外科	

主な診療実績等

2022年度

年間手術数（含生検術）	新入院患者数（月平均）
393件	8.9件





放射線科・放射線治療科

放射線科診療科長・教授

ふじさわ　ひでふみ
藤澤　英文

卒業	昭和大学　平成5年卒
専門	胸部画像診断、画像下治療（IVR）
資格	放射線科専門医、放射線診断専門医、IVR専門医、がん治療認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、PET核医学認定医

放射線治療科診療科長・准教授

しんじょう　ひでのり
新城　秀典

卒業	昭和大学　平成14年卒
専門	放射線治療
資格	放射線科専門医、放射線治療専門医、核医学専門医、PET核医学認定医、がん治療認定医

診療内容・特色

診断部門では、画像診断およびIVR（画像下治療）を担当しています。画像診断はCT、MRI、核医学検査のすべての検査に対して、専門医による読影レポートを短時間で作成しています。検査ごとに最適化された撮影プロトコールと最新の画像処理技術で画像を作成し、多面モニターを用いて診断することで、良質な画像診断が行える環境を構築しております。PET-CTが配置されていることも当院の特徴です。IVRでは各種腫瘍に対する経カテーテル的塞栓術、出血の塞栓術、内臓動脈瘤、血管奇形、消化管静脈瘤などの塞栓術、画像ガイド下生検およびドレナージ、中心静脈ポート留置術、ラジオ波焼却術、経皮的椎体形成術などを主に行っています。

治療部門では、最新の放射線治療機器を活用し、患者さん毎に最適な治療法を提案しています。三次元原体照射や定位放射線治療、強度変調放射線治療を更に進化させたRapid-arc、など多彩できめ細やかな治療を行うことで、副作用の低減を図り、治療効果を高めています。昭和大学病院及び関連施設とも密に連携し、治療方針や治療方法を検討して標準治療を提供しています。

主な対象疾患

- IVR：肝細胞癌、転移性肝癌、転移性骨腫瘍、肺腫瘍、内臓動脈瘤、消化管静脈瘤、動静脈奇形、内臓出血、後腹膜出血、産科危機的出血、深部膿瘍
- 放射線治療：ほぼ全ての悪性腫瘍

スタッフ

講師

はら だ けん
原田 堅

卒業	東海大学　平成22年卒
専門	放射線治療
資格	放射線科専門医、 放射線治療専門医、 がん治療認定医

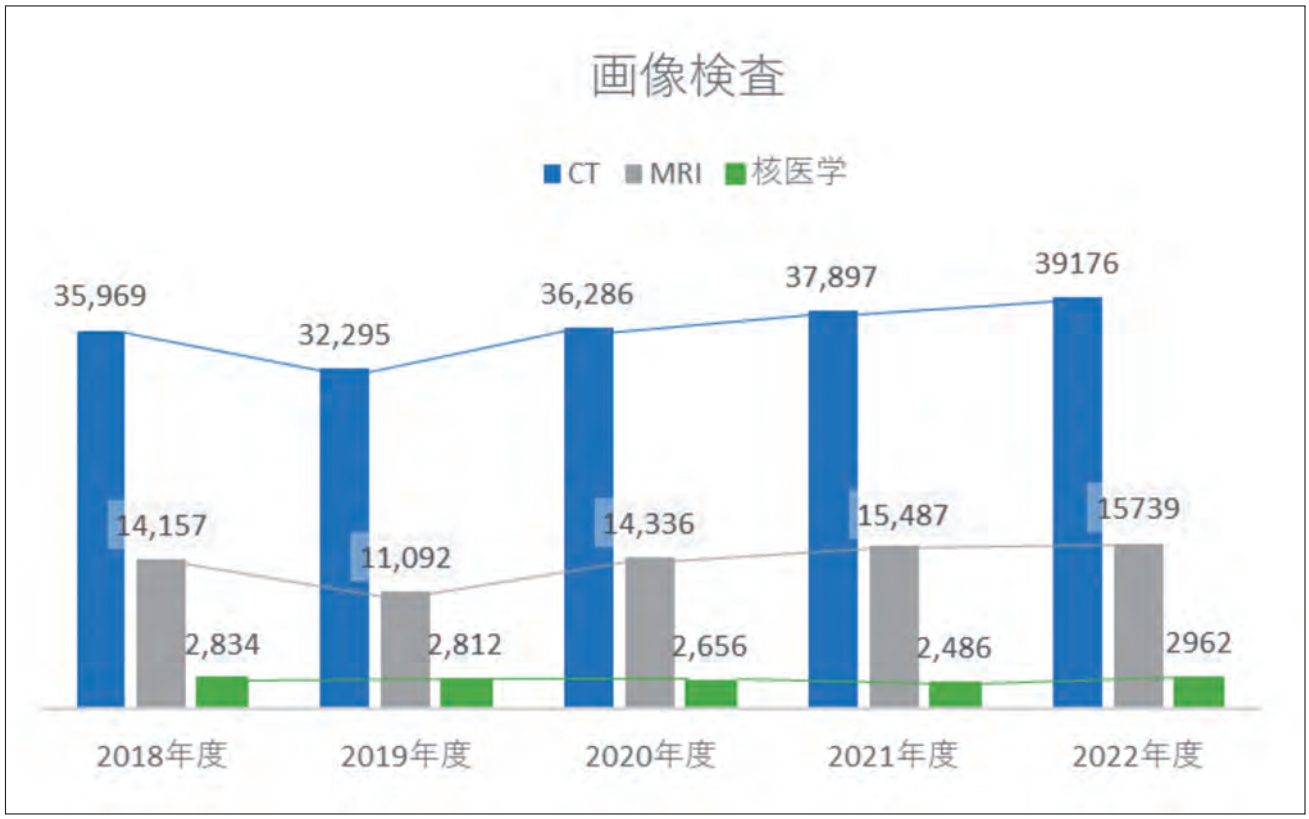
	氏名	卒業	専門	資格
助教	わたなべ こうた 渡邉 孝太	昭和大学 平成20年卒	画像診断 （頭頸部、骨盤）、 IVR	放射線科専門医、放射線診断専門医、 核医学専門医、IVR専門医
助教	はしづめ のりひろ 橋詰 典弘	昭和大学 平成22年卒	画像診断 （心血管、婦人科）、 IVR	放射線科専門医、放射線診断専門医、 核医学専門医、PET核医学認定医、 肺がんCT検診認定医
助教	むらかみ だいき 村上 大軌	川崎医科大学 平成22年卒	画像診断	放射線科専門医、放射線診断専門医
助教	せとがわ たけひと 瀬戸川 武仁	富山大学 平成29年卒	画像診断	放射線科専門医
助教	ほり まこと 堀 麻琴	宮崎大学 令和2年卒	画像診断	
助教	かとう かずのり 加藤 和憲	名古屋市立大学 令和3年卒	画像診断	

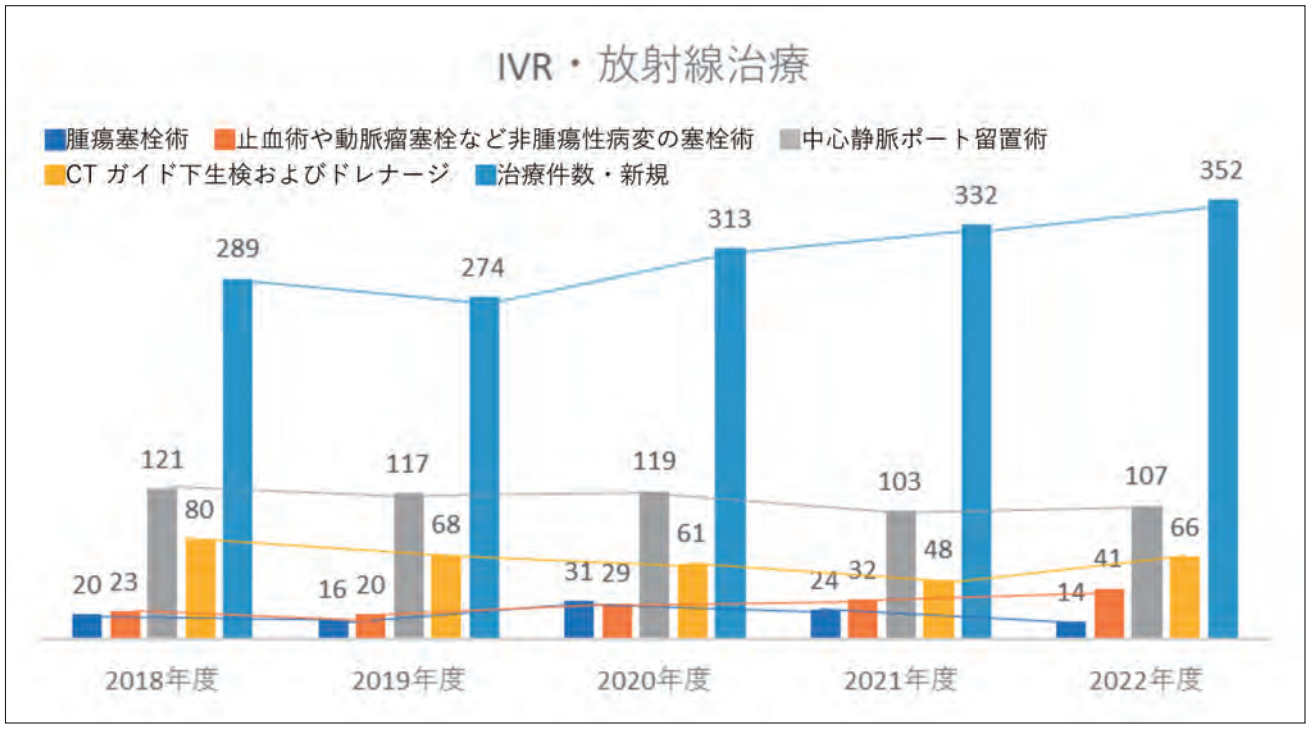
主な診療実績等

2022年度

検査件数	CT　39,176件
	MRI　15,739件
	核医学　2,962件（PET-CT　1,184件）
IVR	腫瘍塞栓術　14件
	止血術や動脈瘤塞栓など非腫瘍性病変の塞栓術　41件
	中心静脈ポート留置術　107件
	CTガイド下生検およびドレナージ　66件
放射線治療　治療件数	新規352件

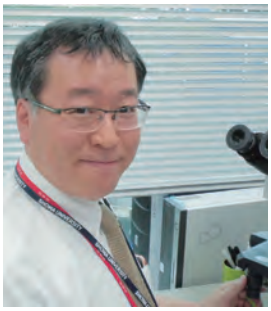
放射線科・放射線治療科


画像検査
CT
MRI
核医学
35,969
32,295
36,286
37,897
39176
14,157
11,092
14,336
15,487
15739
2,834
2,812
2,656
2,486
2962
2018年度
2019年度
2020年度
2021年度
2022年度


IVR・放射線治療
腫瘍塞栓術
止血術や動脈瘤塞栓など非腫瘍性病変の塞栓術
中心静脈ポート留置術
CT ガイド下生検およびドレナージ
治療件数・新規
289
274
313
332
352
121
117
119
103
107
80
68
61
48
66
20
23
16
20
31
29
24
32
14
41
2018年度
2019年度
2020年度
2021年度
2022年度

臨床病理診断科

診療科長・教授



ねもと　てつお
根本　哲生

卒業	東邦大学　昭和63年卒
専門	人体病理学、消化管病理学
資格	日本病理学会：病理専門医・病理専門医研修指導医、 日本臨床細胞学会：細胞診専門医、 死体解剖資格、 日本病理学会：学術評議員、 日本食道学会：理事、 日本消化器内視鏡学会：関東支部会評議員、 東京医科歯科大学臨床教授、東邦大学客員教授

診療内容・特色

当科には病理診断と臨床検査の2つの部門があります。

病理診断は検査･手術で摘出した病変から作製した標本を、病理専門医･細胞診専門医が顕微鏡で観察し診断を下します。病理診断は診療における最終診断と位置づけられ、治療方針の決定に大きな役割を担っています。患者さんに直接お会いすることはありませんが、昭和大学横浜市北部病院における質の高い診療の根幹を支えています。

一方、臨床検査領域では、臨床検査と感染症の専門医がおり、検査でパニック値が出た症例への対応や、感染管理業務を行っています。臨床検査技師とともに、法令に定められた臨床検査の品質維持に必要な業務を担当しつつ、極端な異常値、危険な病原体が検出された場合、臨床側に告知、対応を確認する業務です。また、内科外来の一環として不明熱の患者さんや、海外から来られた方の発熱･下痢の診療、感染症や医療従事者の針刺し事故の診療を行っています。さらに抗菌薬適正使用推進チーム（AST）の一員として、臨床検査技師、看護師、薬剤師等と協力し、抗菌薬の使用状況監視や感染症における主治医からの相談に対応しています。

主な対象疾患

●病理診断

病理診断領域は呼吸器（肺癌、肺炎等）、中枢神経（脳腫瘍、血管奇形等）、造血器（白血病、悪性リンパ腫等）、消化管（胃癌、大腸癌等）、肝臓（肝癌、慢性肝炎等）、膵臓（膵腫瘍、膵炎等）、子宮（子宮頸癌、子宮体癌等）、卵巣（卵巣癌等）、乳腺（乳癌、乳腺症等）、内分泌（甲状腺、副甲状腺、副腎等）、皮膚（腫瘍、炎症性疾患等）、腎臓（糸球体腎炎、腎癌等）、細胞診（婦人科、尿、甲状腺、喀痰、体腔液等）　等

●臨床検査

重症感染症、多剤耐性菌感染症、輸入感染症、不明熱症例の精査に関するコンサルテーション対応や、針刺し／血液曝露症例の診療（梅毒など検査結果の解釈にお困りの際、火曜午前の内科外来枠で、木村が患者さんへのご説明やフォローアップを行っております。）

臨床病理診断科

スタッフ

教授

木村　聡（きむら　さとし）

卒業	新潟大学　昭和59年卒
専門	感染症学、臨床免疫学
資格	日本専門医機構： 認定基盤領域臨床検査専門医、 日本感染症学会：評議員・ 認定感染症専門医・指導医、 日本臨床検査医学会：理事、 日本臨床化学会：評議員、 日本医師会認定産業医

氏名		卒業	専門	資格
講師	小池（こいけ）　千尋（ちひろ）	信州大学 平成19年卒	人体病理学	日本病理学会：病理専門医・ 病理専門医研修指導医、分子病理専門医、 日本臨床細胞学会：細胞診専門医、 死体解剖資格
助教	二本柳（にほんやなぎ）　康博（やすひろ）	旭川医科大学 平成6年卒	人体病理学	日本病理学会：病理専門医、 日本臨床細胞学会：細胞診専門医、 死体解剖資格
助教	解良（けら）　仁美（ひとみ）	昭和大学 平成26年卒	人体病理学	

主な診療実績等

●2022年病理診断実績

病理組織診断	10,431件	迅速組織診断	253件
細胞診	5,900件	迅速細胞診	24件
病理解剖	14件		

●臨床検査

臨床検査領域では、検査所見へのコメント記載、とくにパニック値（超異常値）を臨床側が見逃さないよう、電子カルテを活用して主治医が結果を認識しておられるか確認を行うとともに、見逃しがないよう情報発信を行っています。血液培養陽性となった症例ではコメントを記載したり、主治医や病棟からコンサルテーションを受けています。また患者さんと職員を感染症から守る「感染管理室」を組織し、専従／専任の医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務員で、毎週1回の病棟ラウンド、耐性菌検出症例や血液培養陽性症例の検討会（毎週）、さらに抗菌薬の適正使用推進活動（毎週）、集中治療室への感染症回診（毎週）を行っています。このほか生理機能検査の一翼を担うべく、末梢神経伝導速度の判読、コメント記入も行い、整形外科や神経内科、小児科の診療に寄与しています。

外科

診療科長・准教授

ふくしま　みつひろ
福島　光浩

卒業	日本医科大学　平成4年卒
専門	内分泌外科
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本内分泌外科学会：専門医・指導医・評議員 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 日本胸部外科学会：認定医

特任教授

ふくなり　のぶひろ
福成　信博

卒業	昭和大学　昭和59年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波、 甲状腺インターベンション治療
資格	日本外科学会：専門医・指導医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本消化器外科学会：専門医、 日本甲状腺学会：専門医・評議員、 日本内分泌外科学会：専門医・評議員

診療内容・特色

外科系総合診療科として診療しております。

鼠径ヘルニア手術は、主に一般病院や腹腔鏡治療では対応困難な既往症、合併症をお持ちの患者さんに対して行っています。

形成外科は独立した科として、専門の医師が診療に当たります。先天的または後天的に生じた身体の変形や欠損を、整容的(見た目)にも機能的にも改善することを目的とする専門の診療科です。頭部から手足に至るまで体表の異常を中心に診療を行なっております。具体的には顔や手足の先天異常、腫瘍、顔面の骨折、手足･顔面の外傷、火傷、傷跡の修正などが対象になります。

2019年4月より甲状腺センターが開設され、甲状腺、副甲状腺疾患を中心に、外科手術のみならず非手術的な加療(Intervention)を積極的に取り入れています。甲状腺ラジオ波焼灼療法を日本で唯一行うなど、より専門性を強く診療しております。(詳細は甲状腺センターの項をご参照ください。)

主な対象疾患

●ヘルニア疾患：鼠径ヘルニア
●形　成　外　科：先天性疾患：口唇口蓋裂、手足の多指症、合指症、臍ヘルニア（でべそ）
耳介変形（埋没耳・副耳・耳瘻孔）
腫　瘍：皮膚良性腫瘍（母斑、血管腫）、皮膚悪性腫瘍およびそれに関する再建、軟部腫瘍
外　傷：顔面外傷、顔面骨骨折（頬骨・眼窩・鼻骨・顎骨）、熱傷、ケガに伴う瘢痕（きずあと）、瘢痕拘縮、ケロイド、変形
その他：眼瞼下垂、睫毛内反（逆まつげ）、爪変形（陥入爪）　など
●甲 状 腺 疾 患：甲状腺良性腫瘍、甲状腺癌、バセドウ病、橋本病、甲状腺嚢胞　など
●副甲状腺疾患：副甲状腺機能亢進症(原発性、続発性)、副甲状腺癌、副甲状腺嚢胞　など

外科

スタッフ

講師

あいだ　さだつぐ
相田　貞継

卒業	昭和大学　平成3年卒
専門	一般消化器外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本消化器学会：胃腸科 専門医 日本胃癌学会：評議員

講師

おおくわ　けいこ
大桑　恵子

卒業	浜松医科大学　平成5年卒
専門	内分泌外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本内分泌外科：専門医・評議員、 日本甲状腺学会：専門医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 消化器外科学会：認定医

講師

とみづか　ようすけ
冨塚　陽介

卒業	昭和大学　平成14年卒
専門	形成外科
資格	日本形成外科 専門医、 日本形成外科学会： 形成外科領域指導医、 日本形成外科学会：評議員、 皮膚腫瘍外科分野指導医、 小児形成外科分野指導医、 再建・マイクロサージャリー分野 指導医、 日本創傷外科学会：専門医

講師

さかうえ　さとし
坂上　聡志

卒業	昭和大学　平成16年卒
専門	内分泌外科、一般消化器外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本内分泌外科学会：専門医

講師

なかの　まさひで
中野　賢英

卒業	昭和大学　平成18年卒
専門	内分泌外科
資格	日本外科学会：専門医、 日本内分泌外科学会：専門医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医、 日本甲状腺学会：専門医、 日本超音波医学会：専門医、 日本DMAT隊員

	氏名	卒業	専門	資格
助教	やまもと　まさし 山本　將史	昭和大学 平成29年卒	形成外科一般	

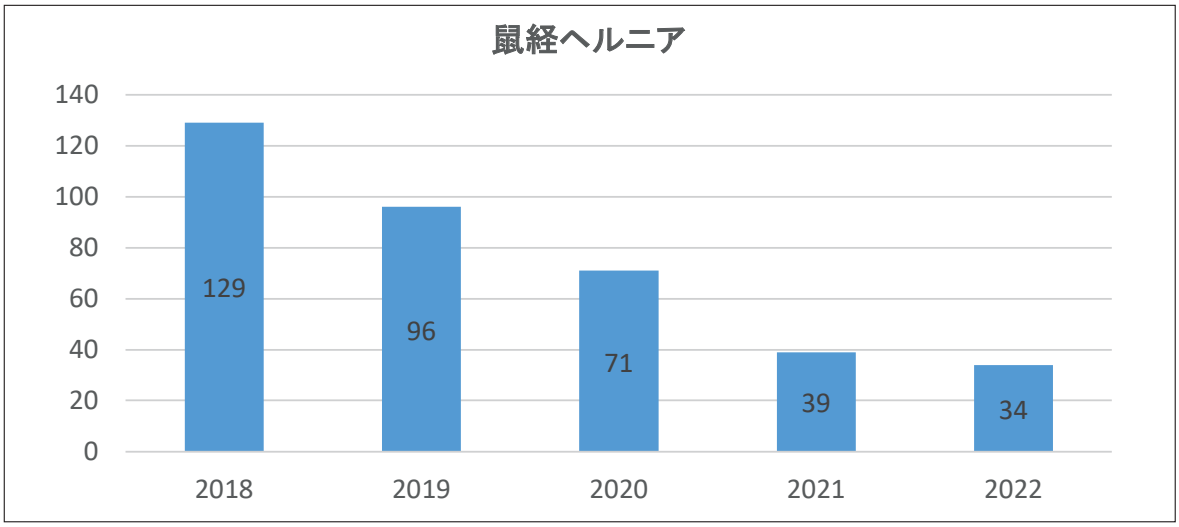
主な診療実績等

●2018年～2022年手術件数推移（外科）

	2018	2019	2020	2021	2022
鼠経ヘルニア	129	96	71	39	34
甲状腺	196	244	270	287	332
副甲状腺	7	14	31	29	29

※甲状腺・副甲状腺疾患についての詳細は、甲状腺センターの頁をご参照ください。

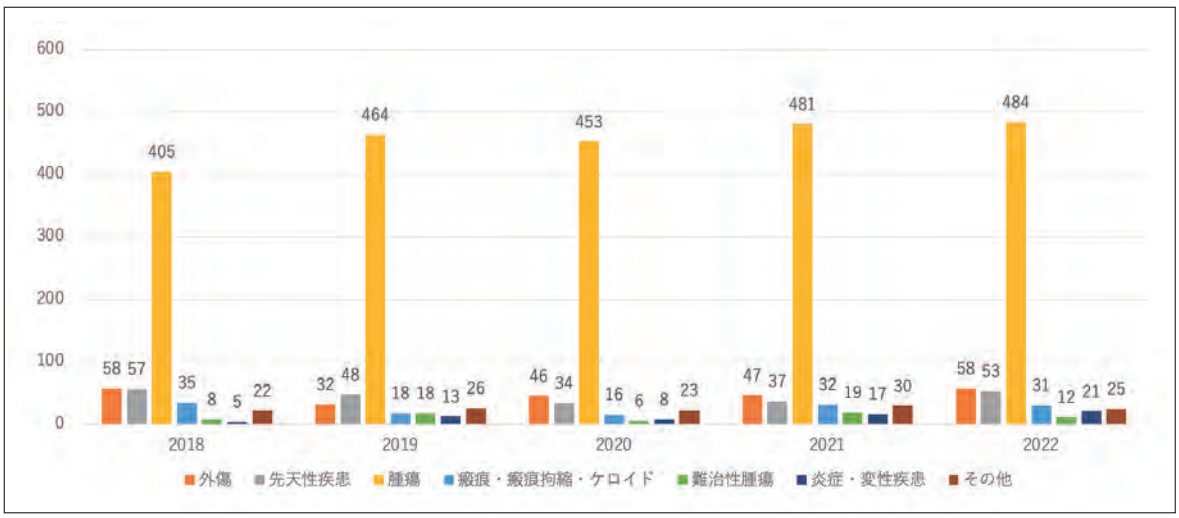
※乳腺疾患につきましては、2023年度より乳腺外科に診療が移行したため、外科では受け入れを行っておりません。詳細は乳腺外科の頁をご参照ください。



●2022年度手術実績（形成外科）

手術件数	684件（入院：231件、外来453件）
手術内容	良性・悪性皮膚軟部腫瘍摘出術およびそれに関連した再建術、皮弁術、植皮術、顔面骨骨折観血的整復固定術、眼瞼下垂手術、瘢痕拘縮手術、口唇口蓋裂手術、骨移植術、耳介形成術など

2018年～2022年手術件数推移（形成外科）



乳腺外科

教授

ちしま　たかし
千島　隆司

卒業	福島県立医科大学　平成3年卒
専門	乳腺疾患一般、乳がん検診
資格	日本乳癌学会：評議員・乳腺専門医・指導医、 日本外科学会：外科専門医・指導医、 日本遺伝性腫瘍学会：遺伝性腫瘍専門医、 日本乳癌検診学会：評議員、 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会：評議員、 日本サイコオンコロジー学会：代議員、 日本消化器外科学会： 認定登録医（専門医）・指導医・消化器がん外科治療認定医、 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、 日本乳がん検診精度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医、 乳房超音波検診実施・判定医、 日本医師会：認定産業医、 米国癌学会（AACR）：Active Member、 米国臨床腫瘍学会（ASCO）：Active Member

診療内容・特色

現在、日本における乳がんの罹患者数は年間10万人と言われています。特に、乳がんは40歳後半から50歳代で罹患率が高く、職場でも家庭でも中心的な役割を担う世代で発症するのが特徴です。その一方で、85%の乳がん患者さんは病気を克服して「もとの人生」へ戻ることができるようになりました。これからの乳がん診療は、治療だけではなく「がんが治った後の生活」も考えた患者支援が必要となってきます。

2023年4月に新設した当科では、乳腺専門医（乳腺外科）、がん薬物療法専門医（腫瘍内科）、放射線治療専門医（放射線科）、形成外科専門医（形成外科）に加え、がん看護専門看護師、がん化学療法認定看護師、がん専門薬剤師などのがん治療の専門家がチームを作り、患者さんが安心･安全に乳がん治療を受けられるような環境作りに取り組んでいきます。

主な対象疾患

- 悪性疾患：乳がん（男性乳がんも含む）、間質肉腫、血管肉腫などの乳腺悪性腫瘍
- 良性疾患：線維腺腫、葉状腫瘍などの乳腺良性腫瘍、乳腺炎、乳輪下膿瘍、乳腺症、乳頭異常分泌、ホルモン異常による乳房痛、女性化乳房症、腋窩リンパ節腫大
- 二次乳がん検診（精密検査）：腫瘤、石灰化病変に対する組織診断

スタッフ

	氏名	卒業	専門	資格
助教	小松（こまつ） 奈々（なな）	東京女子医科大学 平成27年卒	乳腺疾患一般、 乳がん検診	日本外科学会：外科専門医、 日本乳癌学会：乳腺認定医、 日本乳がん検診精度管理中央機構： 検診マンモグラフィ読影認定医、 乳房超音波検診実施・判定医
助教	矢野（やの） 央子（ひさこ）	昭和大学 平成31年卒	乳腺疾患一般、 乳がん検診	

主な診療実績等

2023年4月に新設されたため過去の実績はありません。

脳神経外科

診療責任者・講師

ふじしま　ひろたけ
藤島　裕丈

卒業	昭和大学　平成15年卒
専門	脳血管障害、脳腫瘍、顔面けいれん、三叉神経痛
資格	医学博士、 日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本脳卒中の外科学会：技術認定医

特任教授

てらだ　ともあき
寺田　友昭

卒業	和歌山県立医科大学　昭和55年卒
専門	脳血管内治療
資格	医学博士、 日本脳神経血管内治療学会：指導医、 日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本脳卒中学会：専門医・指導医、 日本脳卒中の外科学会：技術指導医

診療内容・特色

すべての脳神経外科疾患の治療にあたっていますが、大学病院ならではの高度な手術治療に注力しています。また高齢の患者様に対しても総合病院の強みを生かして各科と連携して治療にあたることが可能です。

現在脳血管障害を中心にそれ以外でも脳腫瘍など脳外科疾患全般に対応する事が可能です。現在脳神経外科と脳血管センターと分かれていますが、実働は脳神経外科医７人及び神経内科１人の８人合同で患者様を治療、管理を行っております。カンファレンスで直達もしくは血管内どちらの治療がより患者様にとって安全でベストな治療か検討して治療しております。

当科では主に①脳動脈瘤直達手術②血管吻合術を併用した脳血管障害手術③頸動脈狭窄症に対する直達手術④悪性脳腫瘍も含めた頭蓋内腫瘍全般⑤顔面痙攣や三叉神経痛に対する微小血管減圧術⑥正常圧水頭症に対するシャント手術を得意としています。一般的に顔面痙攣や三叉神経痛は直接命に関わる疾患ではありませんが患者様本人の生活の質には大きく影響してくる疾患です。精査を行った上で手術によって完治を見込めるような場合は患者様と相談のうえで積極的に治療を行っていく方針としております。

その他、地域のニーズに応えるため救急搬送患者をすべて受け入れております。くも膜下出血、脳出血、脳梗塞、頭部外傷をはじめとするすべての救急疾患に常時対応しております。

主な対象疾患

- ●脳　腫　瘍：髄膜腫など良性腫瘍全般、神経膠腫、神経膠芽腫、悪性リンパ腫、転移性脳腫瘍、眼窩内腫瘍
- ●脳血管障害：巨大脳動脈瘤含めた未破裂脳動脈瘤、硬膜動静脈瘻、くも膜下出血、頸動脈狭窄症、虚血性脳疾患（バイパス術や血管内治療）、脳動静脈奇形、脳出血、脳梗塞
- ●機 能 障 害：三叉神経痛、顔面けいれん
- ●水　頭　症：特発性正常圧水頭症
- ●神 経 外 傷：慢性硬膜下血腫、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫

スタッフ

	氏名	卒業	専門	資格
助教	山家（やまが） 弘雄（ひろお）	愛知医科大学 平成7年卒	脳血管内治療	日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本血管内治療学会：専門医、 日本脳卒中学会：専門医・指導医
助教	阪本（さかもと） 有（ゆう）	山梨大学 平成25年卒	脳血管内治療 脳外科全般	日本脳神経外科学会：専門医・指導医、 日本血管内治療学会：専門医
助教	平戸（ひらと） 麻里奈（まりな）	昭和大学 平成31年卒	脳外科全般	
助教	市川（いちかわ） 綜一郎（そういちろう）	昭和大学 令和2年卒	脳外科全般	
助教	斉藤（さいとう） 拓哉（たくや）	昭和大学 令和3年卒	脳外科全般	

主な診療実績等

●2022年　主な手術実績

脳腫瘍：17件	髄膜腫、神経鞘腫：4件
	神経膠腫、神経膠芽腫：1件
	転移性脳腫瘍：8件
	その他：4件
脳血管障害：46件	脳動脈瘤クリッピング術：13件［未破裂：11／破裂：2］
	内頸動脈内膜剥離術：20件
	高血圧性脳出血：7件
	その他：6件
その他	微小血管減圧術（顔面けいれん、三叉神経痛）：2件
	外傷（急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫）：3件
	水頭症に対するシャント手術：11件
	慢性硬膜下血腫穿頭血腫洗浄ドレナージ：24件
	その他：8件

●2022年　脳血管障害診療実績

未破裂脳動脈瘤	138件	急性期脳卒中（発症7日以内）	147件
脳内出血（発症7日以内）	25件	くも膜下出血	4件
脳動静脈奇形	4件	もやもや病	1件

整形外科

診療科長・教授／副院長

かわさき　けいきち
川崎　恵吉

卒業	昭和大学　平成3年卒
専門	整形外科一般、手外科
資格	医学博士、 日本整形外科学会：認定整形外科専門医・指導医、 日本手外科学会：認定手外科指導医・専門医、 日本スポーツ協会公認スポーツドクター

診療内容・特色

横浜市北部地域の基幹病院として、質が高く専門性の高い医療を提供できるように昭和大学病院（東京都品川区）、藤が丘病院、同リハビリテーション病院（横浜市青葉区）と密接に連携をとりあっています。地域医療支援病院として精密検査、入院、手術が必要な症例、および救急症例の診療を主に行っています。

周辺地域開業医の先生方とは、定期的に研究会を行って病診連携をとり、患者さんの情報提供をスムースに行えるようにしています。入院、手術などが必要でない患者さんには、かかりつけ医として地域診療所の先生方に逆紹介しています。

また、整形外科疾患では、長期入院加療を要する症例も少なくありません。その場合は地域の病院や医療機関、施設に紹介させていただき、引き続き入院加療をしていただくように連携をとっています。

主な対象疾患

- 手関節・肘関節疾患：橈骨遠位端骨折、舟状骨偽関節、母指CM関節症、デュプイトレン拘縮、手根管症候群
- 股関節疾患：変形性股関節症、大腿骨頭壊死、臼蓋形成不全、インピンジメント症候群
- 脊椎疾患：腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎圧迫骨折、転移性脊椎腫瘍
- 膝関節・スポーツ関連疾患：膝前十字靭帯断裂、半月板損傷、変形性膝関節症、内反膝
- 小児整形外科：先天性股関節脱臼、内反足
- 上・下肢外傷：大腿骨近位部骨折、脛骨高原骨折、足関節脱臼骨折、上腕骨近位部骨折

スタッフ

准教授

ふじ まき よし まさ
藤巻 良昌

卒業	昭和大学　平成8年卒
専門	整形外科一般、膝関節外科、スポーツ医学
資格	日本整形外科学会： 認定整形外科専門医・指導医、 認定スポーツ医、 認定運動器リハビリテーション医、 JOSKAS膝関節鏡技術認定医、 日本スポーツ協会： 公認スポーツドクター、 全日本スキー連盟：情報科学委員・ アルペン担当チームドクター

准教授

まえ だ あき ひこ
前田 昭彦

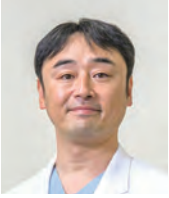
卒業	昭和大学　平成10年卒
専門	整形外科一般、股関節、人工関節、小児整形
資格	日本整形外科学会： 認定整形外科専門医・指導医、 日本人工関節学会：認定医、 日本スポーツ協会： 公認スポーツドクター、 身体障害者福祉法指定医師、 難病指定医、 臨床研修指導医

講師

おお した ゆう すけ
大下 優介

卒業	昭和大学　平成13年卒
専門	整形外科一般、脊椎・脊髄外科
資格	日本整形外科学会： 認定整形外科専門医・指導医、 認定脊椎脊髄病医、 日本脊椎脊髄病学会： 脊椎脊髄指導医、 日本骨粗鬆症学会：認定医、 義肢装具等適合判断医師、 難病指定医、 身体障害者福祉法指定医師、 日本体育大学ラグビー部 チームドクター

講師



やま ぐち まさ や
山口 正哉

卒業	昭和大学　平成15年卒
専門	整形外科一般、外傷
資格	医学博士、 日本整形外科学会： 認定整形外科専門医・指導医、 日本骨折治療学会： 評議員教育委員、 JABO（Japanese Association for Biological Osteosynthesis）Faculty

講師

い とう りょう た
伊藤 亮太

卒業	昭和大学　平成16年卒
専門	整形外科一般、小児整形、股関節
資格	医学博士、 日本整形外科学会： 認定整形外科専門医・指導医、 日本整形外科超音波学会：幹事、 難病指定医、 身体障害者福祉法指定医師

講師

さか い たけし
酒井 健

卒業	聖マリアンナ医科大学 平成19年卒
専門	整形外科一般、手外科、肘関節外科
資格	医学博士、 日本整形外科学会： 認定整形外科専門医・指導医、 日本手外科学会： 認定手外科専門医

講師

え もり はるか
江守 永

卒業	昭和大学　平成20年卒
専門	整形外科一般、脊椎・脊髄外科
資格	医学博士、 日本整形外科学会： 認定整形外科専門医・指導医、 認定運動器リハビリテーション医、 認定脊椎脊髄病医、 日本脊椎脊髄病学会： 認定脊椎脊髄指導医、 日本スポーツ協会： 公認スポーツドクター、 難病指定医、 身体障害者福祉法指定医師、 神奈川県アイスホッケー連盟：理事、 中央大学スケート部 アイスホッケー部門チームドクター 昭和大学BLUE WINDS チームドクター

整形外科

	氏名	卒業	専門	資格
助教	福田（ふくだ） 悠甫（ゆうほ）	昭和大学 平成26年卒	整形外科一般	日本整形外科学会：認定整形外科専門医
助教	明妻（あけづま） 裕孝（ひろたか）	日本大学 平成29年卒	整形外科一般	日本整形外科学会：認定整形外科専門医
助教	杉山（すぎやま） 大輝（だいき）	昭和大学 令和3年卒	整形外科一般	

主な診療実績等

●2022年度手術件数　合計：1,483件

手外科	432件	人工股関節（変性）	216件	脊椎	210件	下肢外傷	181件
上肢外傷	265件	大腿骨近位部	60件	膝変性	42件	関節鏡下手術	130件
小児	4件						

●特徴的な診療領域

上肢の手術	日本手外科学会認定の手外科専門医が治療にあたります。 （手外科専門医については日本手外科学会のホームページをご参照ください：http://www.jssh.or.jp/ippan/senmon/about_senmoni.html#pict） 手外科の疾患は非常に多彩で手術も多様です。当院では昭和大学藤ヶ丘病院、昭和大学附属病院や昭和大学江東豊洲病院の手外科専門医と密接に連携しながら治療にあたっています。近年、最小侵襲での手術加療が一般的となってきました。当科では小さな傷で治療が可能な関節鏡による治療を積極的に導入し、TFCC損傷、舟状骨の偽関節などに対する治療も可能な限り最小侵襲での治療を心がけています。近年、ご高齢の方の人口が増え、転倒による橈骨遠端骨折や上腕骨骨折が増えており、これらに対する骨接合手術を数多く施行しています。特に、高齢患者さんの肘周辺骨折に対しては一期的に人工肘関節置換術も行っており、成績は良好です。また骨折後の変形矯正手術（特に小児の肘関節周辺骨折やその後の変形に対する3次元矯正手術）、難治性舟状骨偽関節や月状骨軟化症などの骨壊死に対する血管柄付き骨移植、神経や腱の手術、関節リウマチに対する滑膜切除術や人工肘・手関節置換術、さらには人工関節を用いない手関節形成術なども行っています。更年期女性における手指の痛みに関しても、当科では積極的に加療を行っており、特に母指CM関節症に対する関節形成術の手術件数は増えています。手に関してお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。
股関節手術	股関節のエクスパートが治療にあたります。セメントを用いない人工股関節置換術（THA）は黒木・宮岡両教授による数千例の手術実績と長期成績を有し、これらのデータとアドバイスをもとに手術を行ってきました。変形性股関節症や関節リウマチ、大腿骨頭壊死症にセメントを用いないTHAを行い、きわめて良好な成績を収めています。さらに両側同時人工股関節手術や再置換術などの難しい症例も積極的に取り組んでいます。また若年者には人工関節を使用せずに関節温存に努め、寛骨臼回転骨切り術や大腿骨頭回転骨切り術などの各種骨切り術を行っています。
脊椎外科	日本脊椎脊髄病学会指導医と日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医が中心になり治療にあたります。初代病院長であり、日本整形外科学会理事長であった黒川高秀東大教授発案の頸椎棘突起縦割法を踏襲しております。腰椎手術は側方アプローチ手術なども患者さんの症状にあわせて対応しております。脊柱管狭窄症をはじめとする変性疾患ばかりでなく脊椎外傷、脊椎感染、転移性脊椎腫瘍など脊椎疾患の手術に対応しております。必要な検査やブロックなどの保存療法を行い、診断と診療方針を決定します。骨粗鬆症を認める椎体骨折の急性期には、一般的にコルセットをもちいた保存的な治療が選択されております。しかしながら、椎体の圧壊が進行する方もいます。疼痛のためADLが低下した方で局所後弯の程度により疼痛の軽減を目的にステントを留置しセメントを椎体内に充填するVertebral Body Stenting（VBS）などを施行しております。ステントは経皮的に挿入し、椎体を整復する低侵襲な治療です。椎間板ヘルニアには、コンドリアーゼ注射による治療法や内視鏡による手術も行っております。症状に応じ手術療法を選択しております。
スポーツ：膝関節	日本整形外科学会認定運動器スポーツ医、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会による膝関節鏡技術認定医が中心になり治療にあたります。膝の靭帯損傷、半月板損傷などに対してスポーツ種目別に専門性の高い治療を行います。関節鏡視下手術をはじめ最小侵襲で早期スポーツ復帰をめざした手術を行っています。発育期のスポーツ障害から、学生アスリート、ナショナルチーム選手、ママさんバレーまで幅広く対応しています。また、比較的高齢者の変形性膝関節症の治療や、O脚変形に対する矯正骨切り術なども積極的に行っておりますのでご相談ください。

産婦人科

診療科長・教授

いちづか　きよたけ
市塚　清健

卒業	昭和大学　平成5年卒
専門	産婦人科全般、周産期医学、超音波医学、臨床遺伝
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、 日本超音波医学会：専門医・指導医、 日本周産期新生児医学会：専門医（母体・胎児）・指導医、 臨床研修指導医、母体保護法指定医、 日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医、 Fetal Medicine Foundationオペレータ資格、 新生児蘇生法インストラクター、 J-CIMELSインストラクター

診療内容・特色

当院では、周産期学、婦人科腫瘍学、内視鏡手術などの専門分野のみならず、女性の一生を取り扱う「女性科」として、すべての年代における産婦人科疾患の早期発見･治療と健康管理を行うことを目標としております。

産科診療においては多くの診療科を有する大学附属病院の特色を生かし、合併症を有する妊娠、分娩管理についてはそれぞれの疾患に合わせ、該当診療科、センターなどの協力を得て診療にあたります。特に生殖年齢女性に比較的多く見られる甲状腺疾患や膠原病などはそれぞれ甲状腺センター、母性内科担当医師と、最近増加傾向にあるメンタル合併妊娠についてはメンタルケアセンターとそれぞれ協同して診療にあたって参ります。NICUもございますので母体搬送も積極的に受け入れています。出生前検査や出生前診断については臨床ゲノム遺伝センターと緊密に連携して診療に当たっています。胎児異常が疑われる場合には超音波やMRIを駆使し胎児診断を行い対応いたします。胎児胸水や胎児貧血などでは胎児治療も行います。また、無痛分娩の要望の高まりを受け、昨年から当院でも麻酔科医師の麻酔管理の元で条件を満たす無痛分娩をご希望される妊婦さんに無痛分娩も開始いたしました。

婦人科診療では従来からの子宮筋腫などに対する内視鏡手術に加えさらに体に負担の少ないロボット手術も開始いたしました。

急性期疾患については、治療後地域医療機関と連携して積極的に逆紹介あるいはかかりつけ医を紹介し、横浜市北部地域の中核病院として機能するよう心がけています。

主な対象疾患

●産　科：妊娠悪阻、切迫流早産、前置胎盤、羊水過少・過多、胎児発育不全、多胎妊娠、妊娠高血圧症候群、内科疾患合併妊、精神疾患合併妊娠、悪性腫瘍合併妊娠、胎児診断、胎児胸水、胎児貧血

●婦人科：良性腫瘍（子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症）の鏡視下（腹腔鏡、子宮鏡）手術、ロボット手術、悪性腫瘍の手術・化学療法・放射線治療

スタッフ

助産学専攻科 教授

長塚 正晃（ながつか まさあき）

卒業	昭和大学　昭和61年卒
専門	思春期・更年期・老年期医療、婦人科腫瘍
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、日本周産期新生児医学会：暫定指導医、日本女性心身症学会認定医、日本女性医学学会：女性ヘルスケア専門医・指導医、母体保護法指定医、臨床研修指導医

准教授

野村 由紀子（のむら ゆきこ）

卒業	昭和大学　平成10年卒
専門	産婦人科全般、骨盤臓器脱、婦人科腫瘍、内視鏡手術
資格	日本産科婦人科学会：専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会：技術認定医、母体保護法指定医、臨床研修指導医

講師

瀬尾 晃平（せお こうへい）

卒業	聖マリアンナ医科大学　平成21年卒
専門	周産期医学、超音波医学、内視鏡手術
資格	日本産科婦人科学会：専門医、指導医、日本超音波医学会：専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会：技術認定医、日本周産期新生児医学会：専門医（母体・胎児）、J-CIMELSインストラクター、臨床研修指導医、ダヴィンチ認定資格

講師

宮上 哲（みやがみ さとし）

卒業	昭和大学　平成17年卒
専門	婦人科腫瘍、内視鏡手術
資格	日本産科婦人科学会：専門医、日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会：技術認定医、臨床研修指導医、ダヴィンチ認定資格

	氏名	卒業	専門	資格
助教	折坂 勝（おりさか まさる）	昭和大学 平成13年卒	婦人科腫瘍、 産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 日本がん治療認定機構がん治療認定医、 日本婦人科腫瘍学会：婦人科腫瘍専門医
助教	小谷 美帆子（こたに みほこ）	帝京大学 平成16年卒	産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 臨床研修指導医
助教	奥山 亜由美（おくやま あゆみ）	福島県立医科大学 平成21年卒	周産期医学、 超音波医学	日本産科婦人科学会：専門医、 日本周産期新生児医学会：専門医（母体・胎児）、 日本超音波医学会：専門医、指導医、 臨床研修指導医、 Fetal Medicine Foundationオペレーター、 J-CIMELSインストラクター
助教	岡田 義之（おかだ よしゆき）	産業医科大学 平成22年卒	内視鏡手術、 骨盤臓器脱、 産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 日本産科婦人科内視鏡学会：腹腔鏡技術認定医、 日本内視鏡外科学会：技術認定医、 日本女性医学学会：女性ヘルスケア専門医、 性感染症認定医、 産業医、 新生児蘇生法専門コース
助教	後藤 未奈子（ごとう みなこ）	昭和大学 平成23年卒	周産期医学、 超音波医学	日本産科婦人科学会：専門医、 日本周産期新生児医学会：専門医（母体・胎児）、 日本超音波医学会：専門医、指導医、 新生児蘇生法インストラクター、 J-CIMELSインストラクター、 Fetal Medicine Foundationオペレーター

産婦人科

	氏名	卒業	専門	資格
助教	中川（なかがわ） 智絵（ちえ）	日本大学 平成26年卒	産婦人科全般 骨盤臓器脱	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース、 J-CIMELSベーシックコース、 Fetal Medicine Foundationオペレーター
助教	ｲｽﾞﾃﾌﾟｽｷ 龍也（たつや）	昭和大学 平成27年卒	周産期医学、 超音波医学、 産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース、 J-CIMELSインストラクター、 Fetal Medicine Foundationオペレーター
助教	青山（あおやま） 茉莉香（まりか）	昭和大学 平成29年卒	産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース
助教	小島（こじま） 七瀬（ななせ）	秋田大学 平成29年卒	産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース
助教	小林（こばやし） 弘樹（ひろき）	徳島大学 平成29年卒	産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース、 J-CIMELSベーシックコース
助教	駒瀬（こませ） 奈央（なお）	秋田大学 平成29年卒	産婦人科全般	日本産科婦人科学会：専門医、 新生児蘇生法専門コース
助教	関谷（せきや） 葵（あおい）	帝京大学 平成30年卒	産婦人科全般	新生児蘇生法専門コース
助教	三浦（みうら） 瑠衣子（るいこ）	昭和大学 平成30年卒	産婦人科全般	新生児蘇生法専門コース、 J-CIMELSベーシックコース
助教	山田（やまだ） 恵美（えみ）	東京女子医科大学 平成31年卒	産婦人科全般	J-CIMELSベーシックコース
助教	玉置（たまき） 亜美（あみ）	横浜市立大学 令和3年卒	産婦人科全般	J-CIMELSベーシックコース、 新生児蘇生法専門コース
助教	安田（やすだ） 百花（ももか）	京都府立医科大学 令和3年卒	産婦人科全般	J-CIMELSベーシックコース
助教	安田（やすだ） 侑司（ゆうじ）	三重大学 令和3年卒	産婦人科全般	J-CIMELSベーシックコース、 新生児蘇生法専門コース

主な診療実績等

2022年　（件）

手術数	良性開腹手術合計（帝王切開は除く）	49
	腹腔鏡下手術（含悪性）合計	219
	悪性腫瘍手術合計	67
	経腟的手術合計（頸管縫縮術、流産手術は除く）	91
	子宮鏡下手術合計	63
周産期症例	分娩数（22週以降）	953
	帝王切開	371
	吸引分娩	41
	鉗子分娩	33
	頸管縫縮術	15
	早産数	97
	流産手術	28

泌尿器科

診療科長・教授

ふじ　こうぞう
冨士　幸藏

卒業	昭和大学　昭和62年卒
専門	泌尿器一般
資格	日本泌尿器科学会：専門医・指導医、 日本排尿機能学会：専門医

診療内容・特色

横浜市北部医療圏の基幹病院として尿路および男性生殖器の腫瘍や結石、排尿障害、感染症など泌尿器科疾患全般に対応しています。当院は地域がん診療拠点病院でもあり、腎、膀胱、前立腺をはじめとする泌尿器科悪性腫瘍(がん)の治療に関しては、手術療法と抗癌化学療法(従来の抗がん剤や免疫チェックポイント阻害薬、分子標的薬)や放射線療法を組み合わせた集学的治療に積極的に取り組んでいます。

- 腎癌、腎盂･尿管癌に対する手術は腹腔鏡手術を中心に行っていますが、進行した症例に対する開腹手術にも対応しています。また、免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬などによる化学療法も積極的に行っています。
- 膀胱癌に対しては経尿道的膀胱腫瘍切除術や膀胱全摘除術といった外科的治療と、膀胱内注入療法や全身化学療法などの内科的治療を病態によって行っています。
- 前立腺癌の治療は病状や御本人の希望を勘案してロボット支援前立腺全摘術、放射線療法、ホルモン療法を単独もしくは併用で行っています。密封小線源療法は昭和大学江東豊洲病院と連携して行っています。最近では治療関連合併症によるADLやQOLの低下を軽減させるため、厳重な経過観察のもと至適な開始時期まで治療を遅らせる監視療法も増えています。
- その他の泌尿器悪性腫瘍に対しても、手術、化学療法(抗がん剤)、放射線療法など幅広く対応しております。
- 尿路結石症や尿路感染症の救急診療にも対応しています。病状に応じて外来、入院での治療を行います。
- 排尿障害(前立腺肥大症、神経因性膀胱、過活動膀胱など)に対しても積極的に取り組んでいます。
  前立腺肥大症には経尿道的前立腺切除術、経尿道的前立腺核出術に加え、低侵襲手術である前立腺吊り上げ術などにも取り組み、患者の病態に応じた治療を行っています。
- 女性泌尿器疾患に対しては女性骨盤底センターと連携し診療を行っています。

主な対象疾患

- 腎細胞癌、腎盂・尿管・膀胱の尿路上皮癌、前立腺癌、精巣癌、陰茎癌（手術、放射線療法、化学療法）
- 尿路・男性生殖器の炎症性疾患（腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、精巣上体炎）
- 排尿障害（前立腺肥大症、神経因性膀胱、過活動膀胱）
- 尿路結石症（腎結石、尿管結石、膀胱結石）
- 女性泌尿器疾患（尿失禁、間質性膀胱炎）
- 急性陰嚢症（精索捻転症、精巣外傷）

泌尿器科

スタッフ

講師

さいとう　かつゆき
齋藤　克幸

卒業	昭和大学　平成13年卒
専門	泌尿器一般
資格	日本泌尿器科学会： 専門医・指導医、 日本がん治療認定医機構： がん治療認定医

講師

まつばら　えいじ
松原　英司

卒業	昭和大学　平成17年卒
専門	泌尿器一般
資格	日本泌尿器科学会： 専門医・指導医、 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会： 泌尿器腹腔鏡技術認定医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	小泉（こいずみ）　真太郎（しんたろう）	昭和大学 平成27年卒	泌尿器一般	日本泌尿器科学会：専門医
助教	天野（あまの）　悟志（さとし）	宮崎大学 平成29年卒	泌尿器一般	
助教	安田（やすだ）　想（そう）	日本大学 平成31年卒	泌尿器一般	
助教	八島（やしま）　卓也（たくや）	昭和大学 平成31年卒	泌尿器一般	
助教	玉岡（たまおか）　容（まさし）	昭和大学 令和2年卒	泌尿器一般	
助教	濱本（はまもと）　慶太（けいた）	宮崎大学 令和2年卒	泌尿器一般	

主な診療実績等

主な手術症例数		2019年	2020年	2021年	2022年
悪性腫瘍	腎（尿管）悪性腫瘍	41	43	41	34
	腹腔鏡下根治的腎摘除術	16	15	7	14
	腹腔鏡下腎部分切除術	11	12	16	8
	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	9	8	10	8
	開放腎・尿管悪性腫瘍手術	5	8	8	4
	膀胱悪性腫瘍	143	125	155	156
	経尿道的切除術	136	116	151	144
	腹腔鏡下膀胱全摘除術	3	1	0	0
	開放膀胱全摘除術	4	7	2	10
	尿膜管癌手術	0	1	2	1
	精巣／陰茎悪性腫瘍	14	8	6	12
	高位精巣摘除術	12	7	5	12
	陰茎全摘／部分切除術	2	1	1	0
	前立腺悪性腫瘍	12	22	16	24
	前立腺全摘除術	0	2	5	13
	精巣摘除術（去勢術）	12	20	11	6
良性疾患	腎・副腎疾患	2	1	4	1
	腹腔鏡下副腎摘除術	1	1	4	1
	腹腔鏡下腎摘除術	1	0	0	0
	前立腺肥大症	36	28	24	33
	経尿道的前立腺切除術	8	12	16	16
	経尿道的前立腺核出術	28	14	5	14
	レーザー蒸散術・前立腺吊り上げ術	0	2	3	3
	尿路結石症	51	42	38	51
	経尿道的腎・尿管結石砕石術	42	32	28	36
	経尿道的膀胱結石砕石術	9	10	10	15
	尿路通過障害	89	91	122	108
	経皮的腎瘻・膀胱瘻造設術	10	7	15	13
	経尿道的尿管ステント留置術	79	83	105	93
	尿管膀胱／尿管尿管吻合術など	0	1	2	2
	陰嚢疾患	16	17	5	9
	精索捻転手術・精索静脈瘤手術	5	3	1	3
	陰嚢水腫・精液瘤根治術	11	14	4	6
検　査	経会陰的前立腺針生検	263	190	187	204
	尿管鏡検査	0	7	16	11

眼科

診療科長・教授

ふじさわ　くにみ
藤澤　邦見

卒業	昭和大学　昭和63年卒
専門	網膜硝子体、水晶体
資格	日本眼科学会：専門医・指導医

診療内容・特色

2023年4月より、眼科指導医・専門医3名、専攻医3名の6名体制です。7月までに異動があり、7月からは専攻医が一名増えて、7名体制に戻る予定です。

当院では、白内障、緑内障、角膜、網膜硝子体疾患、外傷、などの眼科全般を診療しています。

白内障手術は年間1,000件以上行っており、日帰りと入院手術が選べます。術中波面収差測定装置ORAを導入しており、乱視用眼内レンズや多焦点レンズ挿入の際に使用しております。ORAがあることで、LASIK後の方の白内障手術などで、術後の目の度数の精度を高くできます。

網膜硝子体手術は年間300件程度行っています。糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑上膜などの網膜硝子体疾患を、最新の設備で極小切開硝子体手術を行っております。

緑内障手術は、低侵襲緑内障手術（MIGS）から通常のトラベクレクトミー（線維柱帯切除術）、難治性緑内障にも対応できるインプラント手術も行っております。

抗VEGF治療に関しましては、硝子体注射の件数は年々増加傾向であり、このため近医ご開業の先生方と術後の診療等で連携していただき、治療を行っております。日帰りまたは入院で対応しております。

眼瞼下垂や眼瞼内反症、斜視手術を行っております。角膜移植は、以前、神奈川県アイバンク様からのご協力を得て行っておりました。最近はコロナ禍で国内提供を得るのが極端に難しい状況でしたが、今後徐々に全層角膜移植は再開していきたいと考えております。

小児眼科の斜視、弱視疾患は午後に特殊外来で診療しております。

甲状腺眼症に関しましては、第4木曜日に専門外来を行っております。

涙に関する手術は、専門医が不在で現在当院では行っておりません。

急性期疾患は随時受け入れております。当科での手術や入院加療などが終了され落ち着かれた患者様には、なるべく早期からご紹介いただいた眼科クリニック様と併診での御加療をお願いさせていただいております。今後ともよろしくお願い致します。

主な対象疾患

白内障・緑内障・網膜剥離・糖尿病網膜症・黄斑円孔・網膜前膜・加齢性黄斑変性症・網膜中心静脈閉塞症・未熟児網膜症・眼瞼下垂・内反症・斜視など、眼科領域全般に対する疾患（手術等を含めた治療を実施）

スタッフ

講師

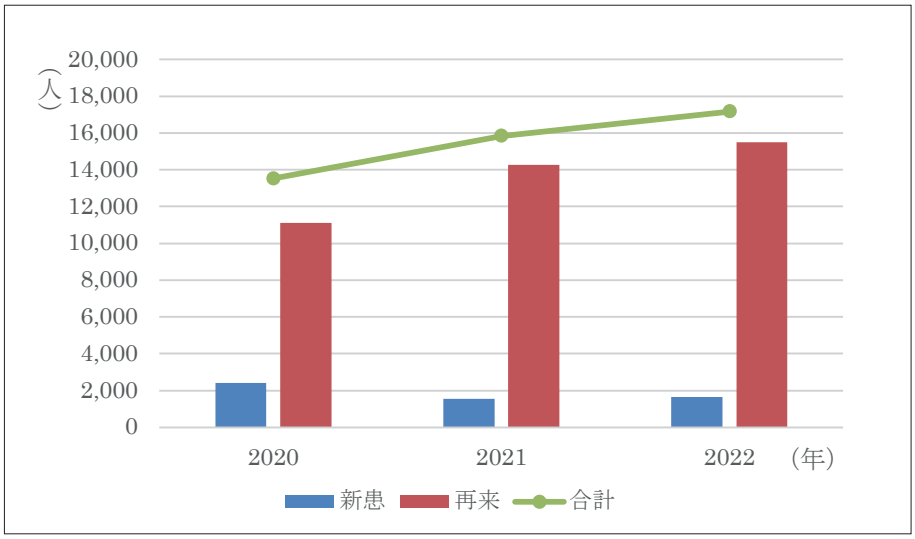
ぜん の まこと
禅野 誠

卒業	昭和大学　平成17年卒
専門	網膜硝子体、水晶体
資格	日本眼科学会：専門医・指導医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	よこやま こうた 横山 康太	昭和大学 平成21年卒	網膜硝子体、水晶体、 緑内障、未熟児網膜症、 難治性アレルギー疾患	日本眼科学会：専門医・指導医
助教	きさぬき ゆうき 木佐貫 祐揮	昭和大学 平成28年卒	水晶体、眼科一般	
助教	わだ さやか 和田 清花	昭和大学 平成29年卒	水晶体、眼瞼、 眼科一般	
助教	かとう だいち 加藤 大智	昭和大学 令和2年卒	水晶体、眼科一般	

主な診療実績等

●患者数

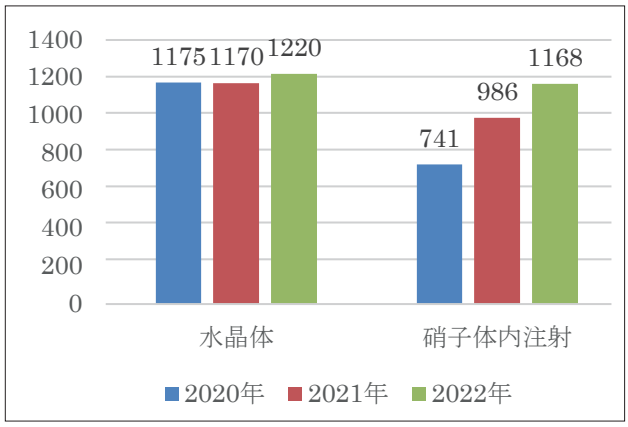


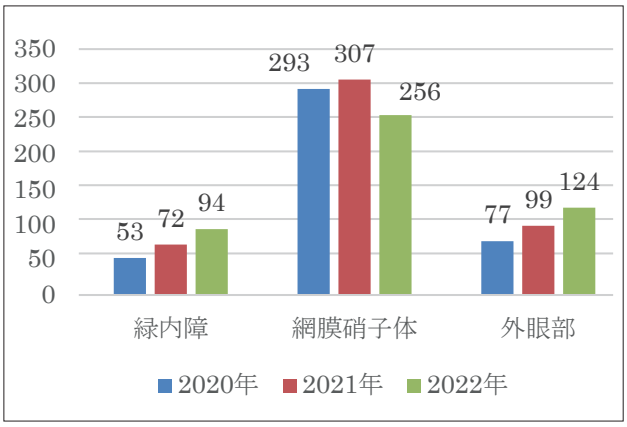
患者数（人）	2020年	2021年	2022年
新患数	2,425	1,569	1,652
再来数	11,101	14,262	15,505
合　計	13,526	15,831	17,157

おかげさまで沢山のご紹介をいただき、患者さんは増加傾向です。

眼科

●主な手術実績





●2022年　手術件数

内眼手術

	疾患	術式	件数
1	白内障	PEA＋IOL	1,220
2		PECCE＋IOL	21
3		IOL 縫着術（SSSまたは強膜内固定術）	18
4		2nd IOL（挿入のみ）	4
5		その他	7
6	緑内障	周辺虹彩切除術	1
7		線維柱帯切除術	17
8		エクスプレス挿入術	1
9		線維柱帯切開術	17
10		チューブシャント手術	
11		その他緑内障手術	58
12	網膜硝子体	網膜剥離（Bucklingのみ）	33
13		眼内異物摘出術	6
14		網膜硝子体手術	217
15		硝子体注射	1,168
16	強角膜	強角膜縫合術	
17	角膜	角膜移植術	
18	その他	その他内眼手術	5

外眼手術

	疾患	術式	件数
19	斜視	斜視手術	1
20	眼瞼	眼瞼下垂症手術	62
21		眼瞼内反症手術	14
22		眼瞼外反症手術	
23		眼瞼形成術	
24		眼瞼結膜腫瘍手術	13
25		重瞼術	
26	眼球	眼球摘出術	
27	涙器	涙嚢鼻腔吻合術	
28		涙小管縫合術	
29		涙道内視鏡手術	
30		その他涙器に関する手術	
31	眼表面	翼状片手術	19
32	眼窩	視神経管開放術	
33		眼窩底骨折整復術	
34		眼窩内側壁骨折整復術	
35		眼窩内腫瘍摘出術	8
36		眼窩内異物摘出術	
37	その他	その他外眼手術	7

レーザー

	術式	件数
38	網膜光凝固	520
39	周辺虹彩切開術（LI）	8
40	後発白内障切開（YAG）	96
41	その他（SLTなど）	2

合計数

種別	件数
内眼手術	2,793
外眼手術	124
レーザー	626
合計	3,543

2020年～2022年はコロナの影響で手術制限期間があり、待機可能な白内障手術は中止または延期を余儀なくされました。

耳鼻咽喉科

診療責任者・講師

ゆ い　たけ ふみ
油井　健史

卒業	昭和大学　平成10年卒
専門	鼻・副鼻腔疾患、一般耳鼻咽喉科、禁煙学
資格	日本耳鼻咽喉科学会：専門医、 耳鼻咽喉科専門研修指導医、 日本気管食道科学会：認定専門医、 日本禁煙学会：認定指導者、 臨床研修指導医、 15条指定医、 難病医療費助成制度指定医

診療内容・特色

当科の理念は、「耳鼻咽喉科疾患の治療のみならず疾病予防に努める」であり、病気の治療を行うと共に全ての受診患者さんに適切な生活指導を行っています。

主な診療分野は鼻副鼻腔疾患で、慢性副鼻腔炎に対しては血液検査、CT等で精査し重症度判定の後、マクロライド療法など薬物療法、内視鏡下鼻副鼻腔手術等で治療を行います。好酸球性副鼻腔炎の術後再発症例に対し生物学的製剤での治療も行っています。アレルギー性鼻炎に対しては従来の内服点鼻による薬物療法のほか、舌下免疫療法、レーザー治療を施行しています。鼻副鼻腔腫瘍に対しては可能な限り鼻内より内視鏡下手術を行っております。慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術は県下でも有数の件数となっております。

耳科領域では急性難聴に対しては、ステロイドホルモン剤を中心とした治療を行っています。慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎には藤が丘病院と連携し治療を行っています。単純鼓膜穿孔による難聴に対しては外来で鼓膜穿孔閉鎖術が可能です。補聴器相談は補聴器専門外来での対応が可能です。また聴覚障害者認定を行っています。

頭頸部腫瘍は、良性の耳下腺・顎下腺腫瘍、甲状腺腫瘍、副甲状腺腺腫、頸部嚢胞には手術治療。悪性の口腔・舌癌、咽頭癌、喉頭癌、鼻・副鼻腔癌　唾液腺癌などは、昭和大学本院の頭頸部腫瘍センター、癌専門施設と連携して診療を行っております。

その他耳鼻咽喉科領域の感染症に対する治療や、がん・心臓脳神経血管障害その他疾病予防のために2009年４月よりニコチン依存症患者に対する禁煙指導・禁煙支援を専門外来にて行っています。

主な対象疾患

- 鼻副鼻腔領域：副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、肥厚性鼻炎、アレルギー性鼻炎、鼻副鼻腔腫瘍、嗅覚障害
- 耳科領域：急性感音難聴、めまい、中耳炎、鼓膜穿孔、補聴器外来
- 咽喉頭領域：扁桃炎、声帯ポリープ、喉頭腫瘍、嚥下障害
- 頭頸部領域：頸部良性腫瘍、嚢胞性疾患、深頸部感染症
- 禁煙外来

耳鼻咽喉科

スタッフ

講師

こ まつ ざき　とし みつ
小松﨑　敏光

卒業	昭和大学　平成22年卒
専門	鼻・副鼻腔疾患
資格	日本耳鼻咽喉科学会：専門医、 耳鼻咽喉科専門研修指導医 補聴器相談医、 15条指定医、 難病医療費助成制度指定医、 臨床研修指導医

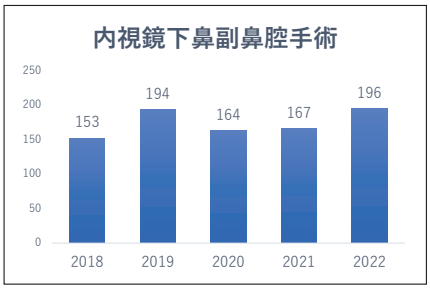
氏名		卒業	専門	資格
助教	みやざわ まさゆき 宮澤　昌行	昭和大学 平成23年卒	耳鼻科全般	日本耳鼻咽喉科学会：専門医、 15条指定医、難病医療費助成制度指定医、 嚥下機能評価担当医、騒音性難聴担当医、 補聴器相談医、補聴器適合判定医
助教	ながた えりな 永田　衣利奈	昭和大学 平成28年卒	耳鼻科全般	
助教	や の ま い 矢野　真衣	昭和大学 平成29年卒	耳鼻科全般	
助教	て ぐち しょうた 手口　翔太	大学 年卒		
助教	なべやま あらた 鍋山　新	大学 年卒		

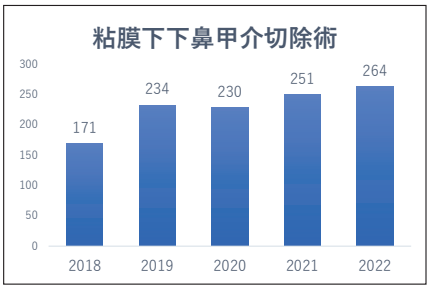
主な診療実績等

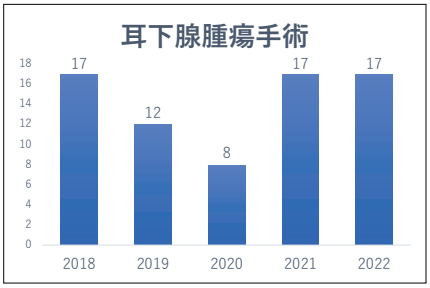
●2022年度手術実績　912件

●2022年度主な手術件数

内視鏡下鼻内副鼻腔手術	196
鼻中隔矯正術	142
扁桃摘出	140
顎下腺摘出術	4
粘膜下下鼻甲介骨切除術	264
喉頭微細手術	38
耳下腺腫瘍手術	17
鼓膜チューブ挿入	16







●禁煙外来　2009年度から2022年度までに約400名に治療を行い、成功率は70%です。

麻酔科

診療科長・教授

しだ　けんじ
信太　賢治

卒業	昭和大学　昭和61年卒
専門	麻酔全般、ペインクリニック
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 日本ペインクリニック学会：ペインクリニック専門医、 日本慢性疼痛学会：慢性疼痛専門医、 日本顔面神経学会：顔面神経麻痺相談医

診療内容・特色

当院では年間約10,000件の手術があり、主要な手術のほとんどが行われています。そのうち麻酔科が管理する症例は年間約6,400件です。また手術室外でもメンタルケアセンターでECT（電気痙攣療法）の麻酔を年間約540件行っています。

手術室に併設した周術期外来では歯科口腔外科、手術室看護師と連携し重症患者を中心に年間約1,400件の診察を行っています。

主な対象疾患

心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、消化器内科、脳神経外科、一般外科、甲状腺センター、小児外科、整形外科、形成外科、産婦人科、泌尿器科、女性骨盤底センター、耳鼻咽喉科、眼科、内科、精神科、歯科口腔外科など多岐にわたる科の手術

スタッフ

准教授

はしもと　めぐみ
橋本　徳

卒業	岡山大学　平成5年卒
専門	麻酔全般
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科認定医

講師

さかもと　あつのり
坂本　篤紀

卒業	昭和大学　平成17年卒
専門	麻酔全般
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 日本心臓血管麻酔学会： 心臓血管麻酔専門医、 日本小児麻酔学会： 小児麻酔認定医

講師

やまむら　あや
山村　彩

卒業	千葉大学　平成19年卒
専門	麻酔全般
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医

講師

しゃくお　ともはる
釋尾　知春

卒業	昭和大学　平成22年卒
専門	麻酔全般
資格	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 JB-POT、 全米心臓超音波図協会： 米国経食道心超音波認定医

麻酔科

	氏名	卒業	専門	資格
助教	吉田（よしだ） 愛（あい）	琉球大学 平成17年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科認定医
助教	髙橋（たかはし） 健一（けんいち）	川崎医科大学 平成23年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科指導医、 日本専門医機構：麻酔科専門医、 日本心臓血管麻酔学会：心臓血管麻酔専門医、 JB-POT、 日本小児麻酔学会：小児麻酔認定医
助教	道姓（どうせい） 拓也（たくや）	昭和大学 平成23年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科専門医、
助教	川口（かわぐち） 由佳（ゆか）	山梨大学 平成23年卒	麻酔全般	日本専門医機構：産婦人科専門医、 日本周産期・新生児医学会： 周産期専門医（母体・胎児）、 日本女性医学学会：女性ヘルスケア専門医
助教	大橋（おおはし） みどり	聖マリアンナ医科大学 平成25年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科専門医
助教	荘田（そうだ） 博朗（ひろあき）	昭和大学 平成26年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科専門医、 JB-POT
助教	津島（つしま） 佑季子（ゆきこ）	香川大学 平成26年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本麻酔科学会：麻酔科専門医
助教	島崎（しまざき） 咲（さき）	島根大学 平成28年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 日本専門医機構：麻酔科専門医
助教	小倉（おぐら） 文子（あやこ）	東海大学 平成30年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、
助教	松土（まつど） 桜子（さくらこ）	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、
助教	谷本（たにもと） 翔太（しょうた）	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 JB-POT
助教	中川（なかがわ） 沙恵（さえ）	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、
助教	平井（ひらい） 顕（けん）	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、 JB-POT
助教	諸冨（もろとみ） 進一郎（しんいちろう）	東京医科大学 平成31年卒	麻酔全般	麻酔科標榜医、
助教	梅谷（うめたに） 侑未（ゆみ）	東海大学 令和2年卒	麻酔全般	
助教	平木（ひらき） 伶奈（れいな）	東北大学 令和2年卒	麻酔全般	
助教	遠藤（えんどう） 有彩（ありさ）	昭和大学 令和3年卒	麻酔全般	
助教	佐々木（ささき） 信英（のぶひで）	昭和大学 令和3年卒	麻酔全般	

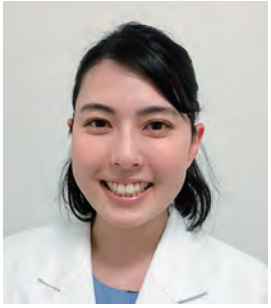
主な診療実績等

2022年度

手術件数	10,145件（麻酔科管理　6,387件）
周術期外来患者数	1,381件

歯科麻酔科

診療責任者・助教



いしだ　みどり
石田　碧

卒業	昭和大学　平成27年卒
専門	麻酔全般
資格	日本歯科麻酔学会：専門医・認定医

診療内容・特色

歯科麻酔科では、口腔外科の手術における麻酔（全身麻酔、静脈内鎮静法）を担当します。また、一般の歯科医院では治療を受けることができない患者さんを対象に、日帰り全身麻酔下での歯科治療も行っています。当院は大学病院として多くの専門診療科があり、そうした診療科とリアルタイムに情報を共有しながら治療を行うことが可能で、全身疾患のある患者さんでも安心して治療を受けていただけます。

障がい者歯科診療

2020年度より、当院では横浜市の北部地域で数少ない「日帰り全身麻酔下での障がい者歯科診療」を開始しました。日帰り全身麻酔の診療日は土曜日に設定しておりますので、学校や仕事を休まず、治療を受けてその日のうちにお帰りいただけます。当院では原則として術前診察と全身麻酔下での治療だけを行います。治療終了後は、かかりつけ歯科医の先生方に逆紹介させていただき、メインテナンスのご協力をお願いしています。

今後より良い病診連携を構築し、障がい者歯科診療を地域全体で行いたいと考えています。

主な対象患者

●口腔外科の手術を受ける方
●一般の歯科医院では治療を受けることができない方（例：歯科治療恐怖症、嘔吐反射、全身疾患の合併など）

日帰り全身麻酔下歯科診療の対象となる方

●知的障害、精神障害のある方
●重度の歯科恐怖症の方
●重度の嘔吐反射がある方　など

※小児の対応も可能です。口腔外科の手術、全身状態が悪い、独居の方などの場合は原則入院になります。

歯科麻酔科

スタッフ

	氏名	卒業	専門	資格
助教	下野（しもの） 史菜子（しなこ）	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般	
助教	梅本（うめもと） 理子（りこ）	北海道大学 令和2年卒	麻酔全般	

主な診療実績等

2022年度

全身麻酔（口腔外科症例）	175件
全身麻酔（障がい者歯科症例）	14件
静脈内鎮静法（口腔外科症例）	220件
静脈内鎮静法（障がい者歯科症例）	1件

●日帰り全身麻酔下歯科診療の流れ

かかりつけ歯科医の先生方から当院を紹介　（紹介先：歯科・歯科口腔外科）

⬇

【昭和大学横浜市北部病院】

１日目（月～金曜日のいずれか）

①簡単な問診や口腔内診察、オルソパントモグラフィなどのレントゲン撮影を行います。

⬇

２日目（土曜日）

①障がい者歯科医による口腔内診察を行います。

②歯科麻酔科医による全身状態の確認をします。

③看護師から「日帰り全身麻酔下歯科治療　前日・当日の流れ」を説明します。

⬇

３日目（治療を予定された週の月～木曜日のいずれか）

①全身麻酔に必要な検査（血液検査・心電図・胸部レントゲンなど）を受けていただきます。

②新型コロナウイルスに感染していないかPCR検査を受けていただきます。

⬇

４日目（土曜日）

①全身麻酔下歯科治療を行います。

②治療後1時間程度休んでいただき、麻酔から回復し次第退院となります。

③帰宅後、歯科麻酔科医より体調確認の電話をします。

※治療前日にも歯科麻酔科医より体調確認の電話をします。

※患者さんの口腔内の状態によって、日帰り全身麻酔下歯科治療を複数回行う場合があります。

⬇

当院での治療終了後、かかりつけ歯科医の先生方に逆紹介　（メインテナンスのご協力をお願いしています）

リハビリテーション科

診療科長・教授

よだ　みつまさ
依田　光正

卒業	昭和大学　平成3年卒
専門	摂食嚥下リハビリテーション、早期リハビリテーション、痙縮治療
資格	日本リハビリテーション医学会： リハビリテーション科専門医・認定医・指導医、 日本内科学会：認定内科医、 日本脳卒中学会：専門医、 日本摂食嚥下リハビリテーション学会：認定士、 身体障害者福祉法第15条指定医、 義肢装具等適合判定医師、 TNT研修会受講終了

診療内容・特色

昭和大学リハビリテーション医学講座は患者の生命、健康、暮らしを支えることを目標としており、当院のリハビリテーションもその理念のもとに診療を行っております。当院は横浜市北部地域の急性期医療およびに専門的医療を担っており、地域の方により良い社会復帰していただけるように、専門医による指示･統括の下にアプローチを行っております。

当院では救急センターや集中治療室などまだ病状が不安定な時期である超急性期から積極的に機能訓練を開始するなど“早期リハビリテーション”に力を入れております。また、リハビリテーションは“チーム医療”が重要であり、多職種によるカンファレンスを定期的に行い、方向性を確認しながらリハビリテーションを進めております。また、栄養サポートチーム･褥瘡管理チームなどの多職種参加型横断的活動を重要視しており、特に摂食嚥下障害に関しては、当科医師が嚥下造影検査･嚥下内視鏡検査などの評価後に、言語聴覚士･作業療法士による嚥下訓練、病棟看護師による摂食機能療法を行い、多職種からなる嚥下サポートチームがフォローする包括的なアプローチを行っております。

紹介医療機関の先生方へ

当科には入院病床がありませんが、入院でのリハビリテーションが必要な場合は昭和大学藤が丘リハビリテーション病院と連携しております。また、外来での機能療法は行っておらず、外来担当医表にも当科の枠はございませんが、当科の得意とする摂食嚥下障害に対する嚥下造影検査･嚥下内視鏡検査などの嚥下機能検査や、脳卒中片麻痺による痙縮に対するボツリヌス療法は外来でも実施可能です。そのほかにもリハビリテーション科専門医にご質問･ご相談がございましたらお電話でお問い合わせいただければと思います。

主な対象患者

①脳血管疾患等リハビリテーション

脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの脳血管疾患、脳腫瘍・脊髄損傷などの中枢神経疾患、多発性神経炎・多発性硬化症などの神経疾患、パーキンソン病・脊髄小脳変性症など慢性の神経筋疾患など

②運動器リハビリテーション

脊椎損傷、体幹・上・下肢の外傷・骨折、切断・離断、運動器の悪性腫瘍など

③呼吸器リハビリテーション

肺炎・無気肺など呼吸器疾患、肺腫瘍その他の呼吸器疾患手術後、慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息・間質性肺炎・肺結核後遺症などの慢性の呼吸器疾患、手術前後の呼吸機能訓練を要する患者など

リハビリテーション科

④廃用症候群リハビリテーション

急性疾患等に伴う安静による廃用症候群

⑤がん患者リハビリテーション

入院中にがんの治療のための手術・化学療法・放射線治療・造血幹細胞移植が行われる患者、末期がんで在宅復帰を目的としている患者

⑥心大血管疾患リハビリテーション

急性心筋梗塞、狭心症、開心術後、慢性心不全、大血管疾患（大動脈解離，解離性大動脈瘤，大血管術後）、末梢動脈閉塞性疾患、経カテーテル大動脈弁置換術後など

また、当院にはメンタルケア病棟があり、精神科作業療法を行っています。

スタッフ

常勤医師2名、非常勤医師1名で診療にあたっています。また、当院のリハビリテーション室に所属する療法士は、理学療法士13名・作業療法士7名・言語聴覚士1名です。

	氏名	卒業	専門	資格
助教	森田（もりた） 裕子（ゆうこ）	浜松医科大学 平成30年卒	リハビリテーション 医学全般	

主な診療実績等

2022年度の実績（各療法とも20分：1単位で行われています。）

理学療法	脳血管疾患等リハ	7,944単位/6,012人	運動器リハ	14,940単位/10,740人
	呼吸器リハ	10,620単位/7,536人	廃用症候群リハ料	8,196単位/7,296人
	がん患者リハ	5,496単位/4,944人		
作業療法	脳血管疾患等リハ	6,480単位/4,608人	運動器リハ	4,680単位/3,756人
	呼吸器リハ	2,820単位/2400人	廃用症候群リハ	1,752単位/1,428人
	がん患者リハ	864単位/708人		
言語療法	脳血管疾患等リハ	1,908単位/1,164人	呼吸器リハ	372単位/276人
	廃用症候群リハ	120単位/84人	がん患者リハ	12単位/12人

機能療法は入院患者に特化しており、原則的に外来での機能療法は行っておりません。

病院歯科

診療責任者・講師

やすだ　ありさ
安田　有沙

卒業	昭和大学　平成19年卒
専門	口腔外科全般
資格	日本口腔外科学会：専門医

診療内容・特色

当科では口腔粘膜疾患から歯性感染症、口腔外傷などの口腔外科領域全般の診療を行っております。
また、安心･安全な治療を提供するために、歯科麻酔科と連携し通院での静脈内鎮静法併用による口腔外科小手術や全身麻酔下による小～中等度手術も行っています。
さらに、他科での入院患者さんに対して周術期等口腔機能管理や口腔ケア、口腔内トラブルに対する対応を行っています。

主な対象患者

●口腔外科的疾患
- 歯・歯周疾患：周術期、入院中の患者さんの歯周病、外科治療の適応となった歯など。
- 嚢胞性疾患：歯根嚢胞、含歯性嚢胞、歯原性角化嚢胞、粘液嚢胞など。
- 腫瘍性疾患：エナメル上皮腫、軟組織良性・悪性腫瘍など。
- 口腔粘膜疾患：白板症、口腔扁平苔癬、口腔カンジダ症など
- 口腔感染症：顎骨の炎症、ヘルペス性口内炎など
- 口腔外傷：口腔粘膜裂傷、歯の脱臼、顎骨骨折など
- 顎関節疾患：顎関節症、顎関節脱臼など
- 唾液腺疾患：唾石症、唾液腺炎、口腔乾燥症など

●周術期等口腔機能管理、口腔ケアセンター
全身麻酔管理下での患者さんの治療が安心・安全に施行されるように、医科の先生方や地域歯科医師会の先生方と連携しながら診療を行っています。また、放射線化学療法患者さんの口腔ケアや骨修飾薬使用前の口腔内環境の整備にも積極的に取り込んでいます。

●マタニティ歯科

●障がい者歯科

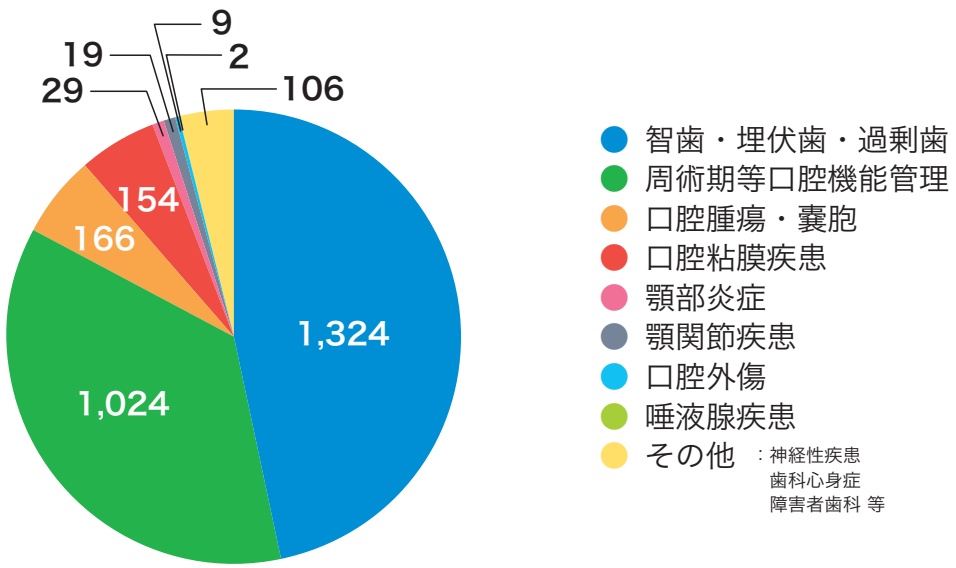
病院歯科

スタッフ

氏名		卒業	専門	資格
助教	堅田（かただ） 凌悟（りょうご）	昭和大学 平成29年卒	口腔外科全般	日本口腔外科学会：認定医
助教	氷見（ひみ） 奈々絵（ななえ）	昭和大学 平成30年卒	口腔外科全般	日本口腔外科学会：認定医
助教	木村（きむら） 幸紀（ゆきのり）	東京医科歯科大学 昭和60年卒	口腔外科全般	日本歯科放射線学会：指導医

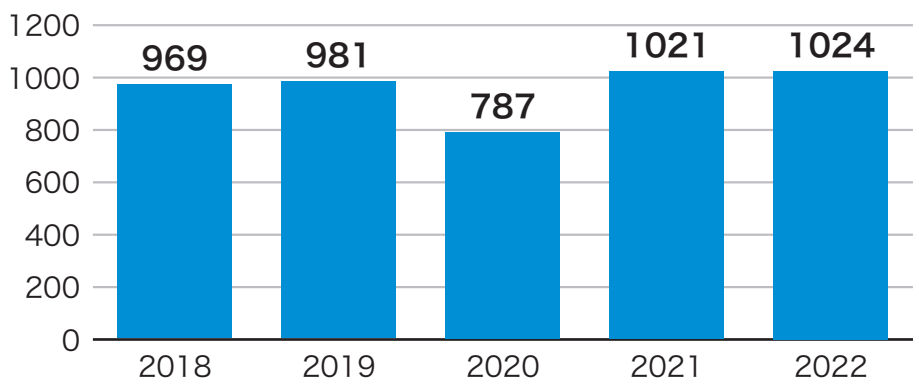
主な診療実績等

1）症例数の疾患別内訳（2022年度）



症例数の疾患別内訳

2）年度別周術期等口腔機能管理症例数（2022年度）



周術期等口腔機能管理症例数

診療・検査の予約

- 紹介患者の外来予約
- 〈医療機関のみ〉緊急診療・入院治療等のご依頼／検査予約
- CT検査依頼書
- MRI検査依頼書
- PET／CT検査依頼書
- 骨塩定量検査依頼書
- シンチ検査依頼書

紹介患者の外来予約

医療機関から予約する場合

北部病院〈地域医療連携室〉へ電話

受付時間　月曜日～土曜日：8時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く）

医療機関専用電話　045-949-7151

- 紹介状を患者さんにお渡しください。封筒に、当院名、診療科名、必要であれば医師名をご記入ください。
- 予約日時、受付場所、持参するものをご案内しますので、患者さんへお伝えください。
  - ▶ 初めて受診される方（診察券がない方）
    予約時間の30分前に、1階10番初診受付へ
  - ▶ 当院を受診したことがある方（診察券をお持ちの方）
    予約時間の15分前に、紹介された診療科の外来受付へ
  - ▶ 持参いただくもの：保険証、紹介状、お持ちの場合は診察券、お薬手帳　ほか
- 紹介状の事前送付にご協力をお願いいたします。

患者さんから予約する場合

(1) 北部病院〈予約センター〉へ電話（またはFAX）で予約

受付時間　月曜日～金曜日：9時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く）

患者専用電話　045-949-7143

FAX　045-949-7137

(2) WEB（PCやスマートフォン）で予約

「北部病院　予約フォーム」で検索してください。

- 紹介状を患者さんにお渡しください。封筒に、当院名、診療科名、必要であれば医師名をご記入ください。
- WEB予約またはFAX予約の場合、平日の15時までに受けた申込は、当日中にご回答いたします。
  土曜日や、日曜・祝日などの当院休診日に受けた申込は、次の外来診療日にご回答いたします（次の外来診療日が受付日となります）。
  当日及び受付日のご予約はお受けできません。

〈医療機関のみ〉

緊急診療・入院治療等のご依頼／検査予約

医療機関からの緊急診療・入院治療等のご依頼

医師から 北部病院〈地域医療連携室〉へ電話

受付時間	月曜日～土曜日：8時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く） 上記の時間帯以外は、救急事務室につながります
医療機関専用電話	045-949-7151
FAX	045-949-7137

- 受診可能な場合は、紹介状を患者さんへ渡してください。
  急ぎの場合には、紹介状をFAXで送信してください。
- 患者さんに、案内された受付場所へ、保険証、紹介状、お持ちの場合は診察券、お薬手帳などを持参して来院するようお伝えください。

医療機関からの検査予約

検査種類 CT、MRI、PET/CT、骨塩定量、シンチ

北部病院〈地域医療連携室〉へ電話

受付時間	月曜日～金曜日：8時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く）
医療機関専用電話	045-949-7151
FAX	045-949-7137

- 検査種類ごとの検査依頼書を北部病院へFAX送信してください。
- 北部病院から必要書類（検査によって同意書、問診票等）を医療機関へFAX送信しますので、患者さんにお渡しください。
- 患者さんに、案内された受付場所へ、保険証、紹介状、（診察券）、検査によって同意書、問診票などを持参して来院するようお伝えください。

FAX 番号 045-949-7137

診療情報提供書（CT検査依頼書）

昭和大学横浜市北部病院

北部病院 ID: フリガナ 患者氏名 :	感染症 HBs 抗原 (＋ ー 未) HCV 抗体 (＋ ー 未) 血清梅毒反応 (RPR TPLA) MRSA (＋ ー 未) HIV抗原・抗体 (＋ ー 未) その他 ( )
生年月日 : （明・大・昭・平・令） 年 月 日	
性別 男 ・ 女　身長 cm 体重 kg	
依頼医療機関名 :	出力方法 CD-ROM ・ フィルム
依頼医師 :	

【医療機関記入欄】

検査予定日: 年 月 日 午前・午後 時 分

臨床診断（病名）

（病名は日本語で適切に記載願います）

臨床経過／検査対象病名／検査目的

ヨード造影剤副作用歴:（ 有 ， 無 ）　喘息:（ 有 ， 無 ）（小児喘息含む）　糖尿病薬:（ ＋ ， ー ）

薬剤アレルギー:（ 有 ， 無 ）　妊娠:（＋ ， ー ）　（＋）の場合薬剤名（ ）

※副作用歴、喘息（小児喘息含む）のある患者さんは単純検査となります。
※ビグアナイド系糖尿病薬を服用している患者さんは、検査日の 2 日前（検査当日は含まない）から検査日の2日後（検査当日は含まない）まで休薬してください。 ※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。
※造影剤使用時は検査前に 3 時間程度の食止めを行う必要があります。

検査の部位を〇で囲んで選択してください。

脳	眼窩	胸部	胸部～上腹部	頚髄	ミギ上肢（部位: ）
下垂体	副鼻腔	上腹部	胸部・上腹・骨盤	胸髄	ヒダリ上肢（部位: ）
頚部	中耳半軸位	骨盤	上腹部～骨盤	腰髄	ミギ下肢（部位: ）
冠動脈					ヒダリ下肢（部位: ）

禁忌チェック	心臓ペースメーカー:（ 有 ， 無 ）　除細動器:（ 有 ， 無 ） ※心臓ペースメーカー、除細動器を挿入された患者さんは必ずペースメーカーや除細動手帳を持参いただき、当院のルールに従い検査を行わせていただきます。（除細動器挿入患者は除細動器部分の撮影はできないため、スキップします。）ただし手帳を忘れた場合は全例において該当部分はスキップします。

造影 （下記を〇で囲んで選択してください。） 有り　無し 「有り」を選択した場合はCT又はMRIの「検査及び造影剤の説明と同意書」に準じて患者様の同意を得て下さい。 ※臨床診断、検査目的から放射線科医が造影検査を不必要と判断した場合は、単純検査とさせていただきます。	血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ mg/dl （採血日: 年 月 日） クレアチニンが未記入、または採血日から半年以上経過している場合、造影剤は使用せず単純検査となります。

20200401 改訂

FAX 番号 045-949-7137

診療情報提供書（MRI検査依頼書）

昭和大学横浜市北部病院

北部病院 ID： フリガナ 患者氏名 ：	感染症 HBs 抗原 （ ＋ ー 未 ） HCV 抗体 （ ＋ ー 未 ） 血清梅毒反応 （ RPR TPLA ） MRSA （ ＋ ー 未 ） HIV抗原・抗体 （ ＋ ー 未 ） その他 （ ）
生年月日 ： （明・大・昭・平・令） 年 月 日	
性別 男 ・ 女 身長 cm 体重 kg	
依頼医療機関名 ：	出力方法 CD-ROM ・ フィルム
依頼医師 ：	

【医療機関記入欄】

検査予定日： 年 月 日 午前・午後 時 分

臨床診断（病名）

（病名は日本語で適切に記載願います）

臨床経過／検査対象病名／検査目的

ガドリニウム造影剤副作用歴：（ 有 ， 無 ） 喘息：（ 有 ， 無 ）（小児喘息含む） 閉所恐怖症：（ 有 ， 無 ）

薬剤アレルギー：（ 有 ， 無 ） 妊娠：（＋ ， ー ）

※副作用歴、喘息（小児喘息含む）のある方患者さんは単純検査となります。
※閉所恐怖症のある方は検査を行えない場合があります。※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。
※腹部と骨盤部の検査は、検査前から 3 時間程度の食止めを行って下さい。

検査の部位を〇で囲んで選択してください。

脳	顎関節	胸部	脳血管	頸髄	ミギ上肢（部位： ）
下垂体	頸部	乳房	頸部血管	胸髄	ヒダリ上肢（部位： ）
聴器	副鼻腔	上腹部	胸部血管	腰髄	ミギ下肢（部位： ）
眼窩	骨盤	MRCP	上腹部血管	股関節	ヒダリ下肢（部位： ）
			骨盤部血管		

禁忌チェック

心臓ペースメーカー：（ 有 ， 無 ） 除細動器：（ 有 ， 無 ） 人工内耳：（ 有 ， 無 ）
ステント：（ 有 ， 無 ） 非磁性体と確認できない脳動脈瘤止血クリップ：（ 有 ， 無 ）
シャントバルブ：（ 有 ， 無 ） その他（ ）
※心臓ペースメーカー、除細動器を挿入されている患者さんの検査は受け入れておりません。

造影 （下記を〇で囲んで選択してください。）

有り 無し

「有り」を選択した場合はCT又はMRIの「検査及び造影剤の説明と同意書」に準じて患者様の同意を得て下さい。
※臨床診断、検査目的から放射線科医が造影検査を不必要と判断した場合は、単純検査とさせていただきます。

血清クレアチニン mg/dl

（採血日： 年 月 日）

クレアチニンが未記入、または採血日から半年以上経過している場合、造影剤は使用せず単純検査となります。

20200401 改訂

FAX 番号 045-949-7137

診療情報提供書（PET／CT検査依頼書）

昭和大学横浜市北部病院

北部病院 ID:	感染症
フリガナ 患者氏名 :	HBs 抗原 （ ＋ ー 未 ） HCV 抗体 （ ＋ ー 未 ） 血清梅毒反応 （ RPR TPLA ）
生年月日 : （明・大・昭・平・令） 年 月 日	MRSA （ ＋ ー 未 ） HIV抗原・抗体 （ ＋ ー 未 ）
性別 男 ・ 女　身長 cm 体重 kg	その他 （ ）
依頼医療機関名 :	空腹時血糖値
依頼医師 :	mg/dl

検査予定日: 年 月 日 午前 ・ 午後 時 分

薬剤アレルギー（ 有 無 ） 閉所恐怖症（ 有 無 ）

30分制止（ 可 不可 ） 妊娠（ ＋ ー ）

※介助が必要な患者さんに対するPET/CT検査は受け入れておりません。

※閉所恐怖症の患者さんは検査を行えない場合があります。

※妊娠またはその可能性がある患者さんの検査は受け入れておりません。

心臓ペースメーカー（ 有 無 ） 除細動器（ 有 無 ）

※心臓ペースメーカー、除細動器を挿入された患者さんは、PETのみの検査になります。

臨床診断（病名）

（下記保険適応項目に該当しない場合、保険診療として取扱うことができませんので、適切な病名を日本語で記載願います）

臨床経過／検査目的（※病理診断結果、腫瘍マーカー値、画像診断検査等を併せてご記載願います）

予約取得者:

(1) 保険適用に関する注意事項

【悪性腫瘍】

●早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む全ての悪性疾患	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発が確定できない患者（確定診断がついていることが必要です。）

【悪性腫瘍以外の疾患】

●てんかん	難治性部分てんかんで外科的切除が必要とされる患者
●虚血性心疾患	虚血性心疾患による心不全患者で、心筋組織のバイアビリティ診断が必要とされる患者（ただし、通常の心筋シンチグラフィで判定困難な場合に限定する。）
●心サルコイドーシス	心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者

(2) 保険適用を判断するポイント

1. 腫瘍マーカー高値のみでは不十分です。
2. 「疑い」病名では適応になりません。

(3) 保険適用とならない事例

・ヘビースモーカー、肺気腫があり、肺癌ができていないかスクリーニング目的でのPET依頼

・腫瘍マーカーCEAの上昇を指摘され、胸腹部CTを行うも腫瘍性病変を発見できずPET依頼

・悪性リンパ腫の化学療法後、定期的フォローアップの目的によるPET依頼 など

20190801 改訂

FAX 番号 045-949-7137

診療情報提供書（骨塩定量検査依頼書）

昭和大学横浜市北部病院

北部病院 ID: フリガナ 患者氏名 :	感染症 HBs 抗原 (＋ ー 未) HCV 抗体 (＋ ー 未) 血清梅毒反応 (RPR TPLA) MRSA (＋ ー 未) HIV抗原・抗体 (＋ ー 未) その他 ( )
生年月日 : （明・大・昭・平・令） 年 月 日	
性別 男 ・ 女　身長 cm 体重 kg	
依頼医療機関名 :	出力方法 測定結果用紙 ・ CD-ROM
依頼医師 :	

【医療機関記入欄】

検査予定日: 年 月 日 午前・午後 時 分

臨床診断（病名）

（病名は日本語で適切に記載願います）

臨床経過／検査対象病名／検査目的

妊娠:（＋ , ー ）

※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。

検査の部位を〇で囲んで選択してください。

腰椎(L2～L4)前後　ヒダリ大腿骨頭　ヒダリ橈骨遠位端

その他（ ）

体内金属　有（ 腰椎 ・ 股関節 ・ 前腕 ）・ 無

※検査部位に金属や残存した造影剤がある場合、検査結果は参考値となります。

※ヒダリ大腿骨頭、ヒダリ橈骨遠位端に金属がある場合は対側で検査を行います。

※両側に金属がある場合、左側で検査を行います。ただし、検査結果は参考値となります。

20220601 改訂

FAX 番号 045-949-7137

診療情報提供書（シンチ検査依頼書）

昭和大学横浜市北部病院

北部病院 ID： フリガナ 患者氏名 ：	感染症 HBs 抗原 （ ＋ ー 未 ） HCV 抗体 （ ＋ ー 未 ） 血清梅毒反応 （ RPR TPLA ） MRSA （ ＋ ー 未 ） HIV抗原・抗体 （ ＋ ー 未 ） その他 （ ）
生年月日 ： （明・大・昭・平・令） 年 月 日	
性別 男 ・ 女 身長 cm 体重 kg	
依頼医療機関名 ：	出力方法 CD-ROM ・ フィルム
依頼医師 ：	

【医療機関記入欄】

検査予定日： 年 月 日 午前・午後 時 分

臨床診断（病名）

（病名は日本語で適切に記載願います）

臨床経過／検査対象病名／検査目的

薬剤アレルギー：（ 有 ， 無 ） 妊娠：（＋ ， ー ）

※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。

検査の部位を〇で囲んで選択してください。

骨シンチグラム ガリウムシンチ

脳血流シンチ（ECD） 脳血流シンチ（IMP） ドパミン輸送体シンチ

その他（ ）

乳幼児がいる女性：（ ＋ ， ー ） 授乳中：（ ＋ ， ー ）

20190801 改訂

2023年　診療科ガイド

発　行：令和5年5月31日
発行者：昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503　横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
編　集：地域医療連携室
印　刷：株式会社 野毛印刷社